

# 塩竈市

## 子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査 調査結果報告書

令和6年3月

塩竈市



# 目 次

<b>第1章 調査実施の概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
3 調査票の配布・回収状況.....	4
4 報告書の見方について.....	4
(1) 年齢・学年の定義.....	4
(2) 電算処理の注意点.....	4
(3) グラフの見方について.....	5
<b>第2章 調査結果から見えた現状と課題</b> .....	<b>9</b>
課題1 全ての妊産婦や子育て世帯、子どもに対する包括的な支援の充実.....	9
課題2 待機児童の解消や多様な保育ニーズへの的確な対応.....	9
課題3 放課後の居場所づくりに向けた放課後児童クラブの拡充.....	10
課題4 子育てと仕事を両立しやすい環境づくり.....	10
課題5 地域全体で子育てを支援する環境づくり.....	10
<b>第3章 子育て家庭を取り巻く環境</b> .....	<b>13</b>
1 子育ての環境について.....	13
(1) 子どもと家族の状況について.....	13
(2) 主に子育てをしている方と周囲の関わりや協力の状況.....	17
(3) 子育てに関する相談者の状況.....	23
2 保護者の就労状況.....	25
(1) 母親の就労状況.....	25
(2) 父親の就労状況.....	47
<b>第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望</b> .....	<b>67</b>
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望.....	67
(1) 平日の定期的な教育・保育事業.....	67
(2) 定期的な教育・保育事業の利用している理由と利用していない理由.....	80
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	84
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	84
(2) 幼稚園利用者の長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望.....	90
3 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望.....	93
(1) 地域の子育て支援事業の利用状況.....	93
(2) 地域の子育て支援事業の今後の利用意向.....	96
(3) 子育て支援事業の認知度・利用状況・今後の利用意向について.....	99
4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ.....	102
(1) 病児・病後児がいる場合の教育・保育事業の利用状況と対応について.....	102
(2) 病児・病後児保育施設の利用希望.....	109

5	不定期の教育・保育事業の利用について.....	117
(1)	不定期に利用している教育・保育事業の利用状況.....	117
(2)	宿泊を伴う一時預かり等の利用状況と今後の利用希望について.....	128
6	平日の放課後の過ごし方について.....	138
<b>第5章</b>	<b>育児休業制度等の利用状況等.....</b>	<b>165</b>
1	育児と仕事の両立支援制度について.....	165
(1)	支援制度の周知度.....	165
(2)	母親の育児休業制度等の利用状況.....	166
(3)	父親の育児休業制度等の利用状況.....	177
2	塩竈市における子育て環境や支援への満足度について.....	188
<b>第6章</b>	<b>子育て環境・支援に関する自由意見.....</b>	<b>193</b>
1	市の子育て環境や支援に関する意見.....	193
<b>資料編</b>	<b>.....</b>	<b>199</b>
1	就学前児童の調査票.....	199
2	小学生の調査票.....	204

# 第1章

## 調査実施の概要



## 第1章 調査実施の概要

### 1 調査の目的

塩竈市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育、子育て支援の充実を図るため、令和7年度を初年度とする「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定を予定しています。

計画策定にあたり、市の現状や今後の課題等を整理するためのニーズ調査を実施しました。調査結果をもとに分析等を行い、計画策定の資料として活用して参ります。

### 2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の調査票配布数及び調査期間・方法は、以下のとおりです。

#### ■ 調査票の種類と調査対象者及び調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査(就学前児童用)」	
調査対象者	令和5年11月1日現在、塩竈市に在住の就学前児童を持つ保護者
調査票配布数	1,482人
調査期間	令和6年1月5日(金)～令和6年1月19日(金) ※集計には2月7日(水)までの回収票を含めました。
調査方法	幼稚園・認可保育園等を利用している児童の保護者には、施設を通じて調査票を配布・回収しました。それ以外の児童の保護者には、郵送により調査票を配布・回収しました。なお、郵送で配布した調査票には2次元コードを付与し、WEBからも回答できるようにしました。
②調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査(小学生用)」	
調査対象者	令和5年11月1日現在、塩竈市に在住の小学生を持つ保護者
調査票配布数	1,188人
調査期間	令和6年1月5日(金)～令和6年1月19日(金) ※集計には2月7日(水)までの回収票を含めました。
調査方法	市立小学校に通学している小学生の保護者には、小学校を通じて調査票を配布・回収しました。それ以外の小学生の保護者には、郵送により調査票を配布・回収しました。なお、郵送で配布した調査票には2次元コードを付与し、WEBからも回答できるようにしました。

### 3 調査票の配布・回収状況

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりです。

#### ■ 調査票の配布・回収状況

調査種別	配布数(人)			有効回収数(人)			有効回収率(%)
	施設			施設			
就学前児童調査	施設	1,044	1,482	施設	918	1,131	76.3
	郵送	438		郵送	118		
				WEB	95		
小学生調査	施設	1,170	1,188	施設	942	947	79.7
	郵送	18		郵送	2		
				WEB	3		

### 4 報告書の見方について

#### (1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学生の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

年齢区分	該当する生年月	学年区分	該当する生年月
0歳児	令和4年4月以降	小学1年生	平成28年4月～平成29年3月
1歳児	令和3年4月～令和4年3月	小学2年生	平成27年4月～平成28年3月
2歳児	令和2年4月～令和3年3月	小学3年生	平成26年4月～平成27年3月
3歳児	平成31年4月～令和2年3月	小学4年生	平成25年4月～平成26年3月
4歳児	平成30年4月～平成31年3月	小学5年生	平成24年4月～平成25年3月
5歳児	平成29年4月～平成30年3月	小学6年生	平成23年4月～平成24年3月

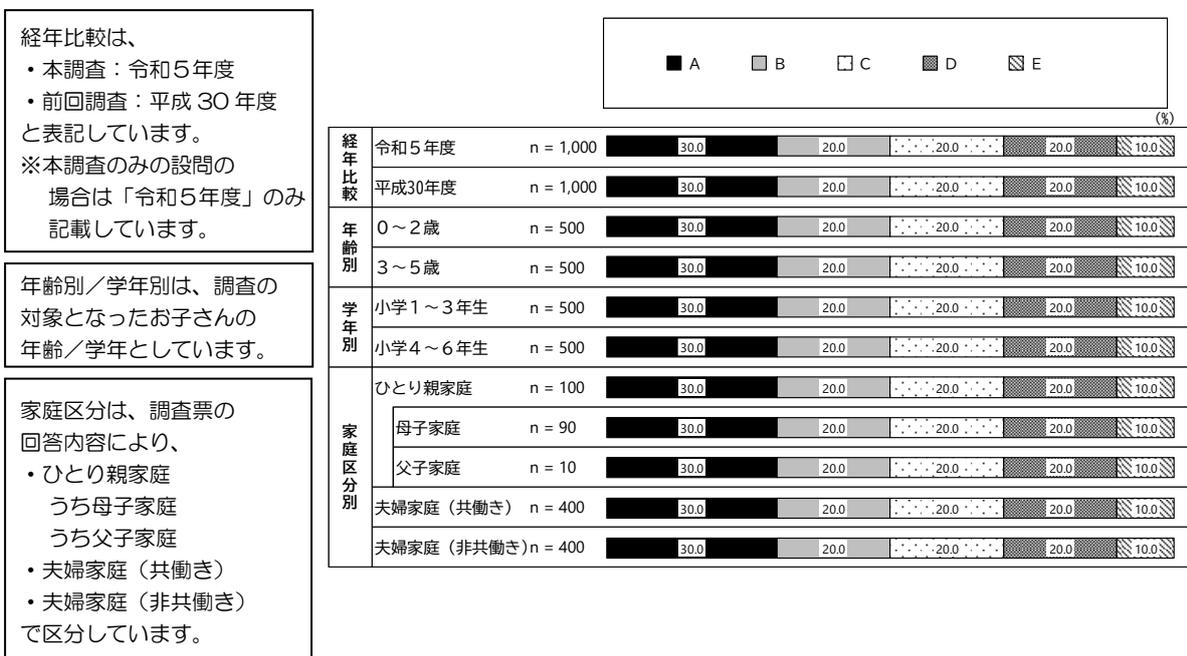
(注) 調査期間【令和5年度】における定義

#### (2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100.0%に合致しない場合があります。また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100.0%を超える場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

### (3) グラフの見方について



家庭区分は「調査回答者（就学前児童：問3、小学生：問3）」「配偶者の有無（就学前児童：問4、小学生：問4）」「母親の就労状況（就学前児童：問9（1）、小学生：問6（1））」「父親の就労状況（就学前児童：問9（2）、小学生：問6（2））」の回答内容により、区分しています。

家庭区分	回答内容
ひとり親家庭	調査回答者：「母親」または「父親」 配偶者の有無：「配偶者はいない」
母子家庭	調査回答者：「母親」 配偶者の有無：「配偶者はいない」
父子家庭	調査回答者：「父親」 配偶者の有無：「配偶者はいない」
夫婦家庭（共働き）	調査回答者：「母親」または「父親」 配偶者の有無：「配偶者がいる」 母親の就労状況／父親の就労状況：母親・父親ともに 「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」または 「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」または 「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または 「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」
夫婦家庭（非共働き）	調査回答者：「母親」または「父親」 配偶者の有無：「配偶者がいる」 母親の就労状況／父親の就労状況：母親・父親のいずれかが 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または 「これまで就労したことがない」



## **第2章**

### **調査結果から見えた現状と課題**



## 第2章 調査結果から見えた現状と課題

### 課題1 すべての妊産婦や子育て世帯、子どもに対する包括的な支援の充実

#### 【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶就学前児童の保護者の多くは、日常的に、または緊急時や用事の際に、親族や友人・知人に子どもをみてもらえる状況であり、また、気軽に子育てに関する相談ができる相手もいる状況となっていました。一方で、ひとり親家庭等、周囲に頼れる相手や相談相手がおらず、孤立してしまっている状況も伺えました（図表6、図表9）。

#### 【課題の考察】

- ▶困りごとを抱えている家庭等が孤立することなく、相談や必要な支援につなげることができるよう、令和6年4月1日に設置される「こども家庭センター」を中心としながら、切れ目のない包括的な支援の充実を図る必要性が見てとれます。
- ▶特にひとり親家庭においては、幼稚園・保育所・学校・団体・サークル・民生児童委員等と連携し、身近において相談がしやすい体制の強化を図るとともに、ファミリー・サポート・センター事業等の相互援助活動の拡充や、活用ができる事業の情報提供を図るなどの支援の重要性を認識することができます。

### 課題2 待機児童の解消や多様な保育ニーズへの的確な対応

#### 【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶就学前児童の保護者では、平成30年度（前回調査時）と比べ、働く親が増加していました。子育てと仕事の両立等のため、定期的な教育・保育事業を利用している方が増加している一方で、事業の空きがないこと等を理由に、教育・保育事業を利用できていない方が一定数おりました（図表11、図表22、図表33、図表40）。
- ▶教育・保育事業のうち、全体としては保育事業の利用が高い状況でした。今後の利用希望としては、主に「幼稚園の預かり保育」、「認定こども園」が増加していました。土曜日や日曜・祝日、長期休業期間中の教育・保育事業の利用を希望する方は平成30年度（前回調査時）時から引き続き一定数おりました。そのほか、私用や親の通院、就労等により、不定期に教育・保育事業を利用したい方や、子どもが病気等の際に病児・病後児保育施設等を利用したい方など、保護者における多様な教育・保育ニーズがありました（図表34、図表43、図表45、図表47、図表57、図表68）。

#### 【課題の考察】

- ▶就学前児童の保護者においては、待機児童の解消や多様な教育・保育ニーズに対応するため、提供体制の確保や保護者に寄り添った多様なサービスの提供が望まれています。

### 課題3 放課後の居場所づくりに向けた放課後児童クラブの拡充

#### 【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶就学前児童・小学生の保護者において、子どもが小学生の頃における放課後の過ごし場所として、放課後児童クラブの利用を希望する方が多くなっていました。特に小学校低学年での利用ニーズが高く、高学年になると、塾や習い事へのニーズの高まりが伺えますが、依然として、一定数の方が放課後児童クラブの利用を望まれていました。利用時間は18時台、さらには19時台までの利用を希望されている方もいる状況でした（図表79、図表81、図表82、図表84）。

#### 【課題の考察】

- ▶就労している保護者が増加している中、子どもを安心して預けられる居場所として、放課後児童クラブのニーズは高いため、定員数の拡大による受け入れ体制の整備等を図る必要性が見てとれます。

### 課題4 子育てと仕事を両立しやすい環境づくり

#### 【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶育児休業や短時間勤務制度の利用状況をみると、平成30年度（前回調査時）に比べ、利用されている方が増加していました。一方で、職場に育児休業や短時間勤務制度を利用しづらい雰囲気があったり、育児休業や短時間勤務制度を利用することにより、収入減になったりといった理由で、利用していない、または利用できていない方が多くいました（図表86、図表87、図表93、図表94、図表96、図表97、図表103、図表104）。

#### 【課題の考察】

- ▶育児休業や短時間勤務制度の利用を希望する方が、制度を利用することができるよう、企業等に対して、理解の促進や制度の普及に努めることの必要性が見てとれます。

### 課題5 地域全体で子育てを支援する環境づくり

#### 【調査結果から見えた本市の現状】

- ▶就学前児童・小学生の保護者ともに、子どもの遊び場の解消や子どもの健やかな成長のために、充実した子育てサービスや公園等の環境整備を望む声が多くありました（図表108、図表110）。

#### 【課題の考察】

- ▶子どもや子育て世帯を地域全体で支える機運を醸成し、官民が連携して、地域にある社会資源を有効活用しながら、子ども・子育てにやさしい地域づくりに努めることの必要性が見てとれます。
- ▶公園等の環境整備に努めるとともに、子どもが十分に体を動かすことのできる機会の創出など、子どもが健やかに育つ環境づくりに努めることの必要性が見てとれます。

## **第3章**

# **子育て家庭を取り巻く環境**



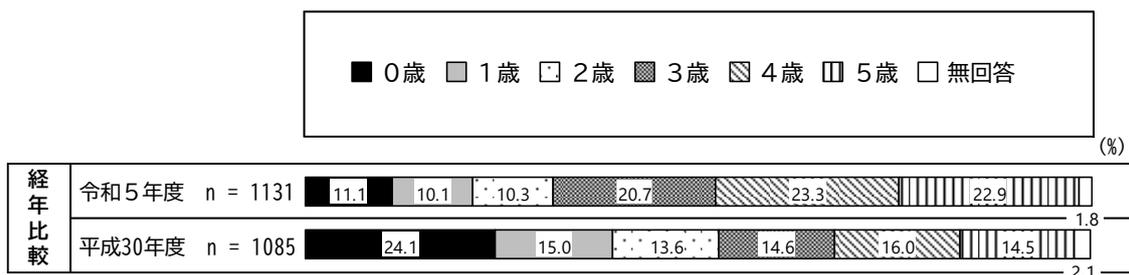
## 第3章 子育て家庭を取り巻く環境

### 1 子育ての環境について

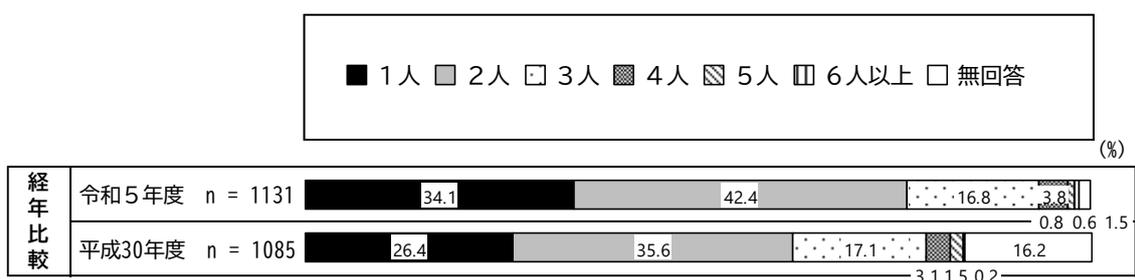
#### (1) 子どもと家族の状況について

図表1：就学前児童の属性

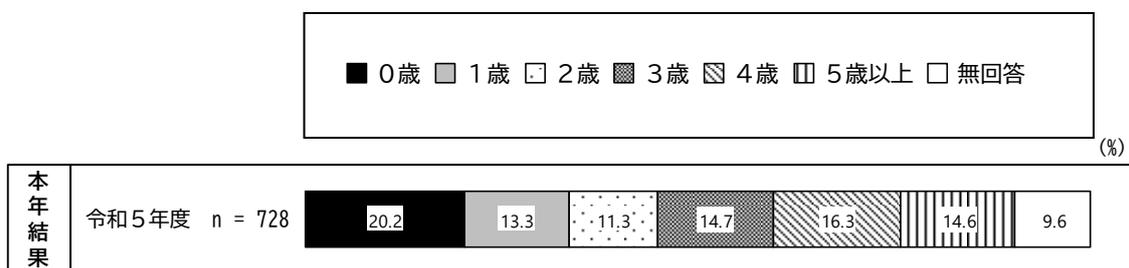
##### 【就学前児童】問1 年齢



##### 【就学前児童】問2 子どもの人数

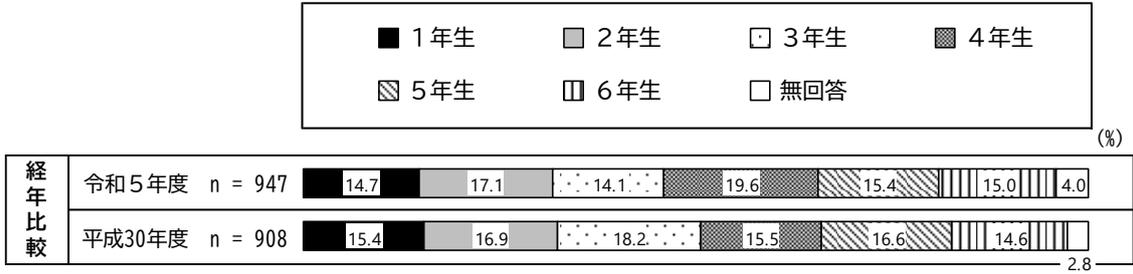


##### 【就学前児童】問2 末子の年齢

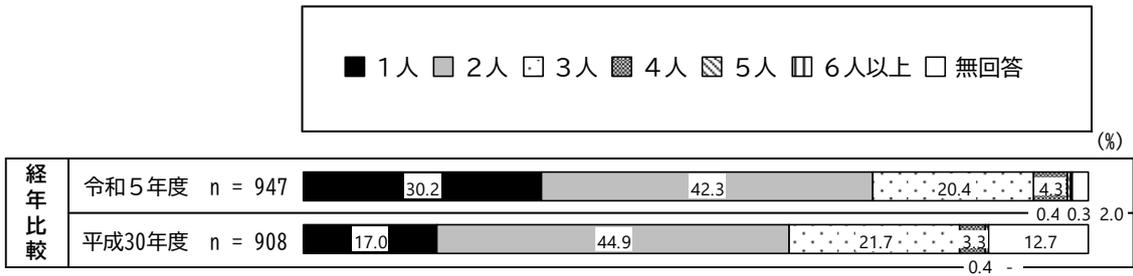


図表2：小学生の属性

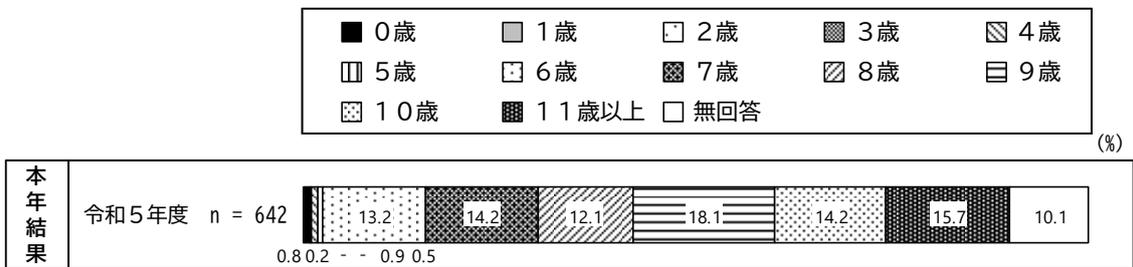
【小学生】問1 学年



【小学生】問2 子どもの人数

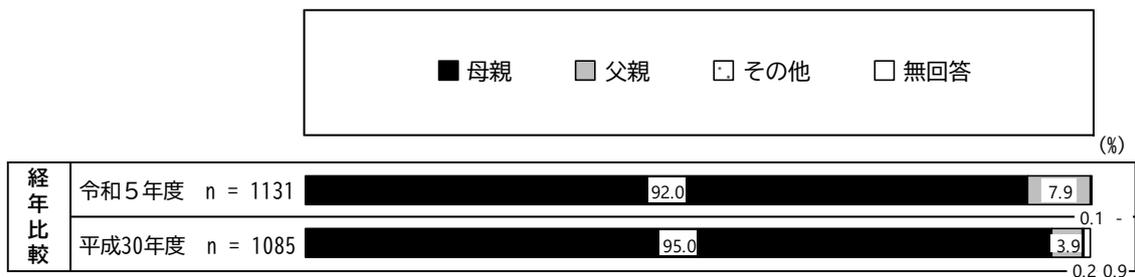


【小学生】問2 未子の年齢

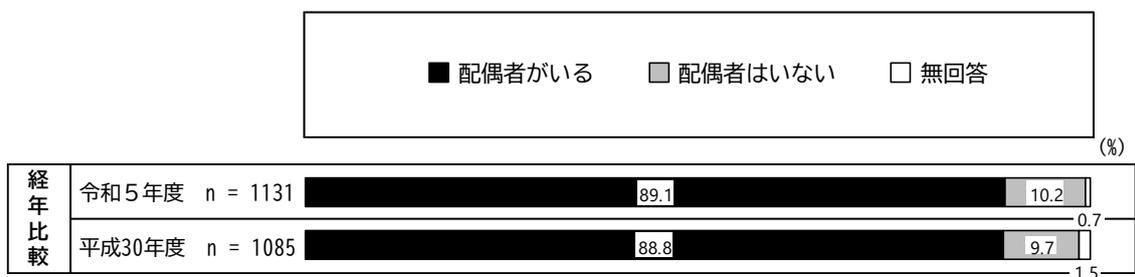


図表3：調査回答者の状況と家庭区分

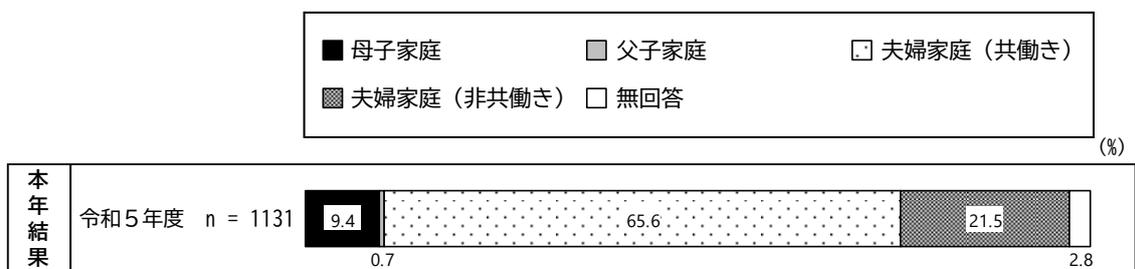
【就学前児童】問3 調査回答者



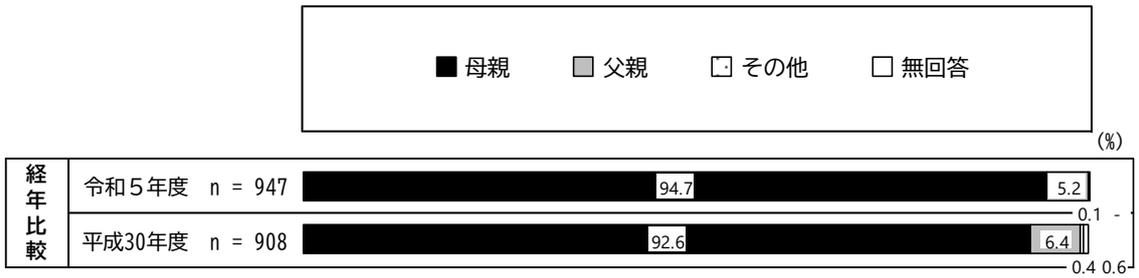
【就学前児童】問4 配偶者の有無



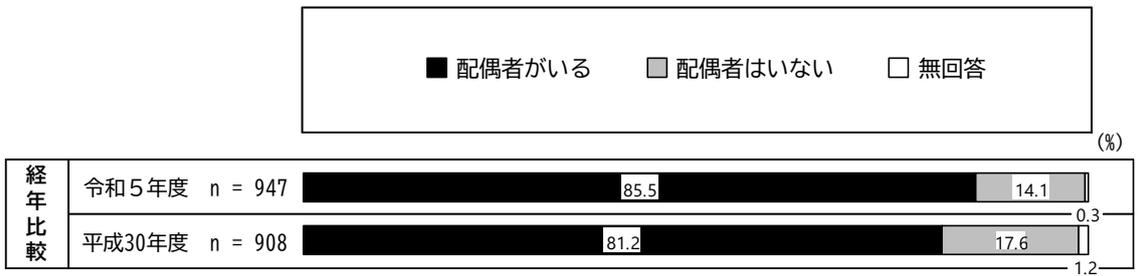
【就学前児童】家庭区分（4区分）



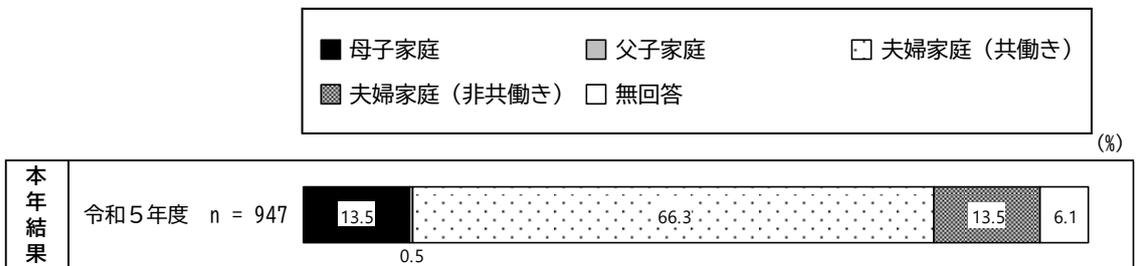
【小学生】問3 調査回答者



【小学生】問4 配偶者の有無



【小学生】家庭区分（4区分）



## (2) 主に子育てをしている方と周囲の関わりや協力の状況

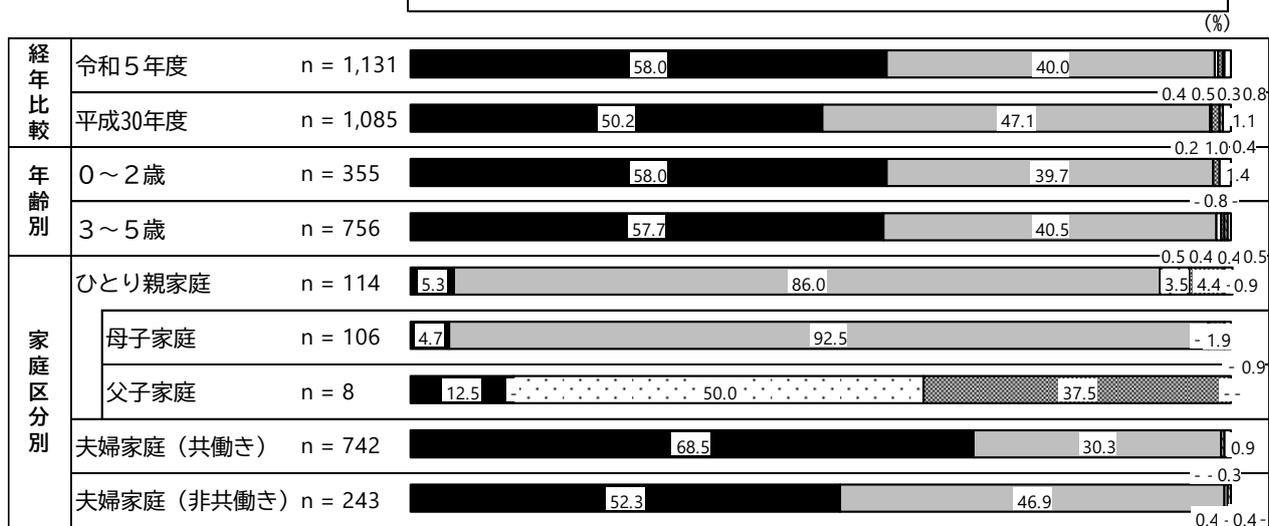
▶主に子育てをしている方については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「父母ともに」(58.0%・51.6%)が最も高く、次いで「主に母親」(40.0%・45.6%)となっていました。

図表4：主に子育てしている方

【就学前児童】問5 主に子育てしている方（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問5 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。  
※お子さんからみた関係でお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

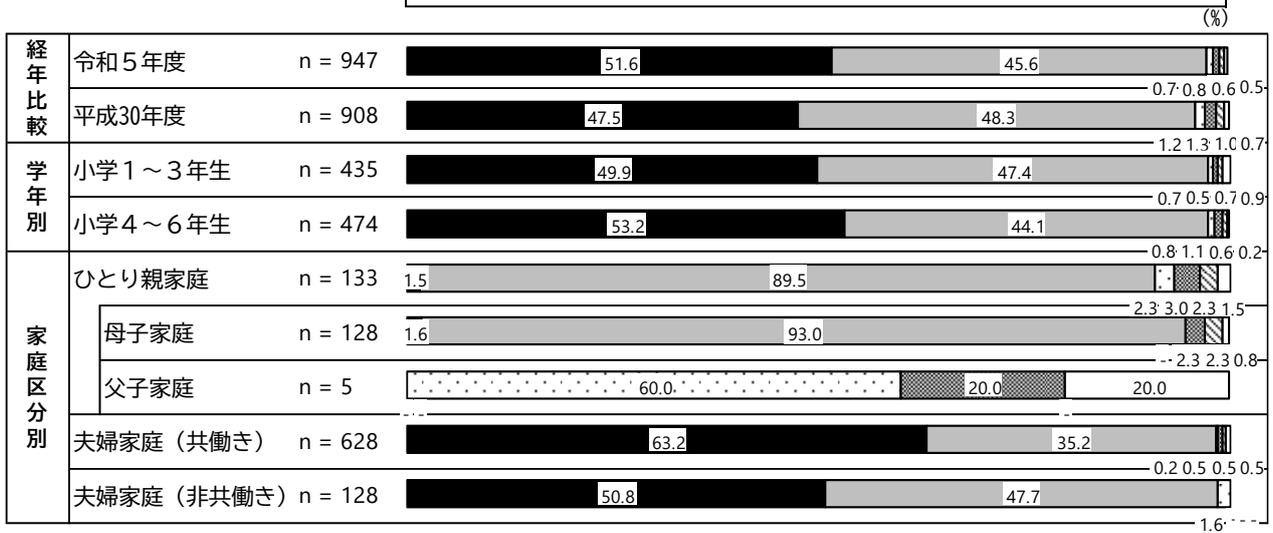
■ 父母ともに □ 主に母親 □ 主に父親 ■ 主に祖父母 ▨ その他 □ 無回答



【小学生】問5 主に子育てしている方（経年比較／学年別／家庭区分別）

問5 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。  
 ※お子さんからみた関係でお答えください。  
 (あてはまる番号1つに○)

■ 父母ともに □ 主に母親 □ 主に父親 ■ 主に祖父母 ▨ その他 □ 無回答



▶子育てに日常的に関わっている方については、「母親」(91.5%)が最も高く、次いで「父親」(61.7%)、「保育所」(39.3%)となっていました。

図表5：子育てに日常的に関わっている方（複数回答）

【就学前児童】問6 子育てに日常的に関わっている方（本年結果／年齢別／家庭区分別）

問6 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。  
 ※お子さんからみた関係でお答えください。  
 (あてはまる番号すべてに○)

		n	母親	父親	保育所	幼稚園	祖父母	認定こども園	その他
令和5年度		1,131	91.5	61.7	39.3	36.1	32.0	5.2	4.4
年齢別	0～2歳	355	92.4	62.5	48.5	5.1	29.3	4.5	4.2
	3～5歳	756	91.0	60.7	34.9	50.3	33.9	5.7	4.5
家庭区分別	ひとり親家庭	114	86.8	10.5	57.0	20.2	56.1	4.4	14.0
	母子家庭	106	90.6	4.7	56.6	19.8	57.5	4.7	15.1
	父子家庭	8	37.5	87.5	62.5	25.0	37.5	-	-
	夫婦家庭（共働き）	742	91.0	70.6	48.0	32.9	31.7	6.3	3.1
	夫婦家庭（非共働き）	243	95.9	58.4	3.7	53.9	23.0	2.5	4.1

- ▶子をみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(60.4%)が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(29.6%)、「いずれもない」(12.1%)となっていました。
- ▶就学前児童の保護者の多くは、前回調査時と同様に、日常において、また緊急時や用事の際に、親族や友人・知人に子どもをみてもらえる状況となっていました。一方で、誰にも子どもをみてもらえる状況にない方が約1割となっており、家庭区別にみると、母子家庭では8.5%となっていました。

図表6：子をみてもらえる親族や友人・知人の状況（複数回答）

【就学前児童】問7 子をみてもらえる親族・知人（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。  
（あてはまる番号すべてに○）

		n	緊急時もしくは祖父母等のみ	日常的に祖父母等の親族	いずれもない	緊急時もしくは友人・知人がみても	日常的に友人・知人がみても	無回答
経年比較	令和5年度	1,131	60.4	29.6	12.1	5.0	0.7	3.4
	平成30年度	1,085	60.7	33.4	11.8	5.1	0.8	1.4
年齢別	0～2歳	355	62.0	27.9	14.6	2.8	0.3	2.3
	3～5歳	756	59.4	30.8	11.0	5.8	0.9	3.8
家庭区分別	ひとり親家庭	114	46.5	49.1	7.9	6.1	0.9	6.1
	母子家庭	106	48.1	49.1	8.5	5.7	0.9	5.7
	父子家庭	8	25.0	50.0	-	12.5	-	12.5
	夫婦家庭（共働き）	742	61.7	28.7	12.1	4.0	0.4	2.7
	夫婦家庭（非共働き）	243	63.8	25.1	13.6	7.4	1.6	2.5

- ▶子を親族にみてもらうことについての考えについては、「親族の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(53.5%)が最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(25.5%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(25.0%)となっていました。
- ▶親族に子どもをみてもらうことについては、「安心して子どもをみてもらえる」と感じている方が多くなっていました。

図表7：子を親族にみてもらうことについての考え（複数回答）

【就学前児童】問7-1 子を親族にみてもらうことについての考え

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(祖父母等の親族にみてもらえる)を回答した方のみ  
 問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
 (あてはまる番号すべてに○)

		n	親族の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる							その他	無回答
経年比較	年齢別		祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である			
経年比較	令和5年度	937	53.5	25.5	25.0	24.0	7.9	2.7	1.1		
	平成30年度	926	51.2	25.1	27.3	27.3	8.2	2.9	0.9		
年齢別	0～2歳	292	53.8	25.3	25.0	21.9	8.6	2.4	0.7		
	3～5歳	629	53.4	25.3	25.0	24.5	7.6	2.9	1.3		
家庭区分別	ひとり親家庭	95	60.0	24.2	26.3	25.3	7.4	-	-		
	母子家庭	89	60.7	23.6	25.8	27.0	6.7	-	-		
	父子家庭	6	50.0	33.3	33.3	-	16.7	-	-		
	夫婦家庭（共働き）	623	53.0	25.7	25.0	25.4	7.9	3.0	1.1		
	夫婦家庭（非共働き）	198	53.5	24.2	23.2	19.2	7.6	3.0	1.5		



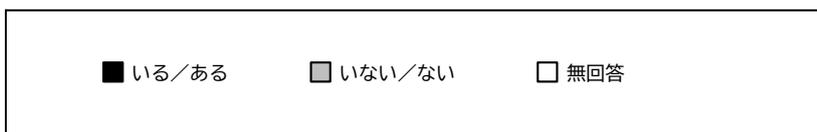
### (3) 子育てに関する相談者の状況

- ▶ 子育ての気軽な相談先の有無については、「いる／ある」が91.8%、「いない／ない」が5.5%となっていました。
- ▶ 前回調査時と同様に、約9割の方が気軽に相談できる相手が「いる／ある」と回答していました。一方で、気軽な相談先が「いない／ない」と回答している保護者も一定数おり、家庭区分別にみると、ひとり親家庭では5.3%となっていました。

図表9：子育ての気軽な相談先の有無

【就学前児童】問8 子育ての気軽な相談先の有無（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問8 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。  
(あてはまる番号1つに○)



		(%)		
経年比較	令和5年度 n = 1,131	91.8	5.5	2.7
	平成30年度 n = 1,085	89.8	3.6	6.6
年齢別	0～2歳 n = 355	92.7	5.1	2.3
	3～5歳 n = 756	91.8	5.6	2.6
家庭区分別	ひとり親家庭 n = 114	92.1	5.3	2.6
	母子家庭 n = 106	93.4	4.7	1.9
	父子家庭 n = 8	75.0	12.5	12.5
	夫婦家庭（共働き） n = 742	93.1	4.6	2.3
	夫婦家庭（非共働き） n = 243	88.9	7.8	3.3

- ▶子育ての気軽な相談先については、「祖父母等の親族」(83.2%)が最も高く、次いで「友人や知人」(72.1%)、「保育士」(26.5%)となっていました。
- ▶相談先としては「祖父母等の親族」や「友人や知人」といった身近な方が多く、次いで「保育士」や「幼稚園教諭」といった施設の職員となっていました。

図表 10：子育ての気軽な相談先（複数回答）

【就学前児童】問8-1 子育ての気軽な相談先（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問8で「いる／ある」を回答した方のみ

問8-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

		n	祖父母等の親族	友人や知人	保育士	幼稚園教諭	かかりつけの医師	子育て支援施設・NPO	近所の人	保健衛生施設	市の子育て関連担当窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
比較年	令和5年度	1,038	83.2	72.1	26.5	20.6	11.7	9.0	7.6	5.0	1.3	-	3.4	-
	平成30年度	974	82.2	72.9	23.2	15.3	8.0	8.2	8.3	9.7	0.7	-	4.9	0.4
年齢別	0～2歳	329	86.6	72.3	35.6	6.7	12.2	14.0	5.5	4.9	1.2	-	3.0	-
	3～5歳	694	81.7	71.9	22.5	27.4	11.5	6.5	8.6	5.0	1.3	-	3.5	-
家庭区分別	ひとり親家庭	105	81.9	64.8	34.3	14.3	11.4	9.5	4.8	6.7	1.0	-	2.9	-
	母子家庭	99	82.8	66.7	35.4	14.1	12.1	10.1	4.0	7.1	1.0	-	3.0	-
	父子家庭	6	66.7	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	691	84.5	74.5	32.3	19.2	11.3	5.8	7.4	3.3	0.9	-	2.9	-
	夫婦家庭（非共働き）	216	81.0	70.8	3.2	29.2	13.0	19.0	10.6	10.2	2.8	-	5.1	-

## 2 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

- ▶ 母親の就労状況については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(33.4%・45.9%)が最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(31.6%・36.0%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(20.8%・13.5%)となっていました。
- ▶ 前回調査時(就学前児童：69.7%、小学生：78.6%)と比べ、働いている母親の割合が高くなっていました。

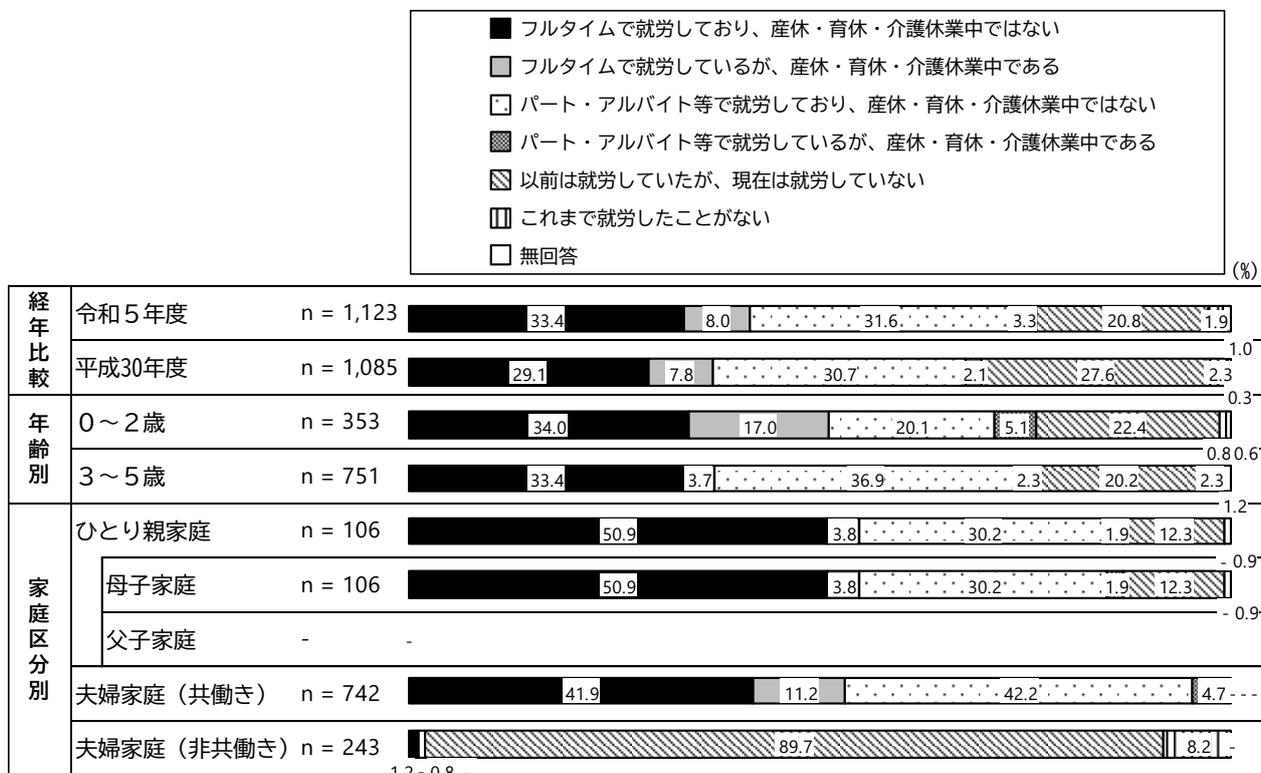
図表 11：母親の就労状況

#### 【就学前児童】問9(1) 母親の就労状況(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問9 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親(あてはまる番号1つに○)

※父子家庭の場合は記入不要です。



【小学生】問6（1） 母親の就労状況（経年比較／学年別／家庭区分別）

問6 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1)母親（あてはまる番号1つに○）

※父子家庭の場合は記入不要です。

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

(%)

経年比較	学年別	家庭区分別	項目	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
経年比較	令和5年度		45.9	942	0.7	36.0	0.4	13.5	1.4	2.1				
	平成30年度		39.8	908	0.2	38.3	0.3	15.6	2.1	3.6				
学年別	小学1～3年生		42.4	434	1.2	38.5	0.2	13.8	1.8	2.1				
	小学4～6年生		48.9	470	0.2	34.7	0.4	12.8	0.9	2.1				
家庭区分別	ひとり親家庭	ひとり親家庭	69.5	128	0.8	20.3	4.7	2.3	0.8	1.6				
	母子家庭	母子家庭	69.5	128	0.8	20.3	4.7	2.3	0.8	1.6				
	父子家庭	父子家庭	-	-										
	夫婦家庭（共働き）	夫婦家庭（共働き）	51.9	628	1.0	46.7	0.5							
	夫婦家庭（非共働き）	夫婦家庭（非共働き）	1.6	128	89.8	7.8								

▶ 母親の1週当たりの就労日数については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「5日」（66.9%・65.1%）が最も高く、次いで「4日」（15.8%・16.5%）、「6日以上」（11.4%・11.3%）となっていました。

図表 12：母親の就労日数

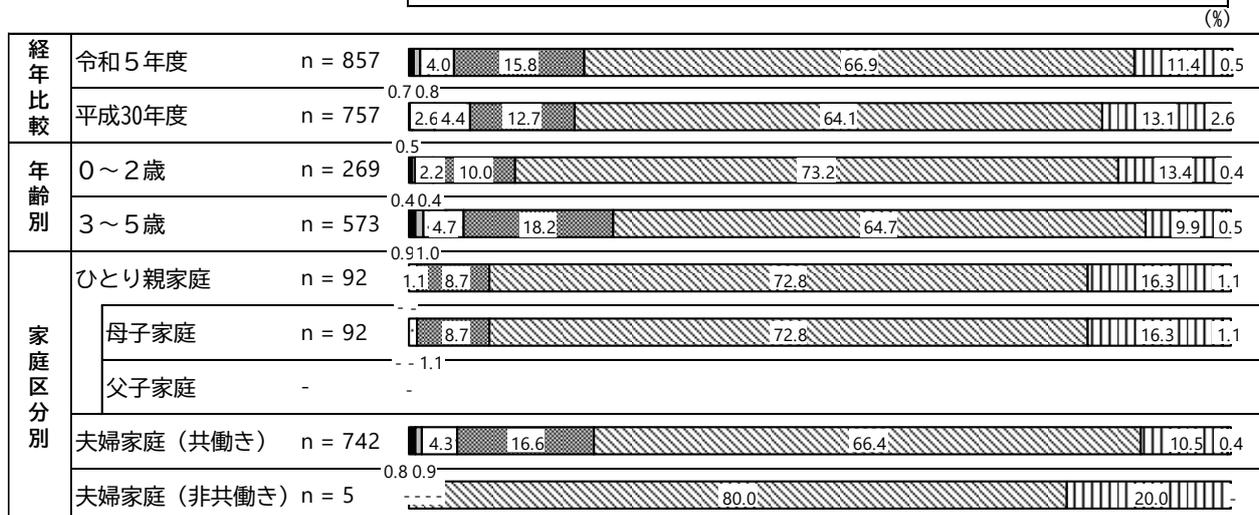
【就学前児童】問9（1）－1 母親の就労日数（1週当たり・経年比較／年齢別／家庭区分別）

問9(1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方のみ

問9(1)－1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



【小学生】問6(1) - 1 母親の就労日数(1週当たり・経年比較/学年別/家庭区分別)

問6(1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方のみ

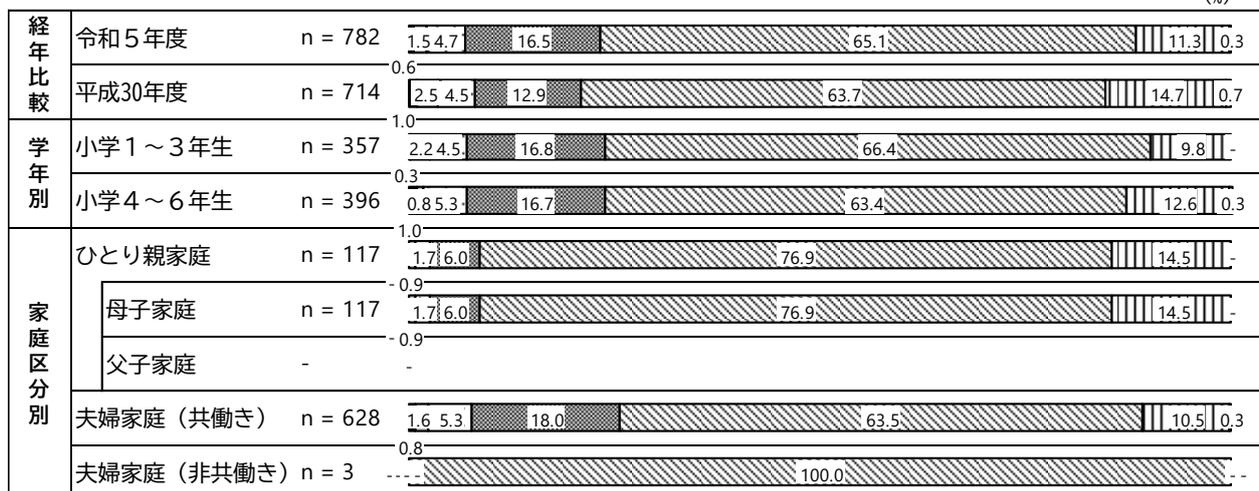
問6(1)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、□内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

■ 1日 □ 2日 □ 3日 □ 4日 □ 5日 □ 6日以上 □ 無回答

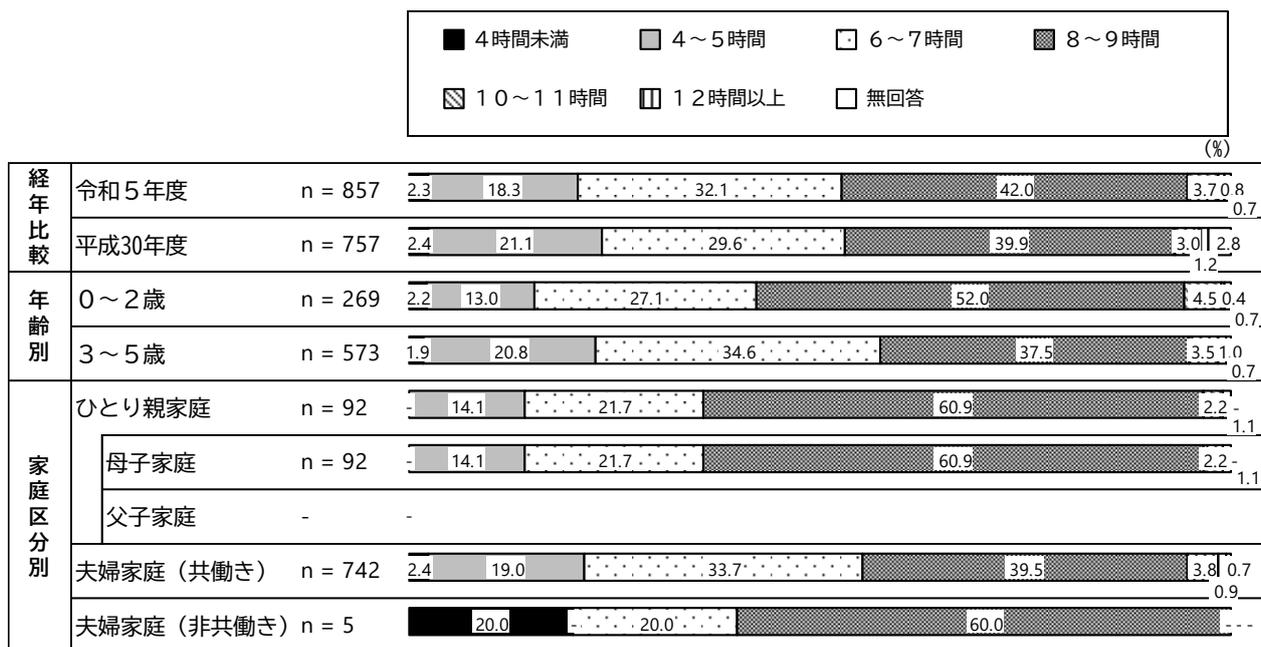
(%)



▶ 母親の1日当たりの就労時間については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「8～9時間」(42.0%・41.8%)が最も高く、次いで「6～7時間」(32.1%・25.8%)、「4～5時間」(18.3%・21.0%)となっていました。

図表 13：母親の就労時間

【就学前児童】問9(1) - 1 母親の就労時間(1日当たり・経年比較/年齢別/家庭区分別)



【小学生】問6（1）－1 母親の就労時間（1日当たり・経年比較／学年別／家庭区分別）



(%)

経年比較	令和5年度	n = 782	2.9	21.0	25.8	41.8	5.0	1.9	1.5
	平成30年度	n = 714	3.1	23.8	25.9	37.7	6.4	0.8	2.2
学年別	小学1～3年生	n = 357	3.6	22.1	28.3	39.2	3.4	1.7	1.7
	小学4～6年生	n = 396	2.0	20.7	23.5	44.2	6.3	1.8	1.5
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 117	0.9	5.1	26.5	55.6	6.8	2.6	2.6
	母子家庭	n = 117	0.9	5.1	26.5	55.6	6.8	2.6	2.6
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 628	3.2	23.7	25.3	40.1	4.8	1.8	1.1
	夫婦家庭（非共働き）	n = 3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-

▶ 母親の家を出る時間については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「8時台」(37.9%・38.6%)が最も高く、次いで「7時台」(33.6%・34.0%)、「9時台」(ともに11.6%)となっていました。

図表 14：母親の家を出る時間

【就学前児童】問9(1) - 2 母親の家を出る時間 (経年比較/年齢別/家庭区分別)

問9(1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方のみ

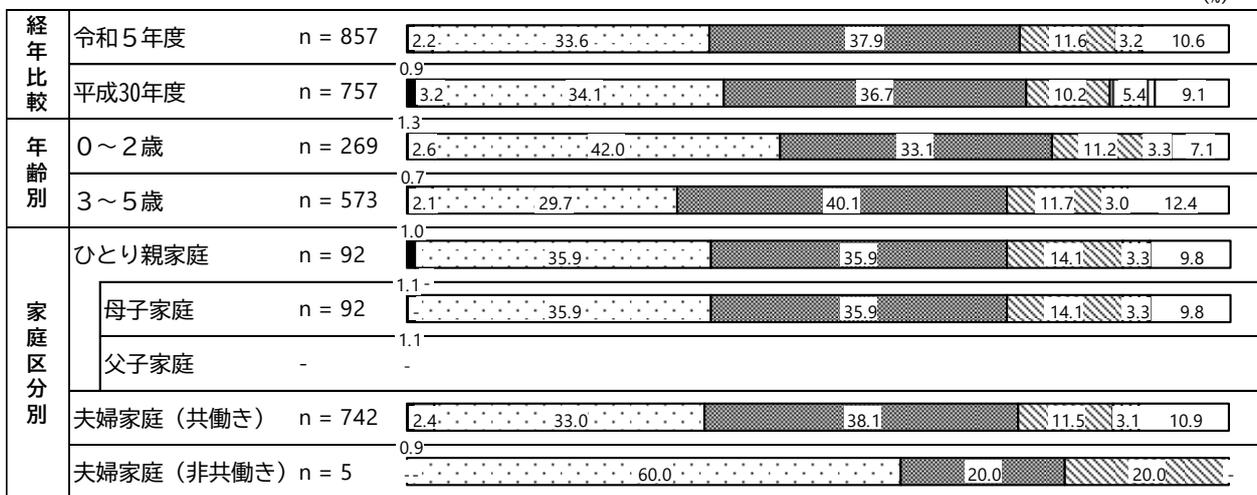
問9(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

■ 6時以前 □ 6時台 □ 7時台 ■ 8時台 ▨ 9時台 ▨ 10時以降 □ 無回答



【小学生】問6(1) - 2 母親の家を出る時間 (経年比較/学年別/家庭区分別)

問6(1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方のみ

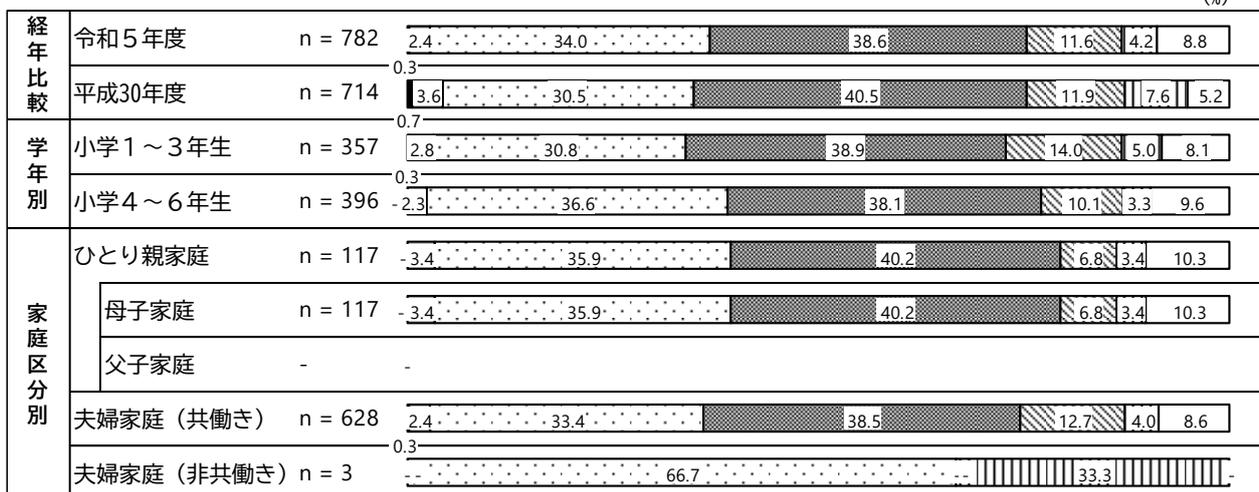
問6(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

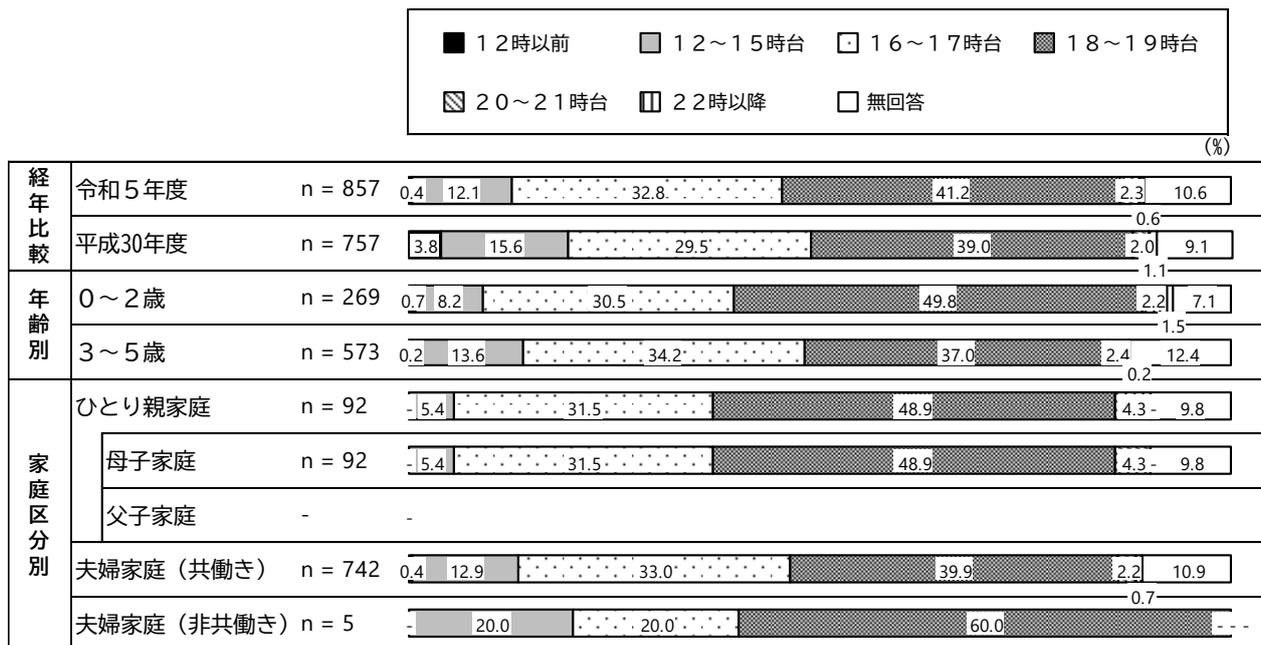
■ 6時以前 □ 6時台 □ 7時台 ■ 8時台 ▨ 9時台 ▨ 10時以降 □ 無回答



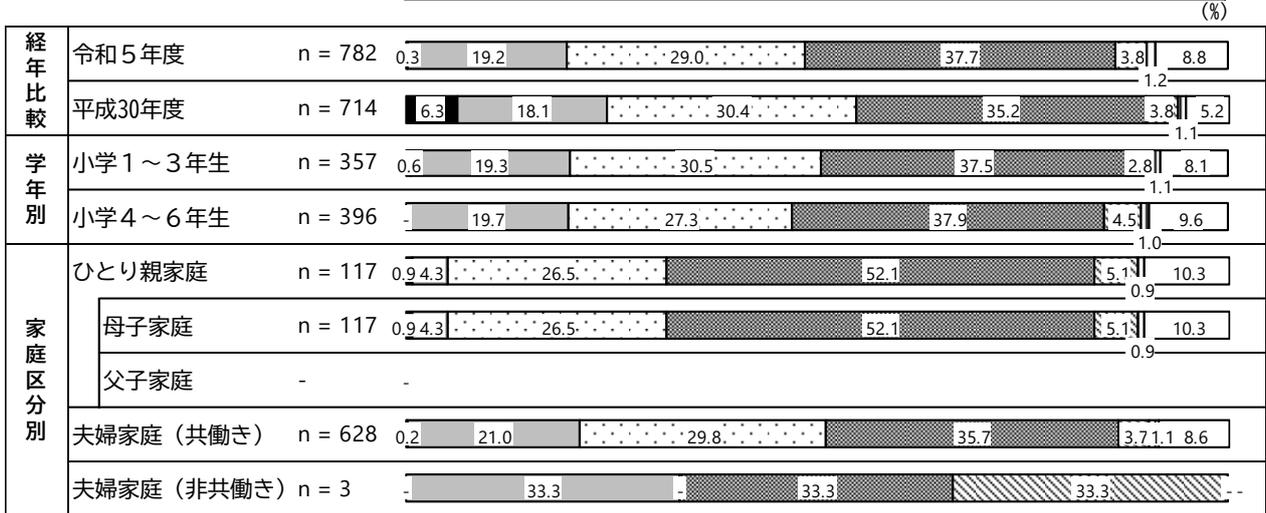
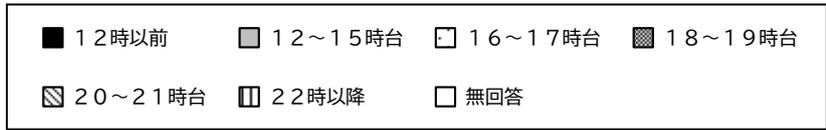
▶ 母親の帰宅時間については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「18～19時台」(41.2%・37.7%)が最も高く、次いで「16～17時台」(32.8%・29.0%)、「12～15時台」(12.1%・19.2%)となっていました。

図表 15：母親の帰宅時間

【就学前児童】問9(1)-2 母親の帰宅時間(経年比較/年齢別/家庭区分別)



【小学生】問6（1）-2 母親の帰宅時間（経年比較/学年別/家庭区分別）



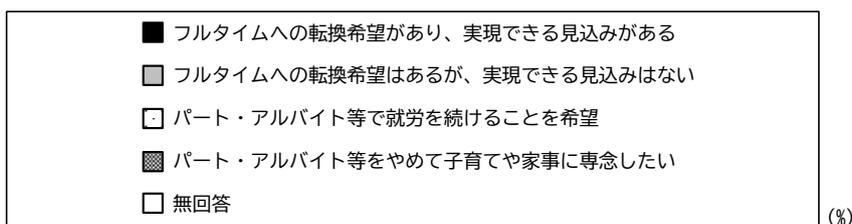
▶母親のフルタイムへの転換希望については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」(51.0%・53.4%)が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(21.4%・20.7%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(9.2%・10.5%)となっていました。

図表 16：母親のフルタイムへの転換希望

【就学前児童】問10(1) 母親のフルタイムへの転換希望(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問9(1)で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)を回答した方のみ

問10(1) フルタイムへの転換希望はありますか。  
(あてはまる番号1つに○)

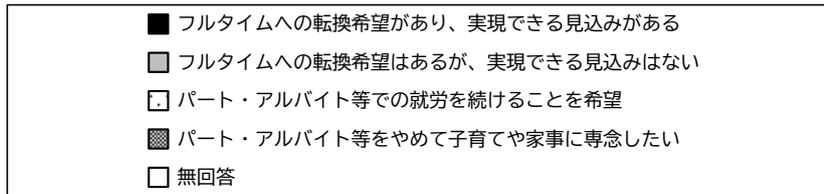


経年比較	年齢別	家庭区分別	n	希望あり、実現できる見込みがある (%)	希望はあるが、実現できる見込みはない (%)	パート・アルバイト等で就労を続けることを希望 (%)	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい (%)	無回答 (%)
令和5年度			392	9.2	21.4	51.0	2.8	15.6
平成30年度			356	15.7	21.1	41.3	4.5	17.4
	0～2歳		89	15.7	20.2	42.7	2.2	19.1
	3～5歳		294	7.5	21.8	53.4	3.1	14.3
		ひとり親家庭	34	8.8	38.2	35.3	2.9	14.7
		母子家庭	34	8.8	38.2	35.3	2.9	14.7
		父子家庭	-	-	-	-	-	-
		夫婦家庭(共働き)	348	9.2	19.8	52.6	2.9	15.5
		夫婦家庭(非共働き)	2	-	-	50.0	-	50.0

【小学生】問7(1) 母親のフルタイムへの転換希望(経年比較/学年別/家庭区分別)

問6(1)で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)を回答した方のみ

問7(1) フルタイムへの転換希望はありますか。  
(あてはまる番号1つに○)



		(%)				
経年比較	令和5年度 n = 343	10.5	20.7	53.4	4.1	11.4
	平成30年度 n = 351	8.8	17.1	54.4	3.1	16.5
学年別	小学1～3年生 n = 168	12.5	19.0	52.4	4.8	11.3
	小学4～6年生 n = 165	7.9	21.8	55.2	3.6	11.5
家庭区分別	ひとり親家庭 n = 27	7.4	25.9	59.3	-	7.4
	母子家庭 n = 27	7.4	25.9	59.3	-	7.4
	父子家庭 -	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き) n = 296	10.8	19.6	54.1	4.7	10.8
	夫婦家庭(非共働き) n = 1	-	-	100.0	-	-

▶現在就労していない母親の就労希望については、就学前児童の保護者では「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(31.0%)が最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(30.2%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(20.0%)となっていました。

図表 17：現在就労していない母親の就労希望

【就学前児童】問11(1) 現在就労していない母親の就労希望

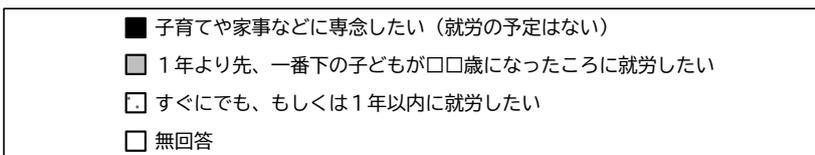
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問9(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」(現在は就労していない・就労したことがない)を回答した方のみ

問11(1) 就労したいという希望はありますか。

(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)

※該当する□内には数字をご記入ください。



経年比較	令和5年度	n = 255	20.0	30.2	31.0	18.8
	平成30年度	n = 325	17.2	38.5	32.3	12.0
年齢別	0～2歳	n = 82	17.1	39.0	29.3	14.6
	3～5歳	n = 169	21.3	26.6	31.4	20.7
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 13	7.7	69.2	23.1	
	母子家庭	n = 13	7.7	69.2	23.1	
	父子家庭	-	-	-	-	-
	夫婦家庭 (共働き)	-	-	-	-	-
	夫婦家庭 (非共働き)	n = 238	21.0	31.5	29.0	18.5

▶小学生の保護者では「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(45.0%)が最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(26.4%)、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(12.9%)となりました。

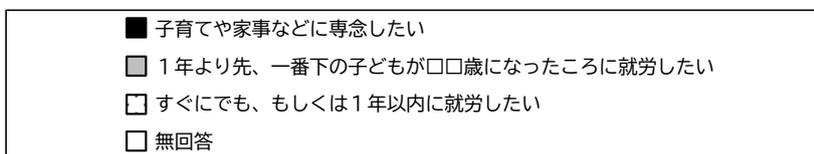
**【小学生】問8(1) 現在就労していない母親の就労希望(経年比較/学年別/家庭区分別)**

問6(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」(現在は就労していない・就労したことがない)を回答した方のみ

問8(1) 就労したいという希望はありますか。

(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)

※該当する□内には数字をご記入ください。



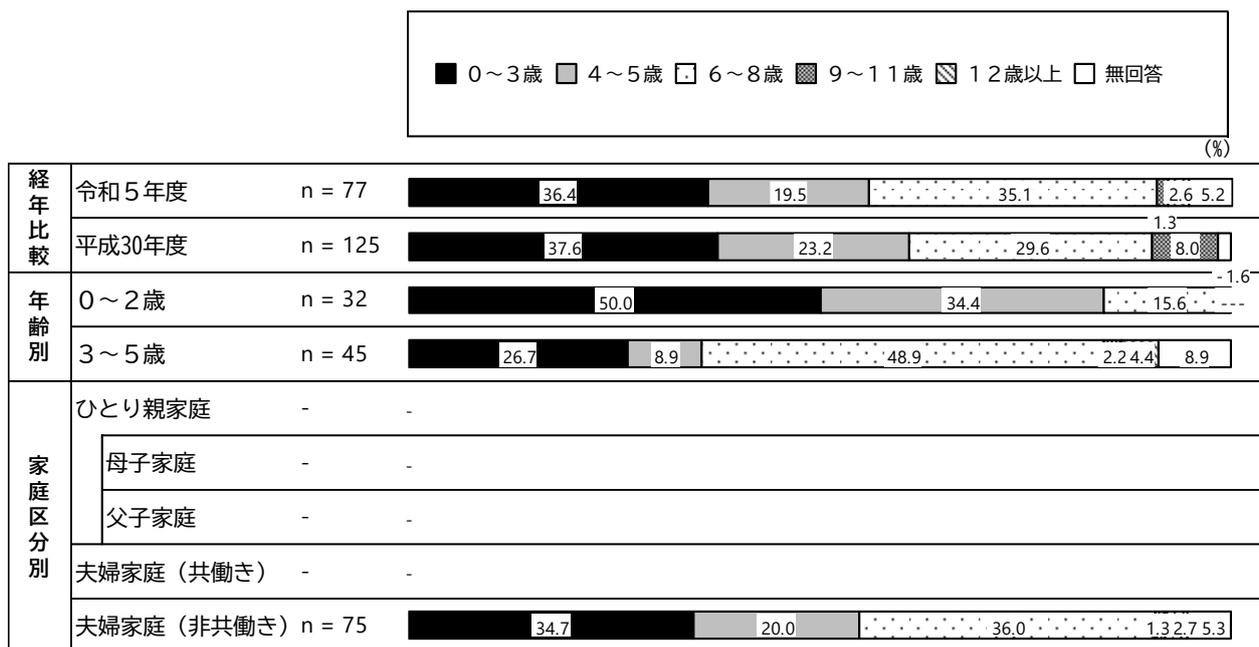
経年比較	令和5年度	n = 140	26.4	12.9	45.0	15.7
		平成30年度	n = 161	26.1	12.4	48.4
学年別	小学1～3年生	n = 68	29.4	20.6	39.7	10.3
	小学4～6年生	n = 64	23.4	6.3	51.6	18.8
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 8	12.5	50.0	37.5	
	母子家庭	n = 8	12.5	50.0	37.5	
	父子家庭	-	-			
	夫婦家庭(共働き)	-	-			
	夫婦家庭(非共働き)	n = 125	27.2	12.8	45.6	14.4

▶ 母親が就労を希望する際の末子の年齢については、就学時前児童の保護者では「0～3歳」（36.4%）が最も高く、次いで「6～8歳」（35.1%）、「4～5歳」（19.5%）となっていました。

図表 18：母親が就労を希望する際の末子の年齢

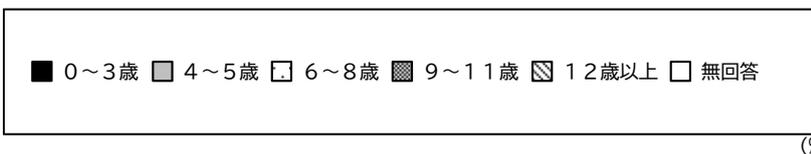
【就学前児童】問 1 1（1） 母親が就労を希望する際の末子の年齢

（経年比較／年齢別／家庭区分別）



▶小学生の保護者では「12歳以上」(55.6%)が最も高く、次いで「9～11歳」(38.9%)となっていました。

【小学生】問8(1) 母親が就労を希望する際の末子の年齢(経年比較/学年別/家庭区分別)



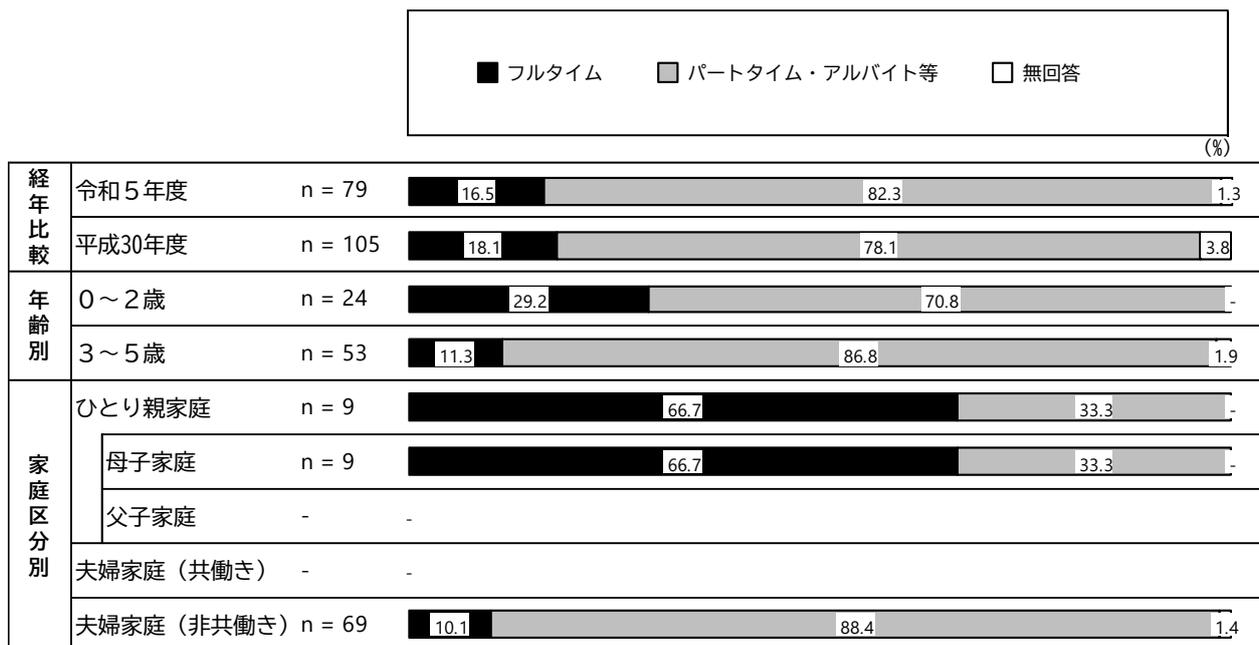
		(%)				
経年比較	令和5年度 n = 18	5.6	38.9	55.6	0.0	0.0
	平成30年度 n = 20	5.0	25.0	65.0	0.0	5.0
学年別	小学1～3年生 n = 14	7.1	50.0	42.9	0.0	0.0
	小学4～6年生 n = 4	-	-	100.0	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(非共働き) n = 16	6.3	37.5	56.3	0.0	0.0

▶ 母親が就労を希望する際の就労形態については、就学前児童の保護者では「パートタイム・アルバイト等」が82.3%、「フルタイム」が16.5%となっていました。

図表 19：母親が就労を希望する際の就労形態

【就学前児童】問11(1) 母親が就労を希望する際の就労形態

(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶小学生の保護者では「パートタイム・アルバイト等」が82.5%、「フルタイム」が14.3%となっていました。

【小学生】問8（1） 母親が就労を希望する際の就労形態（経年比較／学年別／家庭区分別）

■ フルタイム    □ パートタイム・アルバイト等    □ 無回答

(%)

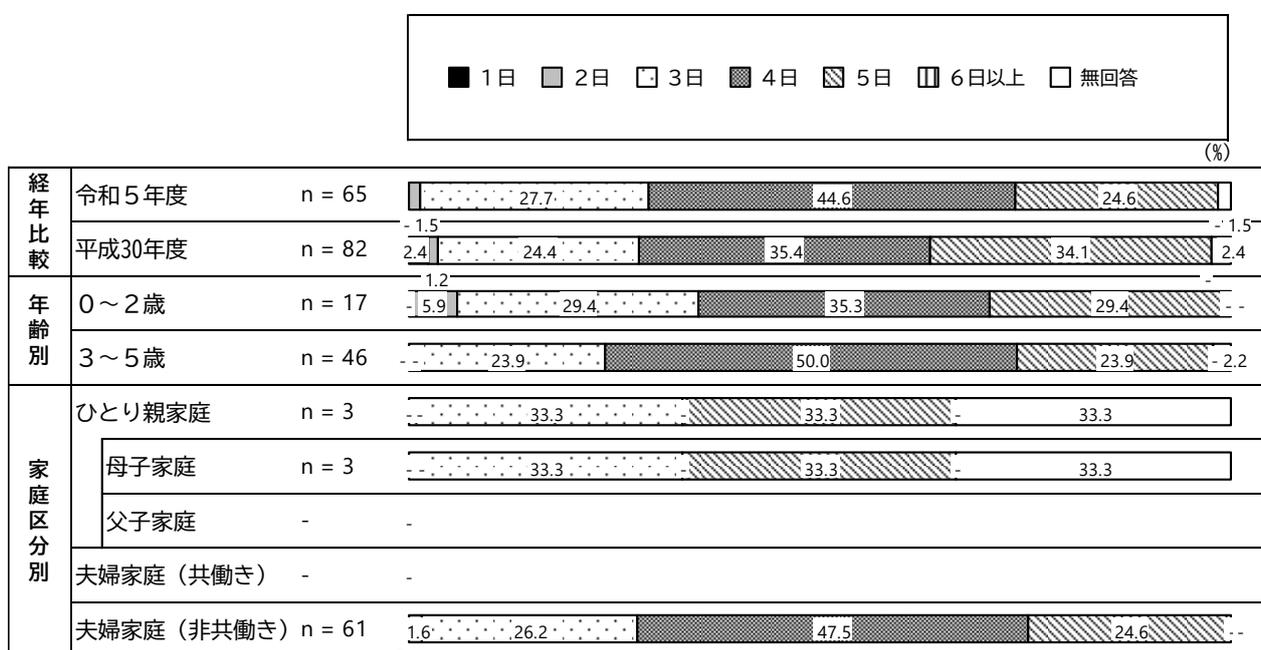
経年比較	令和5年度	n = 63	14.3	82.5	3.2
	平成30年度	n = 78	17.9	76.9	5.1
学年別	小学1～3年生	n = 27	11.1	85.2	3.7
	小学4～6年生	n = 33	15.2	84.8	-
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 4	50.0	50.0	-
	母子家庭	n = 4	50.0	50.0	-
	父子家庭	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	-	-	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	n = 57	12.3	86.0	1.8

- ▶ 母親が就労を希望する際の希望就労日数については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「4日」(44.6%・38.5%) が最も高く、次いで「3日」(27.7%・34.6%)、「5日」(24.6%・25.0%) となっていました。
- ▶ 小学生の保護者では「3日」と回答した方が前回調査時(45.0%)より10.4ポイント減少、「4日」と回答した方が前回調査時(28.3%)より10.2ポイント増加しました。

図表 20：母親が就労を希望する際の希望就労日数

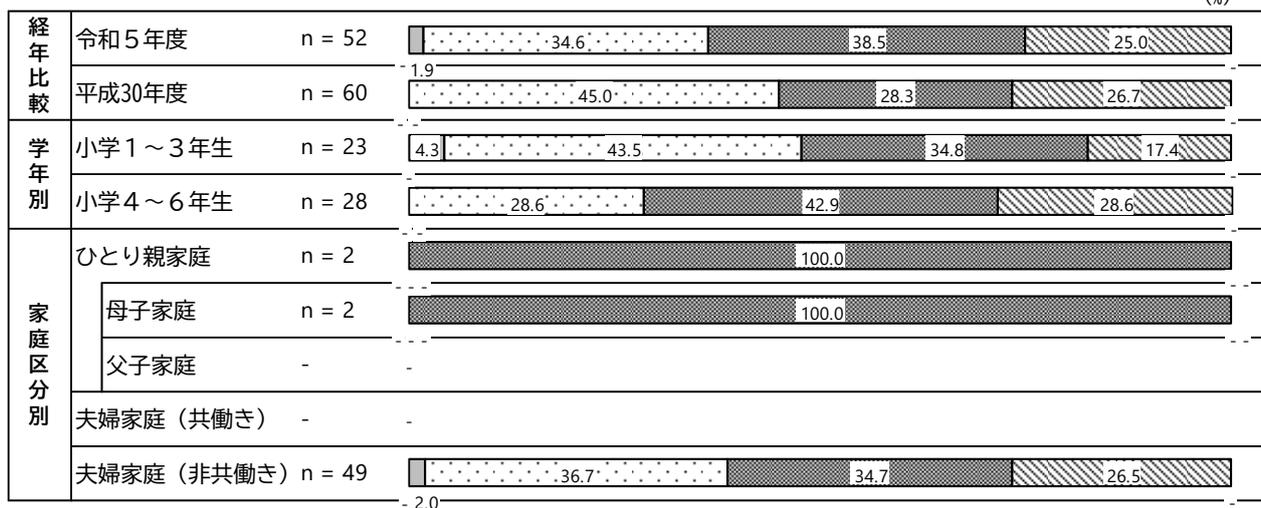
【就学前児童】問11(1) 母親が就労を希望する際の希望就労日数

(1週当たり・経年比較/年齢別/家庭区分別)



【小学生】問8（1） 母親が就労を希望する際の希望就労日数

（1週当たり・経年比較／学年別／家庭区分別）

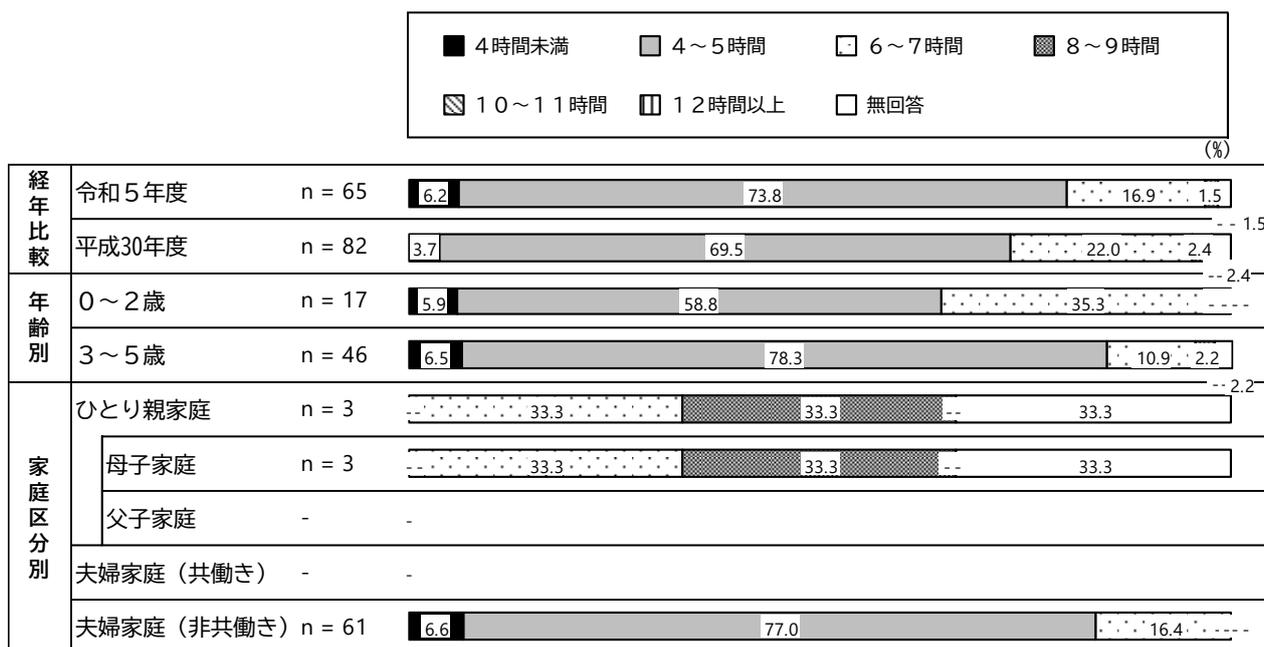


▶ 母親が就労を希望する際の希望就労時間については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「4～5時間」(73.8%・76.9%)が最も高く、次いで「6～7時間」(16.9%・13.5%)、「4時間未満」(6.2%・3.8%)となっていました。

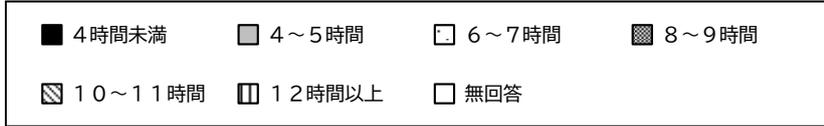
図表 21：母親が就労を希望する際の希望就労時間

【就学前児童】問 1 1 (1) 母親が就労を希望する際の希望就労時間

(1日当たり・経年比較/年齢別/家庭区分別)



**【小学生】問8（1） 母親が就労を希望する際の希望就労時間**  
 （1日当たり・経年比較／学年別／家庭区分別）



				(%)					
経年比較	令和5年度	n = 52	3.8	76.9	13.5	1.9	1.9	1.9	
	平成30年度	n = 60		85.0				15.0	
学年別	小学1～3年生	n = 23	8.7	69.6				21.7	
	小学4～6年生	n = 28		85.7				3.6	3.6 3.6 3.6
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 2		50.0				50.0	
	母子家庭	n = 2		50.0				50.0	
	父子家庭	-	-						
	夫婦家庭（共働き）	-	-						
	夫婦家庭（非共働き）	n = 49	4.1	77.6				12.2	2.0 2.0

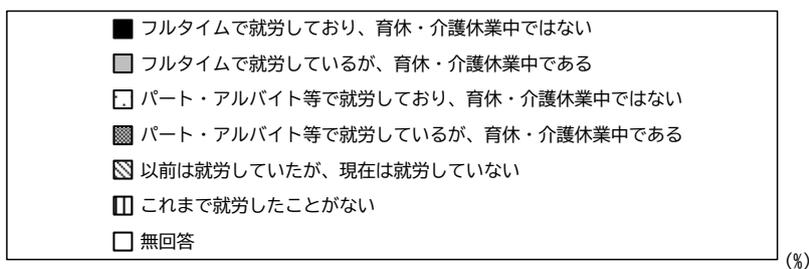
## (2) 父親の就労状況

- ▶ 父親の就労状況をみると、フルタイムで働いている方が、就学前児童・小学生の保護者いずれも9割以上となっていました。
- ▶ 小学生の保護者では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」と回答した方が前回調査時（77.8%）より14.6ポイント増加しました。

図表 22：父親の就労状況

### 【就学前児童】問9（2） 父親の就労状況（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問9 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。  
 (2)父親（あてはまる番号1つに○）  
 ※母子家庭の場合は記入不要です。

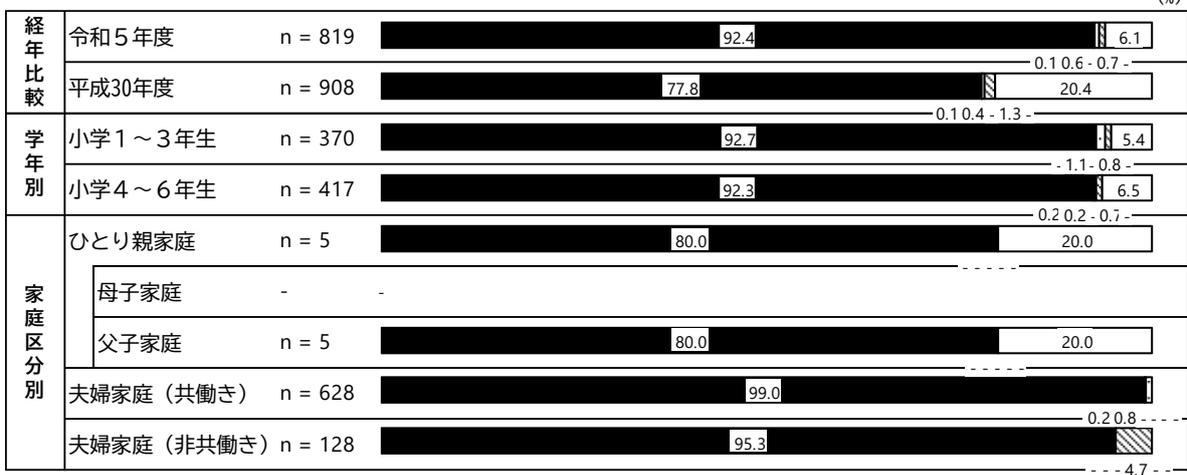


経年比較	経年	人数 (n)	フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない (%)	フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である (%)	パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない (%)	パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である (%)	以前は就労していたが、現在は就労していない (%)	これまで就労したことがない (%)	無回答 (%)
経年比較	令和5年度	1,025	95.2	1.2	0.4	0.9	2.3	-	-
	平成30年度	1,085	86.5	12.4	0.3	0.3	0.6	-	-
年齢別	0～2歳	320	96.3	1.9	0.3	1.6	-	-	-
	3～5歳	686	94.9	0.9	0.6	2.8	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	8	62.5	25.0	0.9	0.6	0.9	12.5	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	8	62.5	25.0	0.9	0.6	0.9	12.5	-
	夫婦家庭（共働き）	742	98.5	0.9	0.5	1.2	-	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	243	95.9	2.9	1.2	-	-	-	-

【小学生】問6（2） 父親の就労状況（経年比較／学年別／家庭区分別）

問6 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。  
 (2)父親（あてはまる番号1つに○）  
 ※母子家庭の場合は記入不要です。

- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▨ これまで就労したことがない
- 無回答



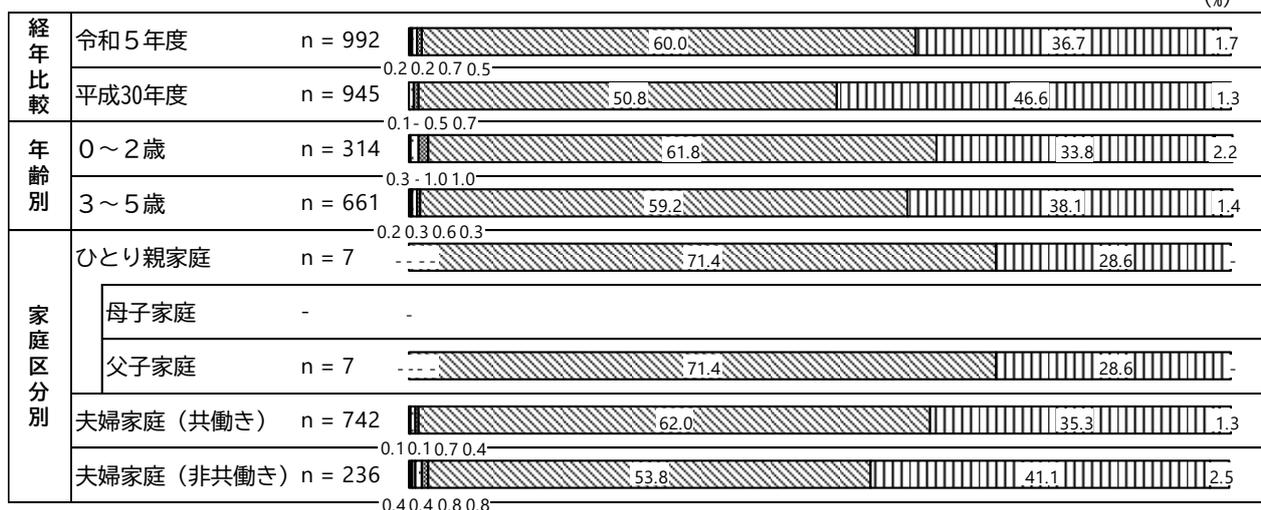
- ▶父親の1週当たりの就労日数については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「5日」（60.0%・61.2%）が最も高く、次いで「6日以上」（36.7%・36.6%）となっていました。
- ▶就学前児童の保護者では「6日以上」と回答した方が前回調査時（46.6%）より9.9ポイント減少しました。

図表 23：父親の就労日数

【就学前児童】問9（2）－1 父親の就労日数（1週当たり・経年比較／年齢別／家庭区分別）

問9(2)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方のみ  
 問9(2)－1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、□内に数字でご記入ください。  
 ※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
 ※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

■ 1日 □ 2日 □ 3日 ■ 4日 ■ 5日 □ 6日以上 □ 無回答



【小学生】問6(2) - 1 父親の就労日数(1週当たり・経年比較/学年別/家庭区分別)

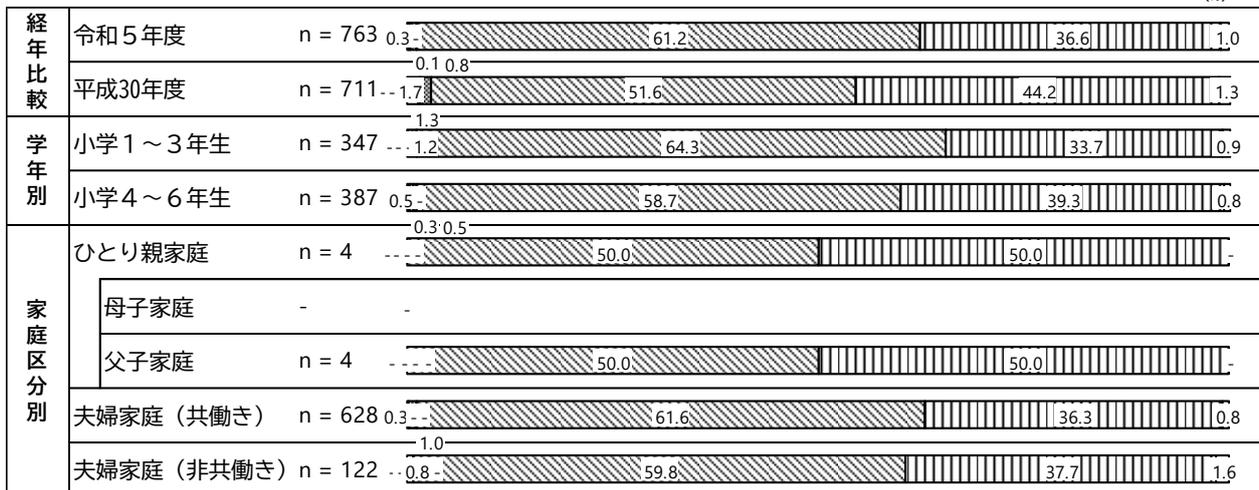
問6(2)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方のみ

問6(2)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、□内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

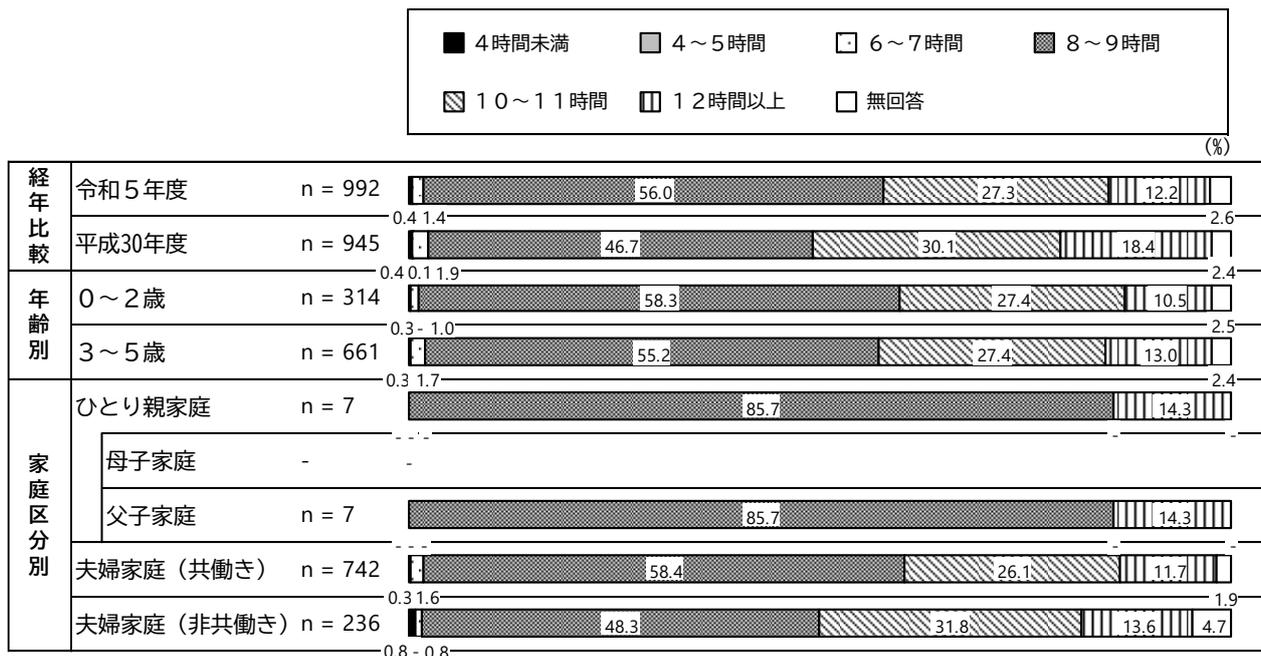
■ 1日 □ 2日 □ 3日 ■ 4日 ▨ 5日 ▩ 6日以上 □ 無回答



▶ 父親の1日当たりの就労時間については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「8～9時間」(56.0%・59.6%)が最も高く、次いで「10～11時間」(27.3%・24.6%)、「12時間以上」(12.2%・11.5%)となっていました。

図表 24：父親の就労時間

【就学前児童】問9(2)-1 父親の就労時間(1日当たり・経年比較/年齢別/家庭区分別)



【小学生】問6（2）-1 父親の就労時間（1日当たり・経年比較／学年別／家庭区分別）



(%)

経年比較	令和5年度	n = 763	1.2	59.6	24.6	11.5	2.2
		平成30年度	n = 711	1.8	47.4	29.0	17.0
学年別	小学1~3年生	n = 347	1.2	59.7	25.9	9.2	2.6
	小学4~6年生	n = 387	1.3	60.2	23.5	13.4	1.6
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 4	-	75.0	-	25.0	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	n = 4	-	75.0	-	25.0	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 628	1.3	60.4	24.7	11.1	1.6
	夫婦家庭（非共働き）	n = 122	0.8	55.7	26.2	12.3	4.9

▶ 父親の家を出る時間については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「7時台」（38.9%・36.4%）が最も高く、次いで「6時台」（21.6%・25.4%）、「8時台」（13.6%・16.0%）となっていました。

図表 25：父親の家を出る時間

【就学前児童】問9（2）-2 父親の家を出る時間（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問9(2)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方のみ

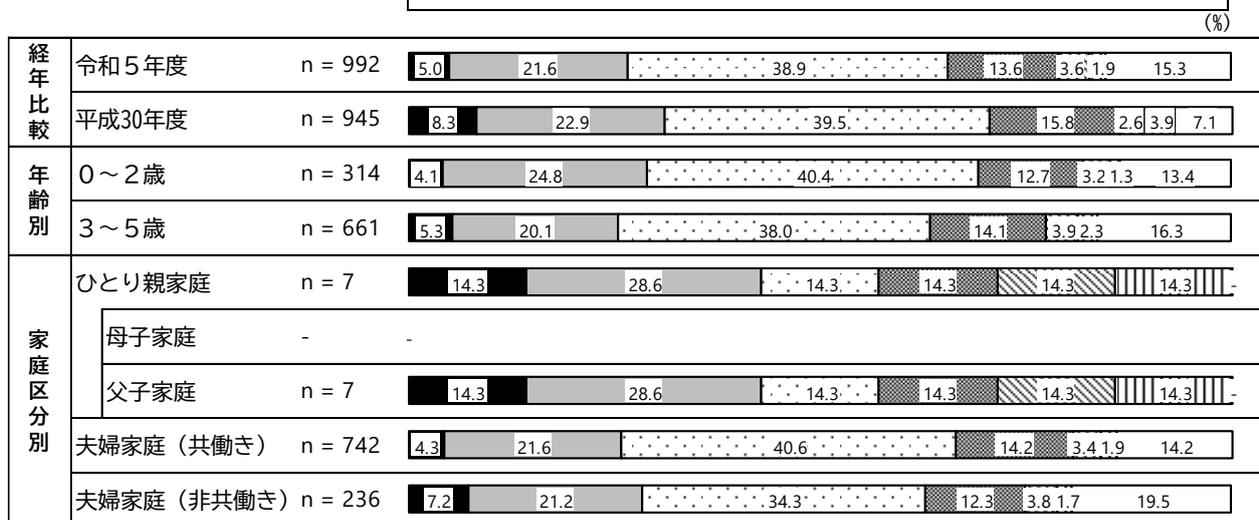
問9(2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

■ 6時以前 □ 6時台 □ 7時台 ■ 8時台 ▨ 9時台 ▨ 10時以降 □ 無回答



【小学生】問6(2) - 2 父親の家を出る時間 (経年比較/学年別/家庭区分別)

問6(2)で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)を回答した方のみ

問6(2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。

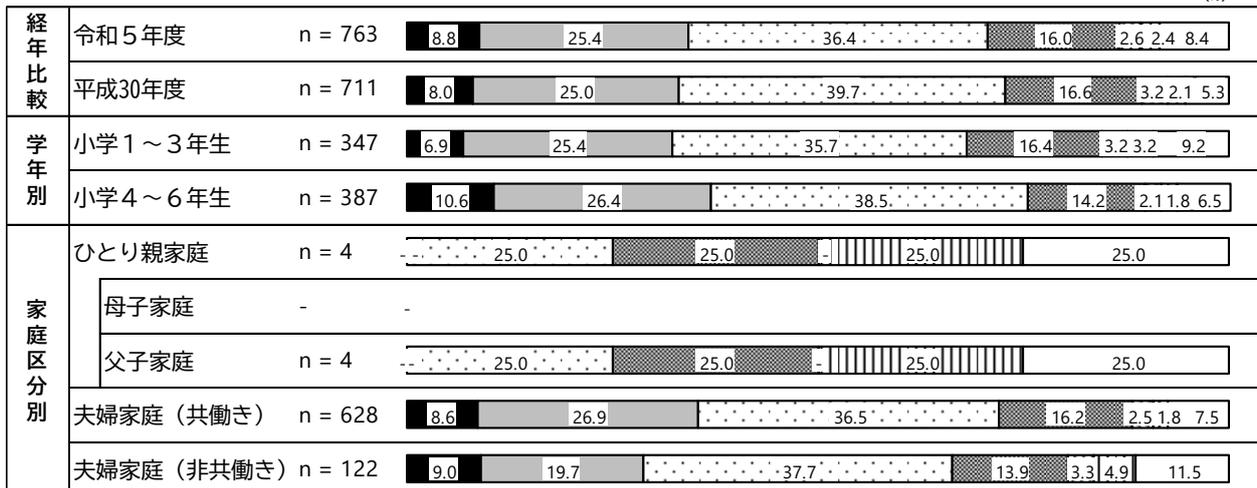
※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

■ 6時以前 □ 6時台 □ 7時台 ■ 8時台 ▨ 9時台 ▩ 10時以降 □ 無回答

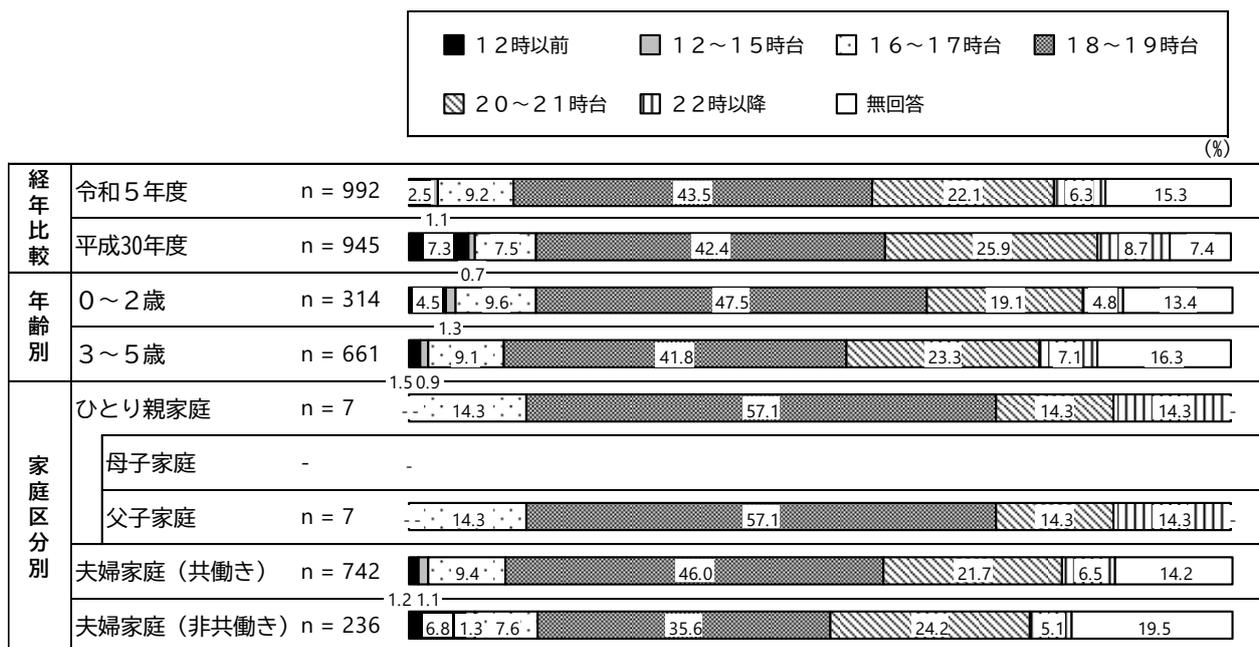
(%)



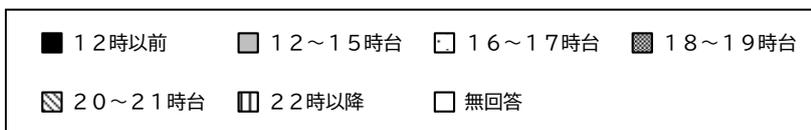
▶ 父親の帰宅時間については、就学前児童・小学生の保護者いずれも「18～19時台」(43.5%・45.0%)が最も高く、次いで「20～21時台」(22.1%・26.2%)、「16～17時台」(9.2%・11.0%)となっていました。

図表 26：父親の帰宅時間

【就学前児童】問9(2) - 2 父親の帰宅時間 (経年比較/年齢別/家庭区分別)



【小学生】問6（2）-2 父親の帰宅時間（経年比較／学年別／家庭区分別）



		(%)						
経年比較	令和5年度	n = 763	2.0	11.0	45.0	26.2	6.4	8.4
	平成30年度	n = 711	9.0	1.8	8.0	39.9	26.4	9.1
学年別	小学1～3年生	n = 347	2.0	10.1	45.0	25.4	7.8	9.2
	小学4～6年生	n = 387	2.1	12.4	45.7	27.1	4.9	6.5
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 4	-	-	25.0	50.0	-	25.0
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	n = 4	-	-	25.0	50.0	-	25.0
	夫婦家庭（共働き）	n = 628	1.8	11.6	44.3	27.1	6.5	7.5
	夫婦家庭（非共働き）	n = 122	3.3	9.0	48.4	21.3	6.6	11.5

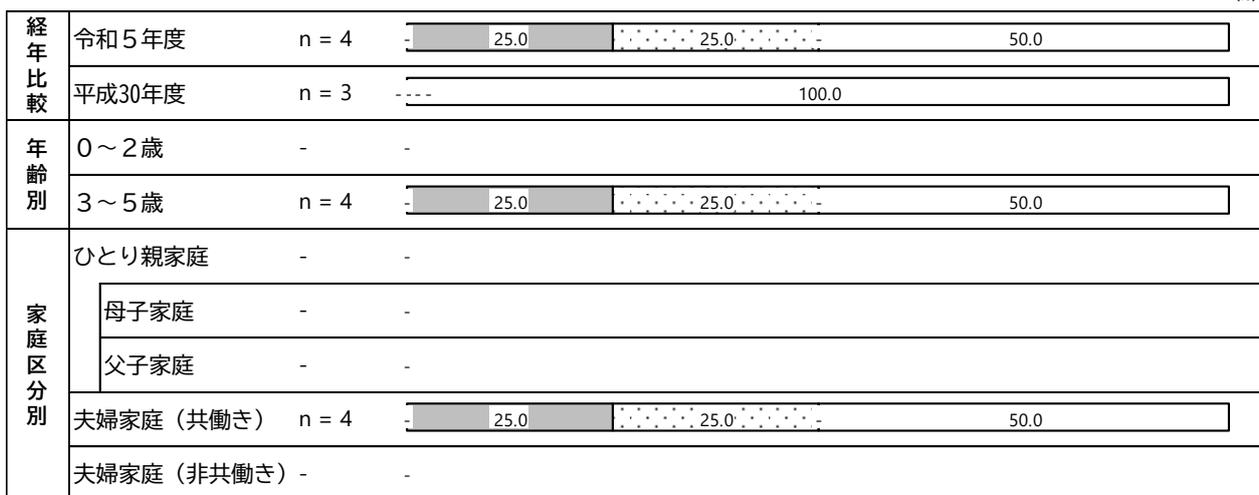
▶ 父親のフルタイムへの転換希望については、就学前児童・小学生の保護者いずれも回答者数が少ないため参考値として掲載しています。

図表 27：父親のフルタイムへの転換希望

【就学前児童】問10(2) 父親のフルタイムへの転換希望（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問9(2)で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)を回答した方のみ  
問10(2) フルタイムへの転換希望はありますか。  
(あてはまる番号1つに○)

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▣ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等で就労を続けることを希望
- ▨ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



【小学生】問7(2) 父親のフルタイムへの転換希望（経年比較／学年別／家庭区分別）

問6(2)で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)を回答した方のみ  
問7(2) フルタイムへの転換希望はありますか。  
(あてはまる番号1つに○)

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等での就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(%)

経年比較	令和5年度	n = 5	<input checked="" type="checkbox"/> 20.0	<input type="checkbox"/> 20.0	<input type="checkbox"/> --	<input type="checkbox"/> 60.0
	平成30年度	n = 4	<input type="checkbox"/> --	<input type="checkbox"/> 50.0	<input type="checkbox"/> 25.0	<input type="checkbox"/> 25.0
学年別	小学1～3年生	n = 4	<input type="checkbox"/> 25.0	<input type="checkbox"/> --	<input type="checkbox"/> --	<input type="checkbox"/> 75.0
	小学4～6年生	n = 1	<input checked="" type="checkbox"/> 100.0	<input type="checkbox"/> --	<input type="checkbox"/> --	<input type="checkbox"/> --
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 5	<input checked="" type="checkbox"/> 20.0	<input type="checkbox"/> 20.0	<input type="checkbox"/> --	<input type="checkbox"/> 60.0
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-	-

▶ 現在就労していない父親の就労希望については、就学前児童・小学生の保護者いずれも回答者数が少ないため参考値として掲載しています。

図表 28：現在就労していない父親の就労希望

【就学前児童】問11(2) 現在就労していない父親の就労希望

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問9(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」(現在は就労していない・就労したことがない)を回答した方のみ

問11(2) 就労したいという希望はありますか。

(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)

※該当する□内には数字をご記入ください。

- 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

(%)

経年比較	令和5年度	n = 9	<input type="checkbox"/> 11.1	<input type="checkbox"/> 44.4	<input type="checkbox"/> 44.4
	平成30年度	n = 6	<input type="checkbox"/> 16.7	<input type="checkbox"/> 66.7	<input type="checkbox"/> 16.7
年齢別	0～2歳	n = 1	-	<input type="checkbox"/> 100.0	-
	3～5歳	n = 6	<input type="checkbox"/> 16.7	<input type="checkbox"/> 66.7	<input type="checkbox"/> 16.7
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 1	-	<input type="checkbox"/> 100.0	-
	母子家庭	-	-	-	-
	父子家庭	n = 1	-	<input type="checkbox"/> 100.0	-
	夫婦家庭 (共働き)	-	-	-	-
	夫婦家庭 (非共働き)	n = 7	<input type="checkbox"/> 42.9	<input type="checkbox"/> 57.1	-

【小学生】問8（2） 現在就労していない父親の就労希望（経年比較／学年別／家庭区分別）

問6(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」(現在は就労していない・就労したことがない)を回答した方のみ  
 問8(2) 就労したいという希望はありますか。  
 (あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)  
 ※該当する□内には数字をご記入ください。

- 子育てや家事などに専念したい
- 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

経年比較	令和5年度	n = 6	83.3				16.7										
	平成30年度	n = 12	41.7				8.3				33.3				16.7		
学年別	小学1～3年生	n = 3	66.7				33.3										
	小学4～6年生	n = 3	100.0														
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-														
	母子家庭	-	-														
	父子家庭	-	-														
	夫婦家庭（共働き）	-	-														
	夫婦家庭（非共働き）	n = 6	83.3				16.7										

▶ 父親が就労を希望する際の末子の年齢については、就学前児童・小学生の保護者いずれも今回の調査での対象回答者はいませんでした。

図表 29：父親が就労を希望する際の末子の年齢

【就学前児童】問 1 1 (2) 父親が就労を希望する際の末子の年齢

(経年比較／年齢別／家庭区分別)

対象回答者なし

【小学生】問 8 (2) 父親が就労を希望する際の末子の年齢 (経年比較／学年別／家庭区分別)

■ 0～3歳 □ 4～5歳 □ 6～8歳 ■ 9～11歳 ▨ 12歳以上 □ 無回答

(%)

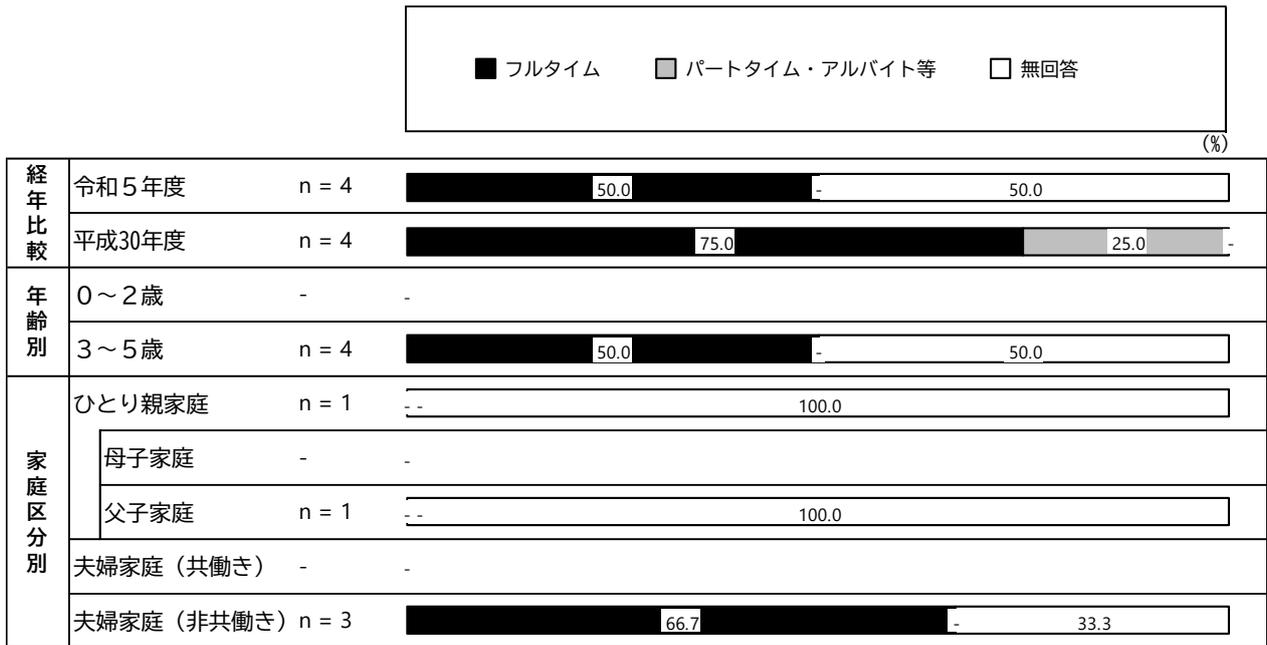
経年比較	令和5年度	-	-
	平成30年度	n = 1	100.0
学年別	小学1～3年生	-	-
	小学4～6年生	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-
	母子家庭	-	-
	父子家庭	-	-
	夫婦家庭（共働き）	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-

▶ 父親が就労を希望する際の就労形態については、就学前児童・小学生の保護者いずれも回答者数が少ないため参考値として掲載しています。

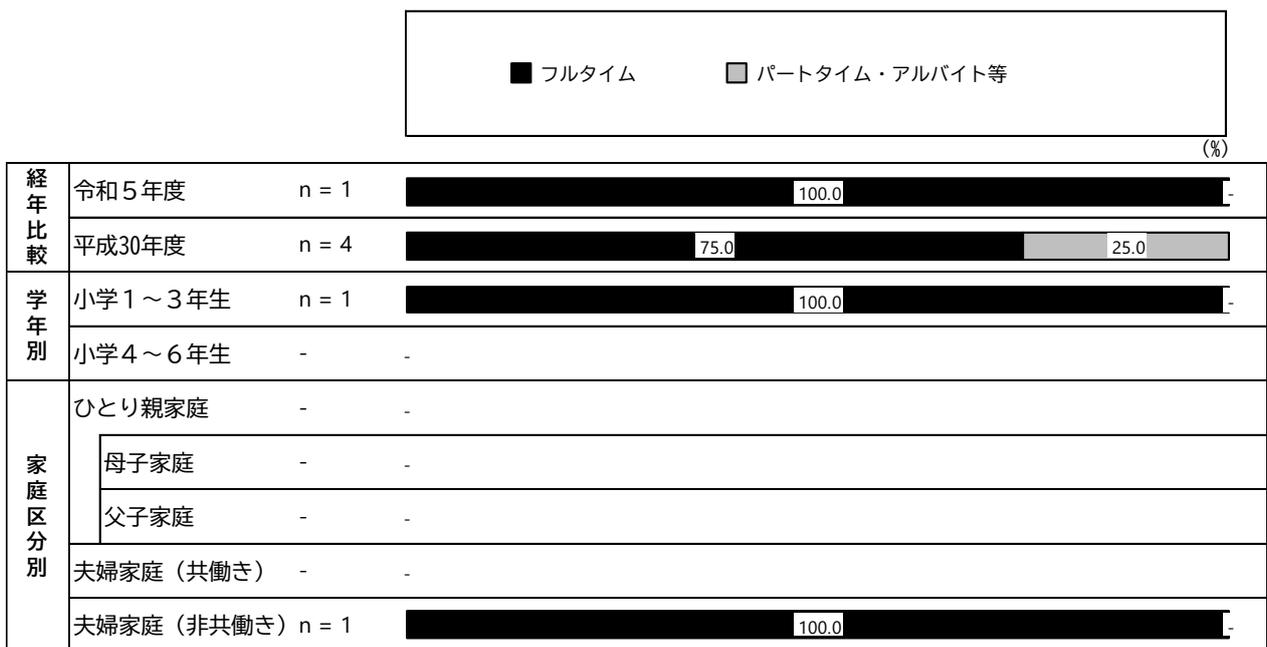
図表 30：父親が就労を希望する際の就労形態

【就学前児童】問 1 1 (2) 父親が就労を希望する際の就労形態

(経年比較/年齢別/家庭区分別)



【小学生】問 8 (2) 父親が就労を希望する際の就労形態 (経年比較/学年別/家庭区分別)

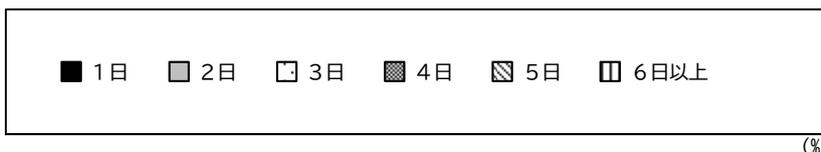


▶ 父親が就労を希望する際の希望就労日数については、就学前児童・小学生の保護者いずれも今回の調査での対象回答者はいませんでした。

図表 31：父親が就労を希望する際の希望就労日数

【就学前児童】問 1 1 (2) 父親が就労を希望する際の希望就労日数

(1 週当たり・経年比較/年齢別/家庭区分別)



(%)

経年比較	令和5年度	-	-
	平成30年度	n = 1	100.0
年齢別	0～2歳	-	-
	3～5歳	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-
	母子家庭	-	-
	父子家庭	-	-
	夫婦家庭（共働き）	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-

【小学生】問 8 (2) 父親が就労を希望する際の希望就労日数

(1 週当たり・経年比較/学年別/家庭区分別)



(%)

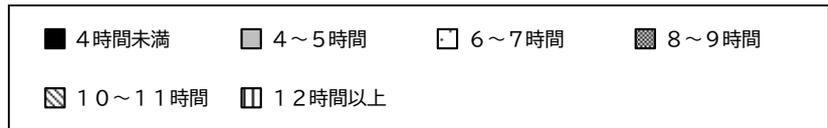
経年比較	令和5年度	-	-
	平成30年度	n = 1	100.0
学年別	小学1～3年生	-	-
	小学4～6年生	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-
	母子家庭	-	-
	父子家庭	-	-
	夫婦家庭（共働き）	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-

▶ 父親が就労を希望する際の希望就労時間については、就学前児童・小学生の保護者いずれも今回の調査での対象回答者はいませんでした。

図表 32：父親が就労を希望する際の希望就労時間

【就学前児童】問 1 1 (2) 父親が就労を希望する際の希望就労時間

(1日当たり・経年比較/年齢別/家庭区分別)

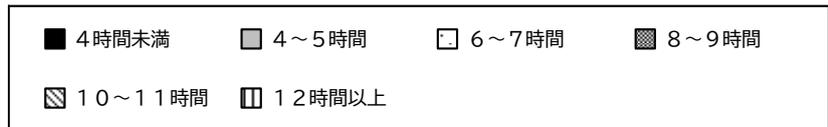


(%)

経年比較	令和5年度	-	-
	平成30年度	n = 1	100.0
年齢別	0~2歳	-	-
	3~5歳	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-
	母子家庭	-	-
	父子家庭	-	-
	夫婦家庭（共働き）	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-

【小学生】問 8 (2) 父親が就労を希望する際の希望就労時間

(1日当たり・経年比較/学年別/家庭区分別)



(%)

経年比較	令和5年度	-	-
	平成30年度	n = 1	100.0
学年別	小学1~3年生	-	-
	小学4~6年生	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-
	母子家庭	-	-
	父子家庭	-	-
	夫婦家庭（共働き）	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-

## **第4章**

# **子育て支援サービスの現状と 今後の利用希望**



## 第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

#### (1) 平日の定期的な教育・保育事業

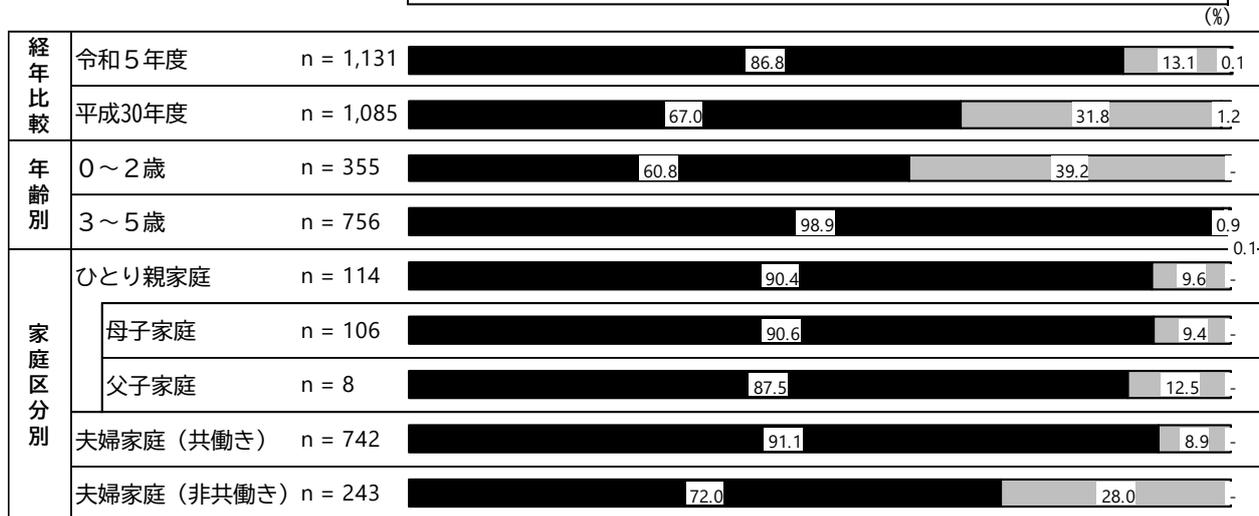
▶就学前児童の保護者では、定期的な教育・保育事業を利用しているのは86.8%でした。前回調査時から19.8ポイント増加しました。

図表 33：定期的な教育・保育事業の利用状況

【就学前児童】問12 定期的な教育・保育事業の利用状況（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問12 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。  
（あてはまる番号1つに○）

■ 利用している    □ 利用していない    □ 無回答



▶ 定期的な教育・保育事業の利用状況については、「幼稚園」が49.5%、次いで「認可保育所」が42.6%でした。全体的には保育事業（認定こども園を含む）が74.3%で最も利用されていました。

図表 34：定期的な教育・保育事業の利用状況と今後の利用希望（複数回答）

【就学前児童】問12-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問12で「利用している」を回答した方のみ

問12-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

（あてはまる番号すべてに○）

		n	幼稚園	認可保育所	幼稚園の預かり保育	認定こども園	小規模保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外保育施設	施設 自治体の認証・認定保育	ファミリー・サポート・センター	家庭的保育	居宅訪問型保育	その他	無回答
比較年	令和5年度	982	49.5	42.6	19.1	6.8	3.6	0.9	0.7	0.6	0.3	-	-	1.7	0.4
	平成30年度	727	41.1	50.6	10.6	0.6	2.1	1.2	1.9	0.4	0.4	-	-	2.3	0.1
年齢別	0～2歳	216	17.6	62.5	3.7	7.9	13.0	3.7	3.2	0.9	0.5	-	-	0.5	0.5
	3～5歳	748	58.4	36.8	23.5	6.7	0.9	0.1	-	0.5	0.1	-	-	2.1	0.4
家庭区分別	ひとり親家庭	103	32.0	60.2	13.6	7.8	4.9	1.0	-	-	1.9	-	-	-	1.0
	母子家庭	96	32.3	59.4	14.6	8.3	5.2	1.0	-	-	1.0	-	-	-	1.0
	父子家庭	7	28.6	71.4	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	676	42.0	49.1	23.7	6.8	4.4	1.2	1.0	0.6	0.1	-	-	1.5	0.3
	夫婦家庭（非共働き）	175	89.1	5.1	3.4	6.9	-	-	-	1.1	-	-	-	4.0	0.6

- ▶ 定期的な教育・保育事業の今後の利用希望については、「幼稚園」(57.7%) が最も高く、次いで「認可保育所」(47.8%)、「幼稚園の預かり保育」(37.9%) となっています。
- ▶ 現在の利用状況と比較すると、「幼稚園の預かり保育」が18.8ポイント増、次いで「認定こども園」が18.3ポイント増でした。

【就学前児童】問13 定期的な教育・保育事業の今後の利用希望

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

※これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

※現在、塩竈市では実施していない事業も含まれています。

		n	幼稚園	認可保育所	幼稚園の預かり保育	認定こども園	小規模保育施設	ファミリー・サポート・センター	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	施設 自治体の認証・認定保育	家庭的保育	その他の認可外保育施設	その他	無回答
比較年	令和5年度	1,131	57.7	47.8	37.9	25.1	9.2	6.5	5.8	5.5	2.4	1.9	1.1	2.2	1.3
	平成30年度	1,085	60.2	48.8	29.7	19.4	7.5	4.6	4.9	2.7	1.2	1.4	0.7	1.5	4.6
年齢別	0～2歳	355	47.9	66.5	28.7	32.7	17.5	7.9	8.2	5.9	4.5	2.5	1.4	0.8	0.6
	3～5歳	756	62.2	39.0	41.8	21.8	5.3	5.8	4.9	5.2	1.5	1.6	0.9	2.9	1.7
家庭区分別	ひとり親家庭	114	43.0	64.0	32.5	20.2	8.8	4.4	8.8	6.1	4.4	2.6	0.9	0.9	2.6
	母子家庭	106	43.4	64.2	34.0	20.8	9.4	3.8	9.4	6.6	4.7	2.8	0.9	0.9	2.8
	父子家庭	8	37.5	62.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	742	52.0	54.4	38.4	27.5	10.6	6.1	6.6	5.8	2.4	1.6	1.1	2.4	1.2
	夫婦家庭(非共働き)	243	83.1	18.9	39.5	20.6	5.8	8.2	2.5	3.3	1.2	1.2	0.8	2.1	0.8

▶ 平日の定期的な教育・保育事業の現在の1週当たり利用日数については、「5日」(91.4%)が最も高くなっていました。

図表 35：平日の定期的な教育・保育事業の利用日数における現状・希望

【就学前児童】問12-2(1) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の1週当たり利用日数  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問12で「利用している」を回答した方のみ

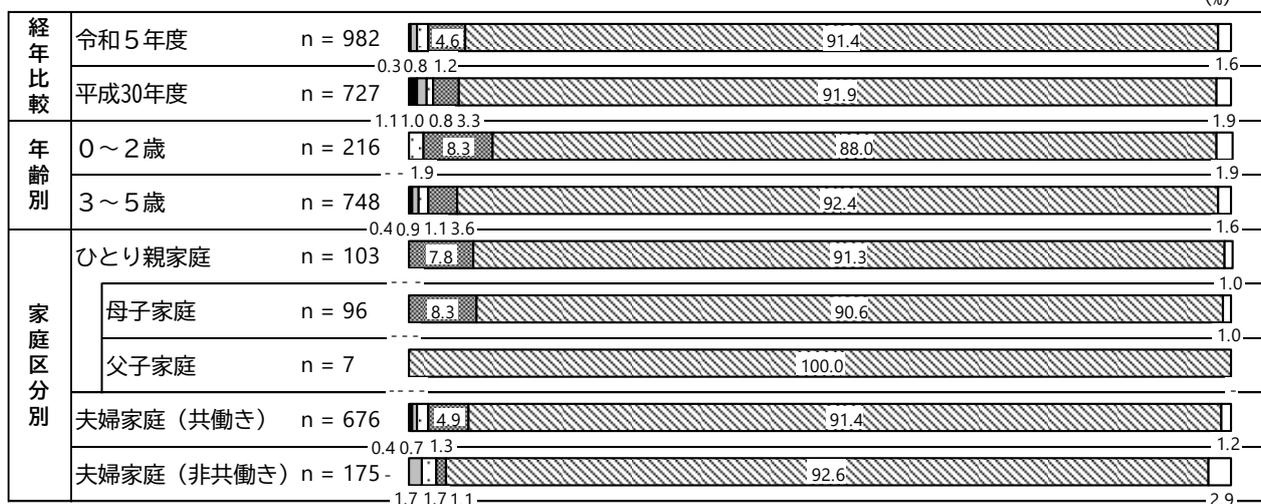
問12-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※1週当たり何日、1日当たり何時間(何時台～何時台)かを、口内に数字でご記入ください。

※時間は、必ず(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

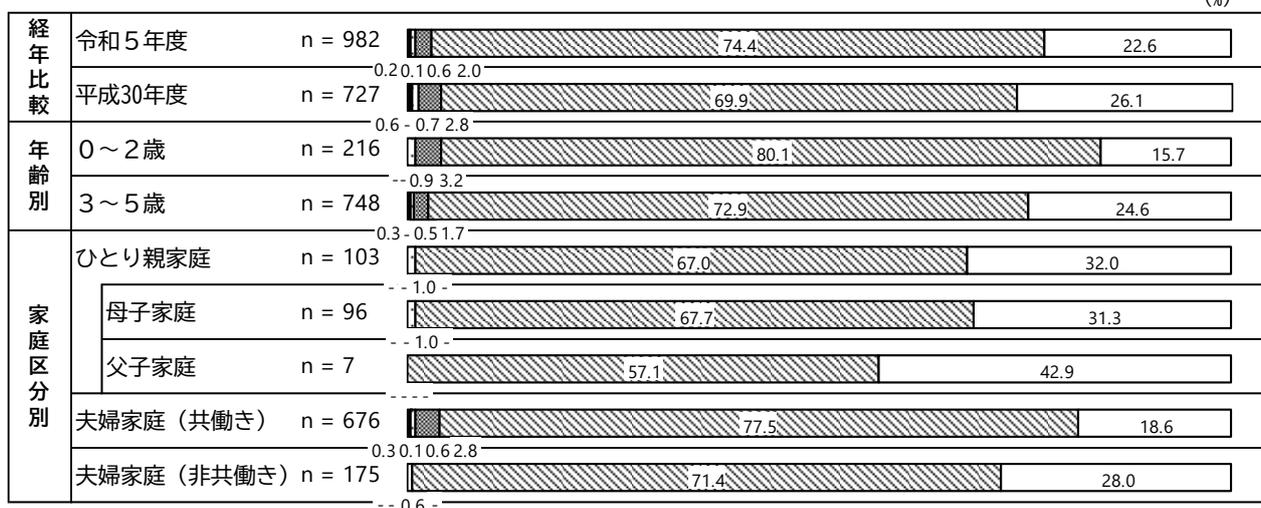
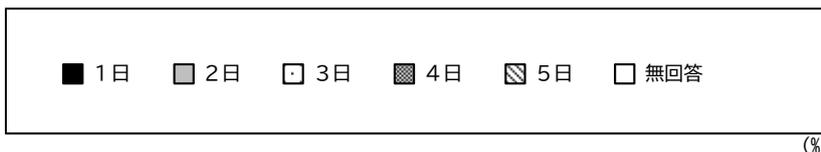
※問12-1で2つ以上回答された方は、若い番号の事業についてお答えください。

(例)「1.幼稚園」と「4.認定こども園」の場合は「1.幼稚園」について回答



▶ 平日の定期的な教育・保育事業の希望する1週当たりの利用日数については、「5日」(74.4%)が最も高くなっていました。

【就学前児童】問12-2(2) 平日の定期的な教育・保育事業の希望する1週当たりの利用日数(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶ 平日の定期的な教育・保育事業の現在の1日当たり利用時間については、「5時間」（18.6%）が最も高く、次いで「8時間」（16.1%）、「9時間」（15.8%）となっていました。

図表 36：平日の定期的な教育・保育事業の利用時間における現状・希望

【就学前児童】問12-2(1) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の1日当たり利用時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

		n	5時間未満	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答
経年比較	令和5年度	982	8.5	18.6	7.2	11.5	16.1	15.8	13.3	5.2	0.3	3.4
	平成30年度	727	7.1	17.1	10.0	8.4	19.1	15.0	15.5	5.0	0.7	2.2
年齢別	0～2歳	216	1.9	5.1	3.7	14.4	21.8	22.2	19.4	9.3	0.5	1.9
	3～5歳	748	10.3	22.5	8.4	10.6	14.4	14.0	11.8	4.0	0.3	3.7
家庭区分別	ひとり親家庭	103	1.9	6.8	3.9	11.7	23.3	20.4	19.4	5.8	-	6.8
	母子家庭	96	2.1	7.3	4.2	12.5	20.8	21.9	19.8	6.3	-	5.2
	父子家庭	7	-	-	-	-	57.1	-	14.3	-	-	28.6
	夫婦家庭（共働き）	676	7.2	10.8	6.5	13.5	17.9	19.2	15.8	6.2	0.4	2.4
	夫婦家庭（非共働き）	175	16.5	58.3	12.0	4.0	3.4	0.6	0.6	-	-	4.6

▶平日の定期的な教育・保育事業の希望の1日当たり利用時間については、「8時間」（14.6%）が最も高く、次いで「9時間」（13.3%）、「7時間」（12.1%）となりました。

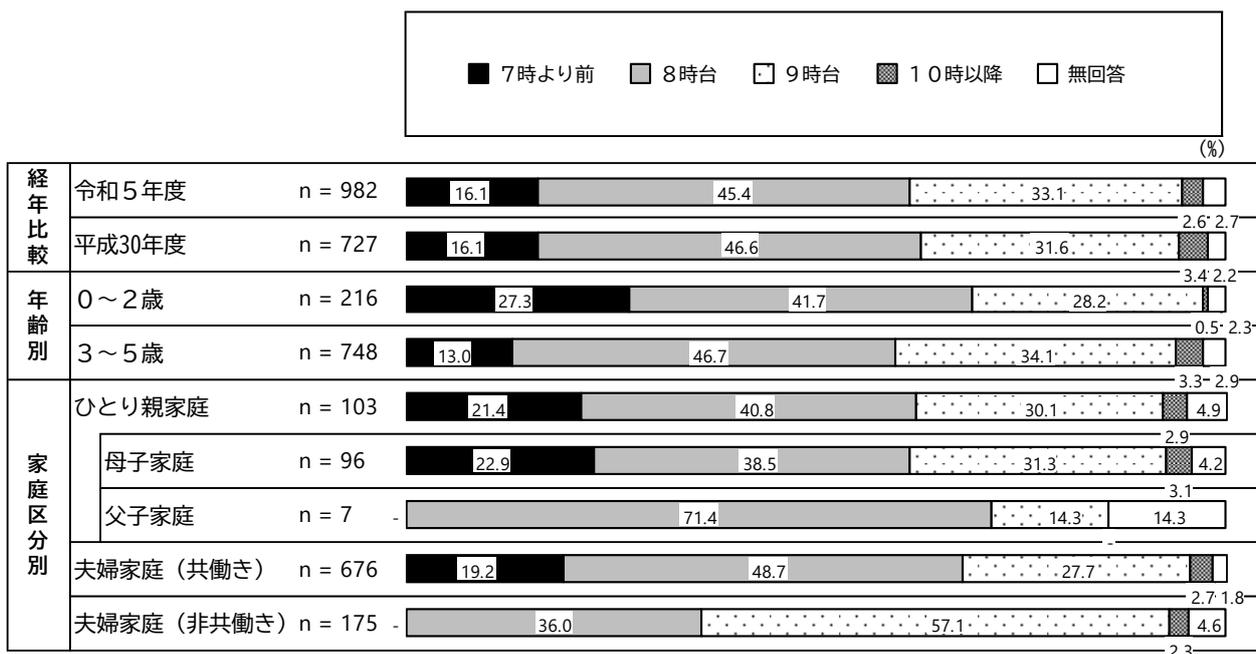
【就学前児童】問12-2(2) 平日の定期的な教育・保育事業の希望の1日当たり利用時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

		n	5時間未満	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答
比較年	令和5年度	982	2.7	7.3	8.7	12.1	14.6	13.3	11.3	4.6	2.1	23.2
	平成30年度	727	1.8	6.1	8.9	8.9	18.6	9.4	11.7	5.0	2.5	27.4
年齢別	0～2歳	216	-	3.7	2.8	10.6	19.4	16.7	16.7	11.1	2.8	16.2
	3～5歳	748	3.4	8.6	10.4	12.4	13.0	12.4	9.6	2.8	2.0	25.3
家庭区分別	ひとり親家庭	103	-	4.9	3.9	5.8	17.5	14.6	14.6	4.9	2.9	31.1
	母子家庭	96	-	5.2	4.2	6.3	16.7	14.6	14.6	5.2	3.1	30.2
	父子家庭	7	-	-	-	-	28.6	14.3	14.3	-	-	42.9
	夫婦家庭（共働き）	676	2.7	4.6	7.0	11.7	16.6	16.6	13.3	5.5	2.5	19.5
	夫婦家庭（非共働き）	175	4.0	20.6	18.3	19.4	5.7	1.7	1.1	-	0.6	28.6

▶ 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用開始時間については、「8時台」(45.4%)が最も高く、次いで「9時台」(33.1%)、「7時より前」(16.1%)となっていました。

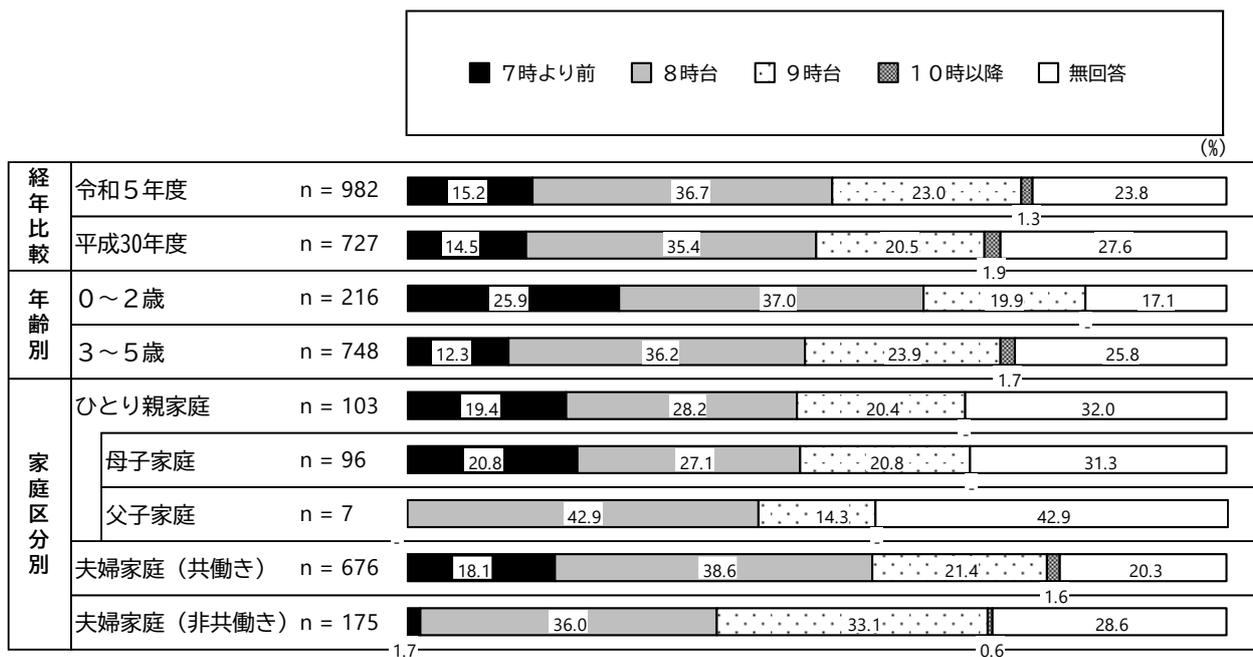
図表 37：平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間における現状・希望

【就学前児童】問12-2(1) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用開始時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶ 平日の定期的な教育・保育事業の希望の利用開始時間については、「8時台」(36.7%)が最も高く、次いで「9時台」(23.0%)、「7時より前」(15.2%)となっていました。

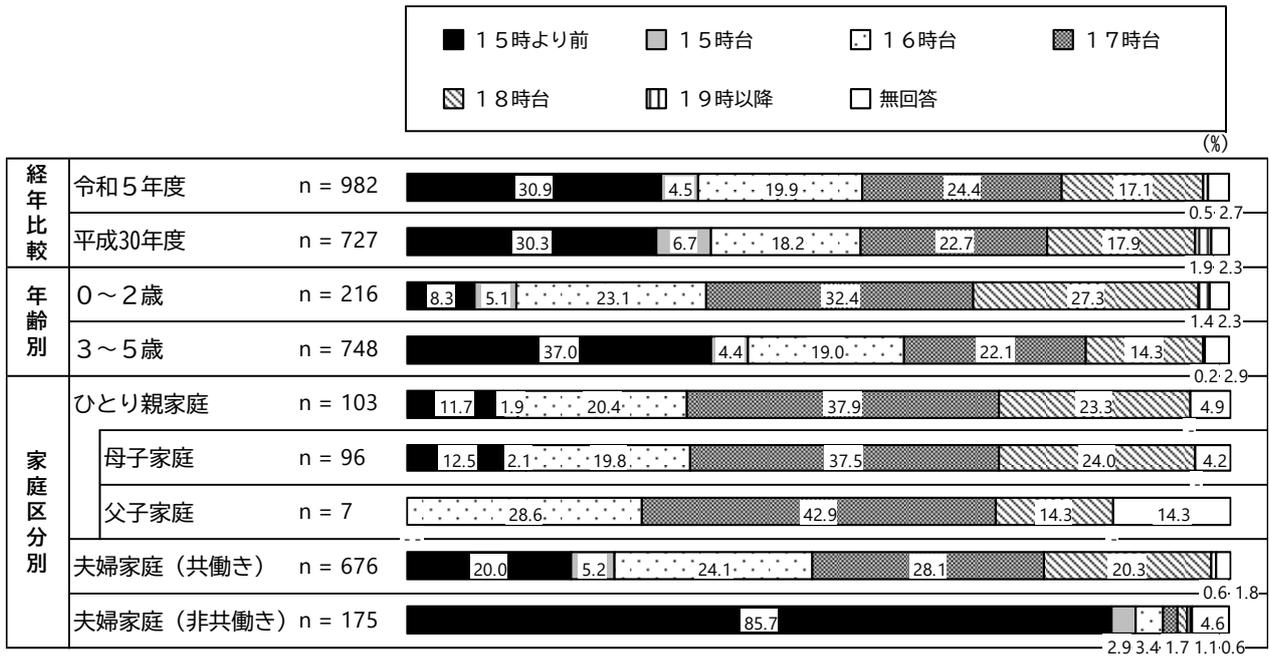
【就学前児童】問12-2(2) 平日の定期的な教育・保育事業の希望の利用開始時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶ 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用終了時間については、「15時より前」(30.9%)が最も高く、次いで「17時台」(24.4%)、「16時台」(19.9%)となっていました。

図表 38：平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間における現状・希望

【就学前児童】問12-2(1) 平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用終了時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶ 平日の定期的な教育・保育事業の希望の利用終了時間については、「17時台」(20.9%)が最も高く、次いで「16時台」(15.6%)、「18時台」(13.7%)となっていました。

【就学前児童】問12-2(2) 平日の定期的な教育・保育事業の希望の利用終了時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



		(%)						
経年比較	令和5年度 n = 982	11.7	10.5	15.6	20.9	13.7	3.3	24.3
	平成30年度 n = 727	9.9	10.2	16.2	16.5	14.7	4.8	27.6
年齢別	0~2歳 n = 216	4.2	5.1	16.2	29.2	22.2	5.6	17.6
	3~5歳 n = 748	14.0	12.2	15.5	18.3	11.1	2.7	26.2
家庭区分別	ひとり親家庭 n = 103	7.8	7.8	29.1	17.5	2.9	32.0	
	母子家庭 n = 96	8.3	7.3	30.2	16.7	3.1	31.3	
	父子家庭 n = 7	14.3	14.3	28.6			42.9	
	夫婦家庭(共働き) n = 676	8.0	8.1	19.2	23.7	16.3	4.0	20.7
	夫婦家庭(非共働き) n = 175	30.3	24.6	8.6	4.6	1.1	1.1	29.7

▶ 定期的な教育・保育事業の現在の利用場所については、「塩竈市内」が91.8%、「市外」が6.1%となっていました。

図表 39：定期的な教育・保育事業の実施場所における現状・希望

【就学前児童】問12-3 定期的な教育・保育事業の現在の利用場所

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問12で「利用している」を回答した方のみ

問12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

■ 塩竈市内    □ 市外    □ 無回答

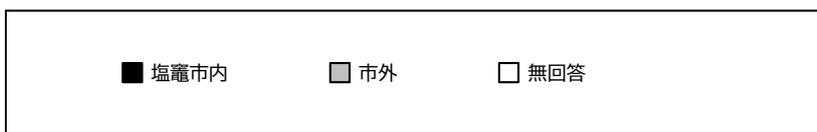
		(%)		
経年比較	令和5年度	n = 982	91.8	6.1 2.1
	平成30年度	n = 727	91.7	7.7 0.6
年齢別	0～2歳	n = 216	90.7	6.9 2.3
	3～5歳	n = 748	91.8	6.0 2.1
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 103	92.2	1.0 6.8
	母子家庭	n = 96	91.7	1.0 7.3
	父子家庭	n = 7	100.0	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 676	92.2	6.7 1.2
	夫婦家庭（非共働き）	n = 175	89.7	7.4 2.9

▶ 定期的な教育・保育事業の希望の利用場所については、「塩竈市内」が92.0%、「市外」が5.8%となっていました。

【就学前児童】問13-1 定期的な教育・保育事業の希望の利用場所

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問13-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)



		(%)		
経年比較	令和5年度	n = 1,131	92.0	5.8 2.1
	平成30年度	n = 1,085	88.6	6.9 4.5
年齢別	0～2歳	n = 355	91.5	7.3 1.1
	3～5歳	n = 756	92.2	5.3 2.5
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 114	91.2	6.1 2.6
	母子家庭	n = 106	91.5	5.7 2.8
	父子家庭	n = 8	87.5	12.5 -
	夫婦家庭（共働き）	n = 742	91.5	6.2 2.3
	夫婦家庭（非共働き）	n = 243	94.7	4.1 1.2

## (2) 定期的な教育・保育事業の利用している理由と利用していない理由

▶平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」（72.3%）が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」（61.4%）、「子育て（教育を含む）をしている方に就労予定がある／求職中であるため」（3.0%）となっていました。

図表 40：定期的な教育・保育事業の利用している理由と利用していない理由（複数回答）

【就学前児童】問12-4 平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由

（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問12で「利用している」を回答した方のみ

問12-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）

		n	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため	子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）をしている方が求職中であるため	子育て（教育を含む）をしている方に病気や障害があるため	子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族を介護しているため	子育て（教育を含む）をしている方が学生であるため	その他	無回答
比較年	令和5年度	982	72.3	61.4	3.0	1.9	0.7	0.3	1.0	1.7
	平成30年度	727	73.6	57.5	1.2	0.6	0.3	0.4	1.2	0.8
年齢別	0～2歳	216	87.0	43.1	2.8	2.3	-	-	0.9	2.8
	3～5歳	748	68.0	66.6	2.9	1.7	0.9	0.4	0.8	1.5
家庭区分別	ひとり親家庭	103	82.5	45.6	4.9	4.9	1.0	1.0	-	3.9
	母子家庭	96	83.3	45.8	5.2	5.2	1.0	1.0	-	4.2
	父子家庭	7	71.4	42.9	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	676	88.3	55.6	1.3	0.7	0.4	0.1	1.0	1.2
	夫婦家庭（非共働き）	175	5.1	92.6	7.4	4.6	1.1	-	1.7	2.3

- ▶ 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」が35.1%、次いで「利用する必要がないため」が33.8%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため」が12.2%でした。
- ▶ 「子どもがまだ小さいため」と回答した方が前回調査時（47.8%）より12.7ポイント減少しました。

【就学前児童】問12-5 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問12で「利用していない」を回答した方のみ

問12-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

※「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字でご記入ください。

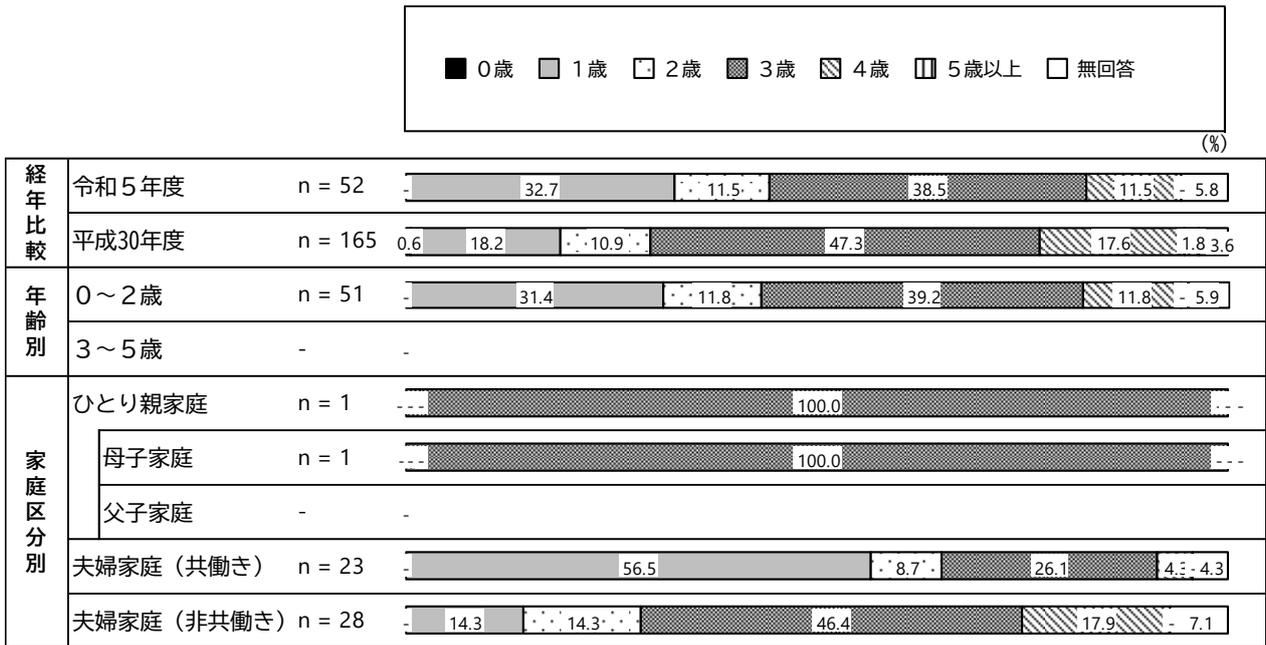
		n	子どもがまだ小さいため	利用する必要がないため	利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため	子どもの祖父母や親戚が	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないため	事業場がないため	利用したいが、事業の質	間等しい時間帯の条件が・合	利用したいが、延長が・夜	近所の人や父母の友人・	その他	無回答
比較年	令和5年度	148	35.1	33.8	12.2	8.8	5.4	2.0	0.7	-	-	21.6	2.0	
	平成30年度	345	47.8	33.3	15.9	9.9	6.4	1.4	1.4	-	-	15.1	0.3	
年齢別	0～2歳	139	36.7	33.8	11.5	7.9	5.8	2.2	0.7	-	-	20.9	1.4	
	3～5歳	7	-	28.6	14.3	28.6	-	-	-	-	-	42.9	14.3	
家庭区分別	ひとり親家庭	11	9.1	9.1	9.1	36.4	9.1	-	-	-	-	54.5	9.1	
	母子家庭	10	10.0	10.0	10.0	40.0	10.0	-	-	-	-	60.0	-	
	父子家庭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	夫婦家庭（共働き）	66	34.8	18.2	24.2	6.1	3.0	3.0	1.5	-	-	22.7	3.0	
	夫婦家庭（非共働き）	68	41.2	52.9	1.5	5.9	5.9	1.5	-	-	-	14.7	-	

- ▶教育・保育事業の利用を考える際の子どもの年齢については、「3歳」(38.5%)が最も高く、次いで「1歳」(32.7%)、「2歳」「4歳」(11.5%)となっていました。
- ▶「1歳」と回答した方が前回調査時(18.2%)より14.5ポイント増加しました。

図表 41：教育・保育事業の利用を考える際の子どもの年齢

【就学前児童】問12-5 教育・保育事業の利用を考える際の子どもの年齢

(経年比較/年齢別/家庭区分別)



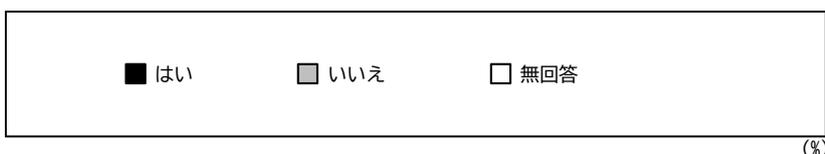
▶ 平日の定期的な教育・保育事業の中での幼稚園の利用意向（特に幼稚園の利用を強く望むか）については、「はい」が67.5%、「いいえ」が27.3%となっていました。

図表 42：平日の定期的な教育・保育事業の中での幼稚園の利用意向  
（特に幼稚園の利用を強く望むか）

【就学前児童】 問 1 3 - 2 平日の定期的な教育・保育事業の中での幼稚園の利用意向  
（特に幼稚園の利用を強く望むか）（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問13で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を回答し、かつ幼稚園以外の事業も利用したいと回答した方のみ

問13-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(あてはまる番号1つに○)



		(%)			
経年比較	令和5年度	n = 326	67.5	27.3	5.2
	平成30年度	n = 305	67.9	26.9	5.2
年齢別	0～2歳	n = 126	68.3	29.4	2.4
	3～5歳	n = 195	66.7	26.2	7.2
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 28	78.6	21.4	-
	母子家庭	n = 27	77.8	22.2	-
	父子家庭	n = 1	100.0	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 226	63.7	30.1	6.2
	夫婦家庭（非共働き）	n = 64	75.0	23.4	1.6

## 2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

### (1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

▶土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「月に1～2回は利用したい」が31.7%、次いで「ほぼ毎週利用したい」が13.4%でした。

図表 43：土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

【就学前児童】問17(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(経年比較／年齢別／家庭区分別)

問17 お子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

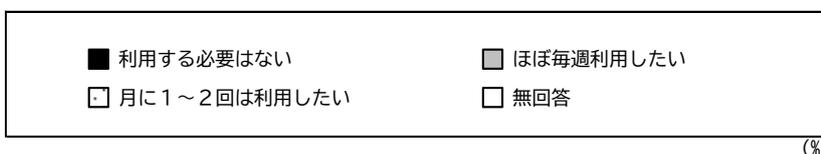
((1)と(2)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。

(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

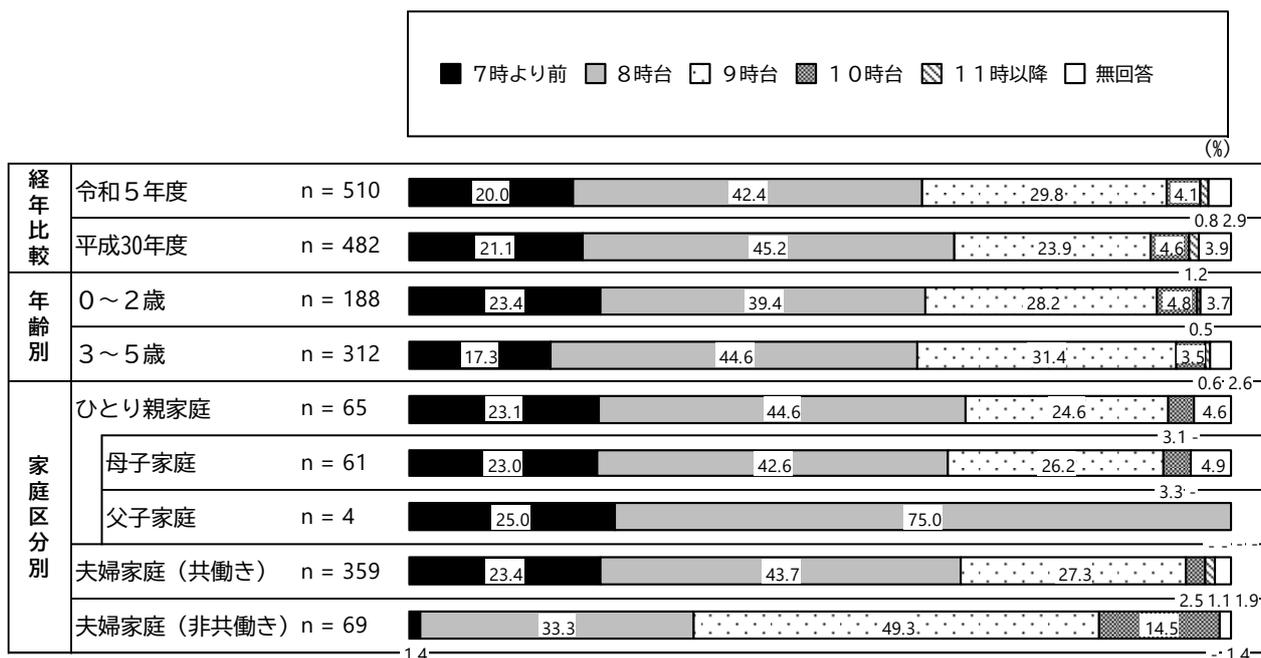


経年比較	経年	サンプル数 (n)	利用する必要はない (%)	ほぼ毎週利用したい (%)	月に1～2回は利用したい (%)	無回答 (%)
経年比較	令和5年度	n = 1,131	54.1	13.4	31.7	0.8
	平成30年度	n = 1,085	53.3	17.0	27.5	2.3
年齢別	0～2歳	n = 355	45.9	13.8	39.2	1.1
	3～5歳	n = 756	58.1	13.0	28.3	0.7
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 114	42.1	18.4	38.6	0.9
	母子家庭	n = 106	41.5	18.9	38.7	0.9
	父子家庭	n = 8	50.0	12.5	37.5	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 742	50.9	15.8	32.6	0.7
	夫婦家庭（非共働き）	n = 243	71.2	-	2.9	25.5

▶希望する土曜日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間については、「8時台」(42.4%)が最も高く、次いで「9時台」(29.8%)、「7時より前」(20.0%)となっていました。

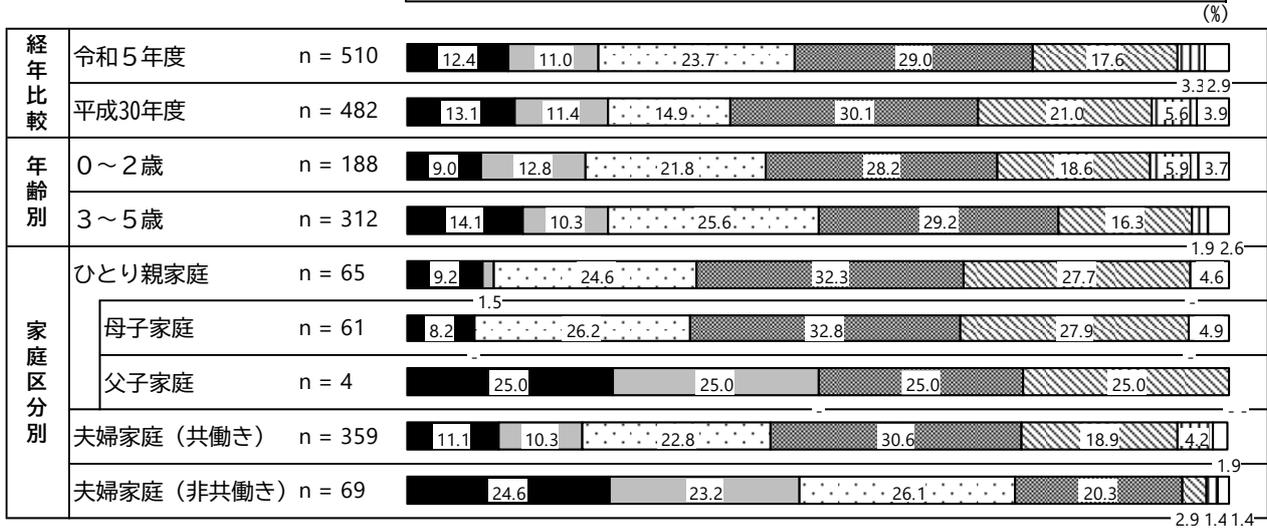
図表 44：希望する土曜日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間と利用終了時間

【就学前児童】問17(1) 希望する土曜日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶希望する土曜日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間については、「17時台」(29.0%)が最も高く、次いで「16時台」(23.7%)、「18時台」(17.6%)となっていました。

【就学前児童】問17(1) 希望する土曜日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

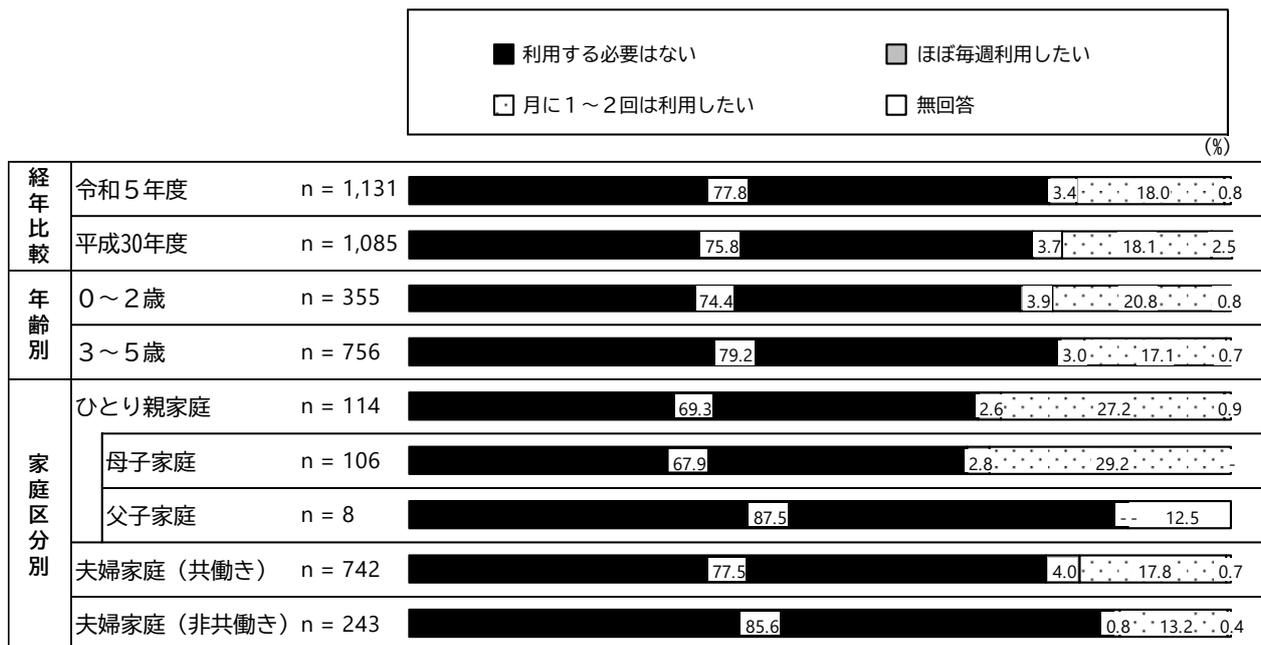


▶日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「月に1～2回は利用したい」が18.0%、次いで「ほぼ毎週利用したい」が3.4%でした。

図表 45：日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

【就学前児童】問17(2) 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

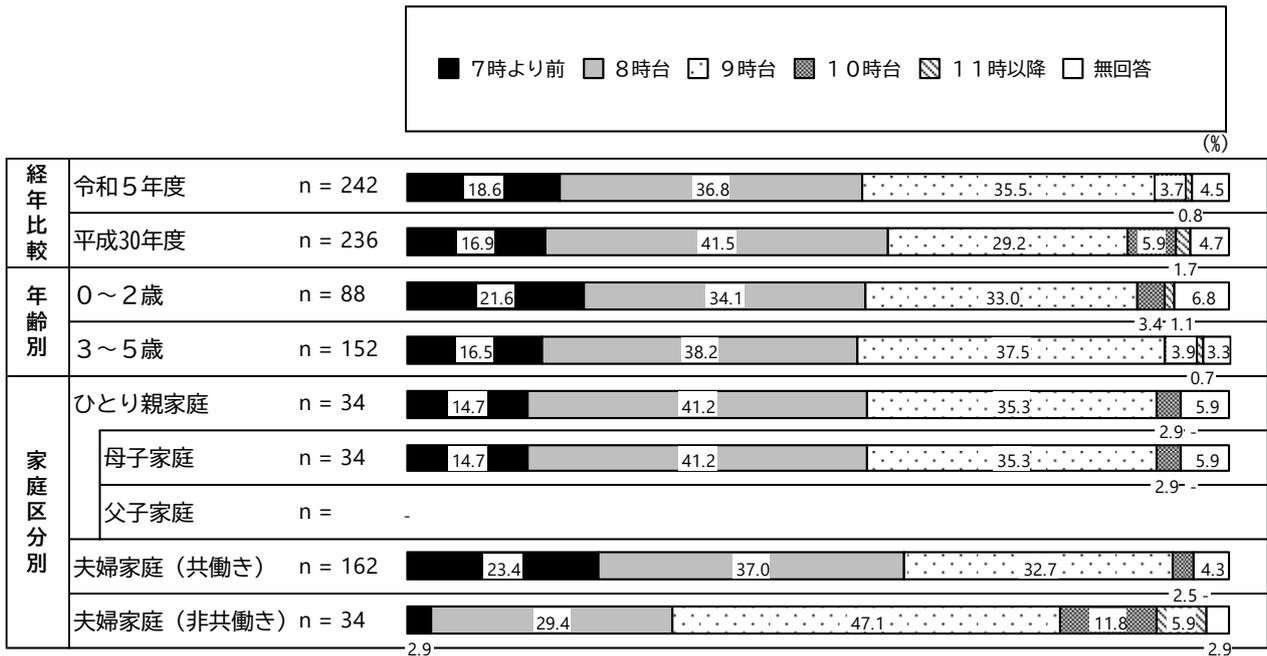
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶希望する日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間については、「8時台」(36.8%)が最も高く、次いで「9時台」(35.5%)、「7時より前」(18.6%)となっていました。

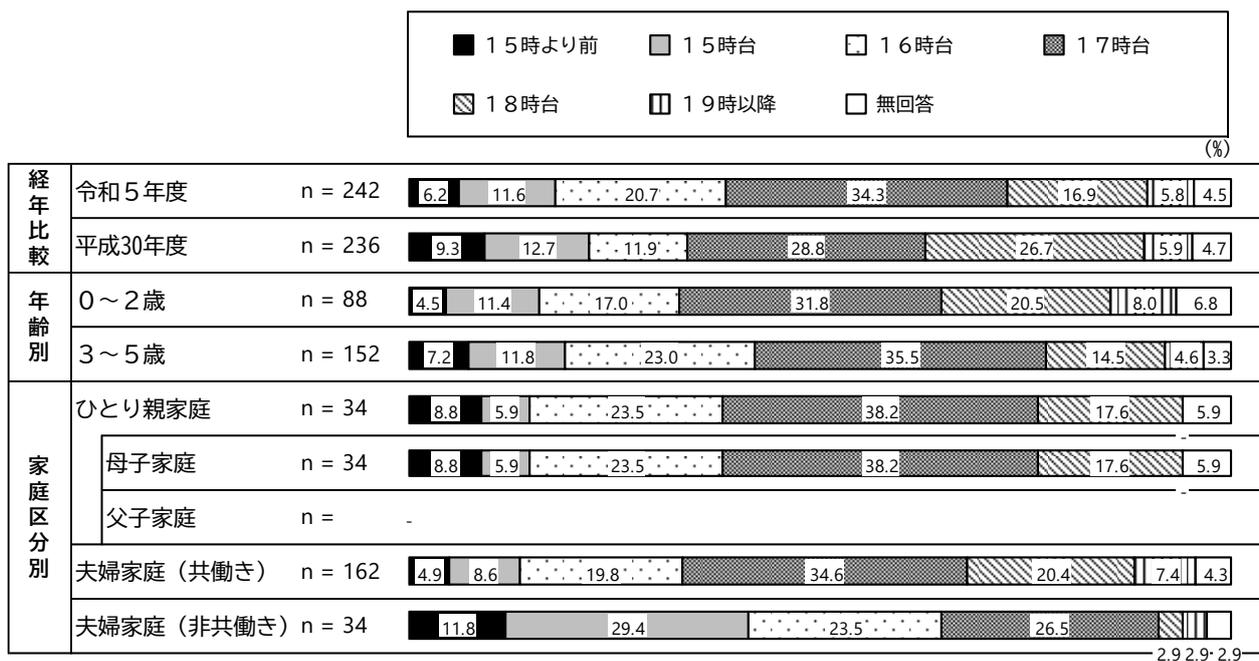
図表 46：希望する日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間と利用終了時間

【就学前児童】問17(2) 希望する日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶希望する日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間については、「17時台」(34.3%)が最も高く、次いで「16時台」(20.7%)、「18時台」(16.9%)となっていました。

【就学前児童】問17(2) 希望する日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



2.9.2.9.2.9

## (2) 幼稚園利用者の長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望

▶【幼稚園利用者のみ】長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「週に数日利用したい」が33.1%、次いで「ほぼ毎日利用したい」が31.5%でした。

図表 47：長期休業期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者のみ）

【就学前児童】問18 長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者のみ）

（経年比較／年齢別／家庭区分別）

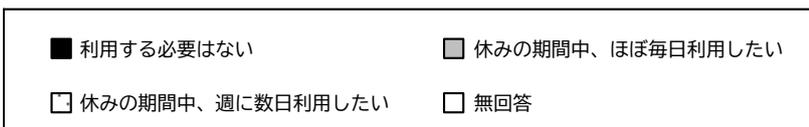
問12-1で「幼稚園」を回答した方のみ

問18 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。（あてはまる番号1つに○）

※希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。

（例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。



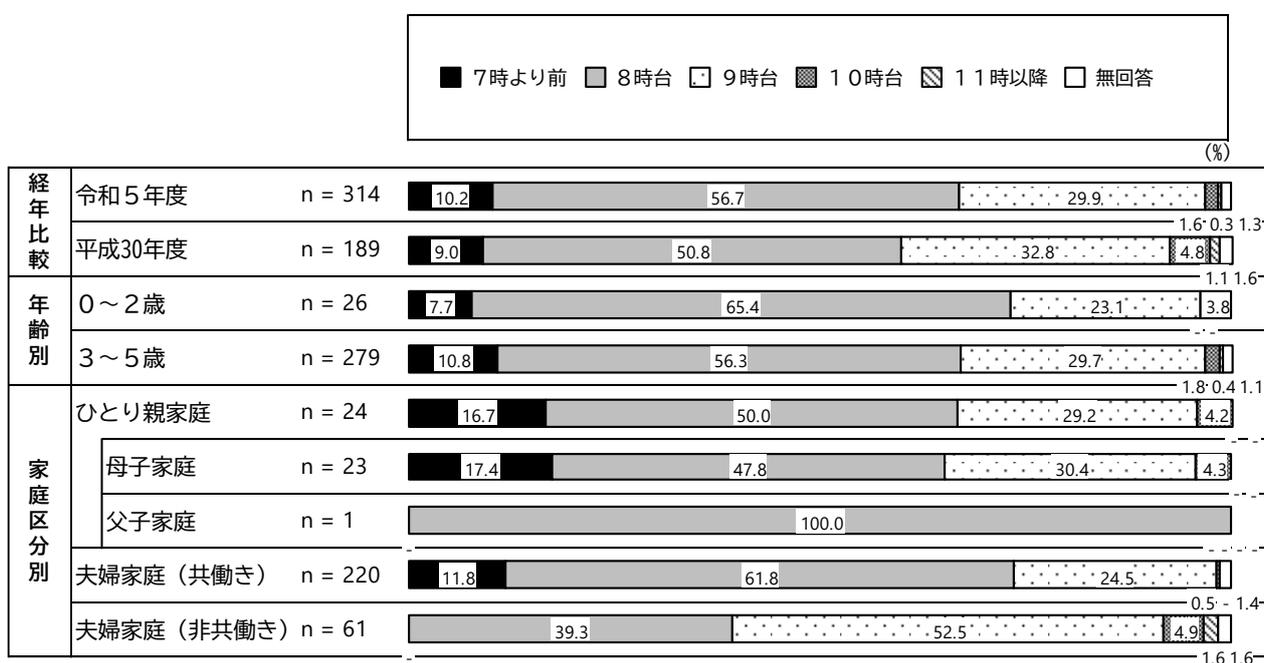
(%)

経年比較	令和5年度	n = 486	32.7	31.5	33.1	2.7
		平成30年度	n = 299	35.1	28.1	35.1
年齢別	0～2歳	n = 38	26.3	39.5	28.9	5.3
	3～5歳	n = 437	33.6	30.9	33.0	2.5
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 33	24.2	39.4	33.3	3.0
	母子家庭	n = 31	25.8	41.9	32.3	-
	父子家庭	n = 2	-	-	50.0	50.0
	夫婦家庭（共働き）	n = 284	20.1	44.0	33.5	2.5
	夫婦家庭（非共働き）	n = 156	57.7	7.1	32.1	3.2

▶長期休業期間中に希望する教育・保育事業の利用開始時間については、「8時台」(56.7%)が最も高く、次いで「9時台」(29.9%)、「7時より前」(10.2%)となっていました。

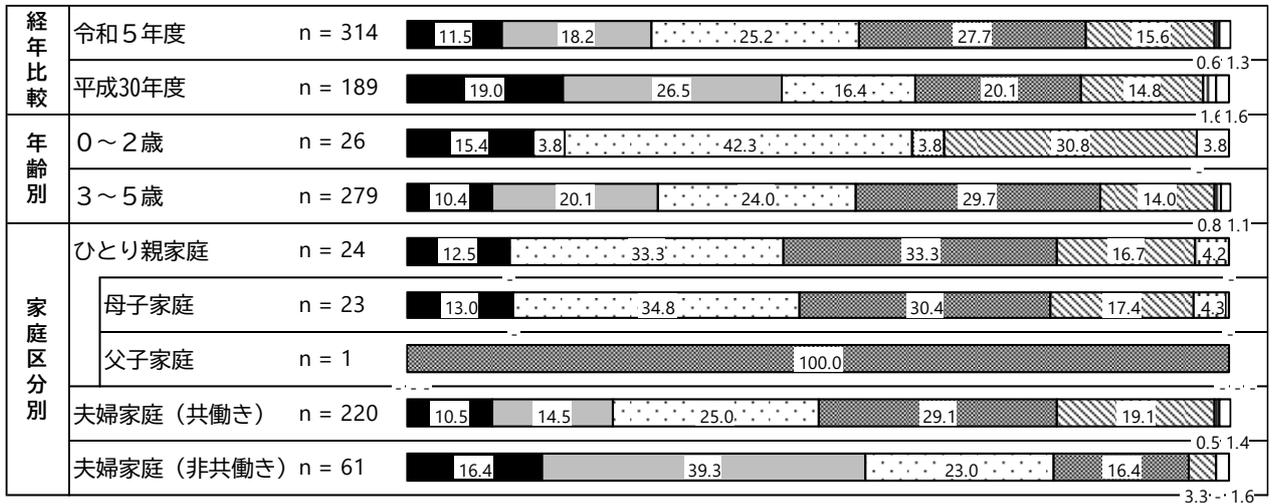
図表 48：長期休業期間中の定期的な教育・保育事業の希望する利用開始時間と利用終了時間

【就学前児童】問18 長期休業期間中に希望する教育・保育事業の利用開始時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



▶長期休業期間中に希望する教育・保育事業の利用終了時間については、「17時台」(27.7%)が最も高く、次いで「16時台」(25.2%)、「15時台」(18.2%)となっていました。

【就学前児童】問18 長期休業期間中に希望する教育・保育事業の利用終了時間  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



### 3 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望

#### (1) 地域の子育て支援事業の利用状況

▶地域の子育て支援事業の利用状況については、現在、地域子育て支援拠点事業を利用している方が12.6%、その他塩竈市で実施している類似事業を利用している方が2.7%となっていました。

図表 49：地域の子育て支援事業の利用状況（複数回答）

【就学前児童】問14 地域の子育て支援事業の利用状況（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問14 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。

(あてはまる番号すべてに○)

※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

		n	利用していない	地域子育て支援拠点事業	その他塩竈市で実施している類似事業	無回答
比較年	令和5年度	1,131	84.8	12.6	2.7	1.7
	平成30年度	1,085	78.3	17.0	4.2	3.5
年齢別	0～2歳	355	74.6	22.8	3.7	1.4
	3～5歳	756	89.4	7.8	2.2	1.9
家庭区分別	ひとり親家庭	114	86.8	8.8	1.8	4.4
	母子家庭	106	85.8	9.4	1.9	4.7
	父子家庭	8	100.0	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	742	88.4	9.8	2.6	0.8
	夫婦家庭(非共働き)	243	74.1	23.0	3.7	1.2

▶ 地域の子育て支援事業の1ヶ月当たりの利用回数については、「1回」(49.3%)が最も高く、次いで「2回」(13.4%)、「4回」(10.6%)となっていました。

図表 50：地域の子育て支援事業とその他類似事業の利用回数

【就学前児童】問14 地域の子育て支援事業の1ヶ月当たりの利用回数

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

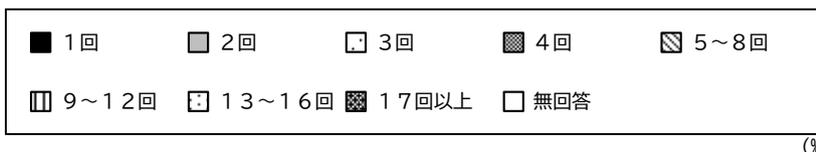


		(%)								
経年比較	令和5年度	n = 142	49.3	13.4	8.5	10.6	7.7	3.5	3.5	3.5
	平成30年度	n = 184	46.7	16.3	7.6	10.9	7.6	6.5	1.6	1.1
年齢別	0~2歳	n = 81	45.7	8.6	9.9	14.8	9.9	2.5	4.9	3.7
	3~5歳	n = 59	54.2	20.3	5.1	5.1	5.1	5.1	3.4	1.7
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 10	80.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	母子家庭	n = 10	80.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	n = 73	54.8	16.4	6.8	11.0	2.7	2.7	4.1	1.4
	夫婦家庭(非共働き)	n = 56	35.7	10.7	12.5	8.9	16.1	7.1	5.4	3.6

▶その他類似事業の1ヶ月当たりの利用回数については、「1回」(50.0%)が最も高く、次いで「2回」(20.0%)、「4回」「5～8回」(それぞれ10.0%)となっていました。

【就学前児童】問14 その他類似事業の1ヶ月当たりの利用回数

(経年比較/年齢別/家庭区分別)



		(%)							
経年比較	令和5年度	n = 30	50.0	20.0	3.3	10.0	10.0	3.3	3.3
	平成30年度	n = 46	47.8	23.9	6.5	13.0	2.2	2.2	4.3
年齢別	0～2歳	n = 13	46.2	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
	3～5歳	n = 17	52.9	17.6	-	11.8	11.8	-	5.9
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 2	100.0	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	n = 2	100.0	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	n = 19	57.9	31.6	5.3	5.3	-	-	-
	夫婦家庭(非共働き)	n = 9	22.2	11.1	22.2	33.3	-	11.1	-

## (2) 地域の子育て支援事業の今後の利用意向

▶地域の子育て支援事業の利用希望については、「利用していないが今後利用したい」と回答した方が20.1%となっていました。

図表 51：地域の子育て支援事業の利用希望

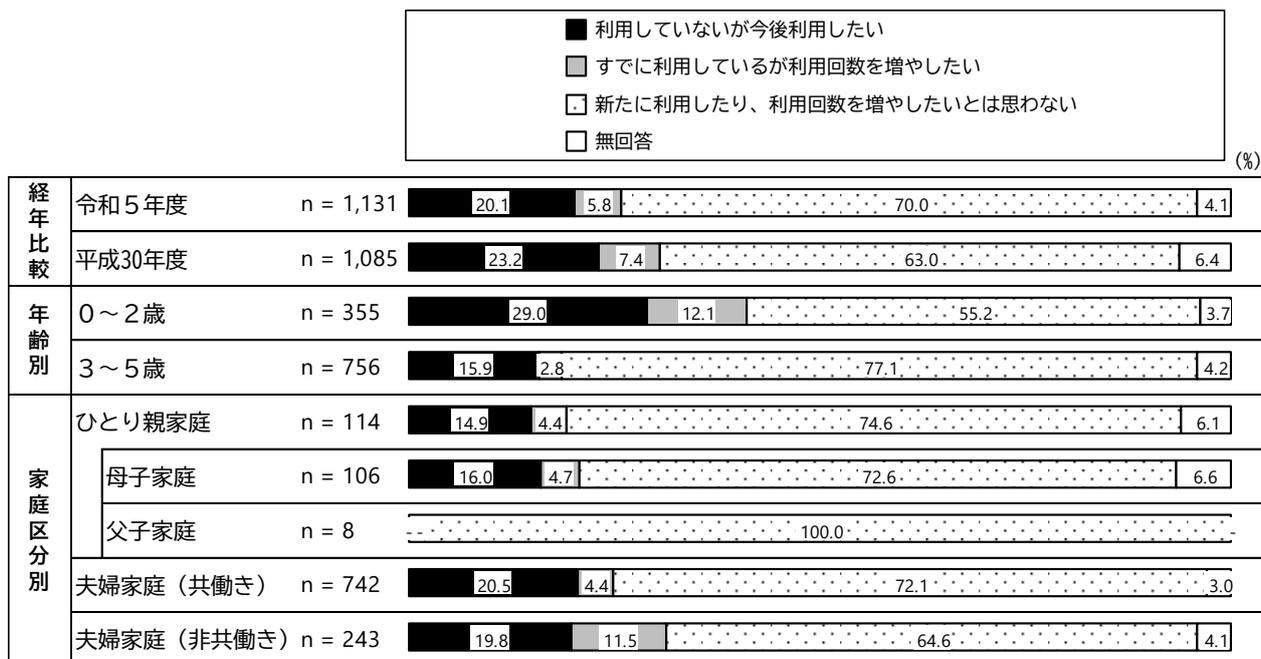
【就学前児童】問15 地域の子育て支援事業の利用希望（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問15 問14のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。

(あてはまる番号1つに○)

※おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください。

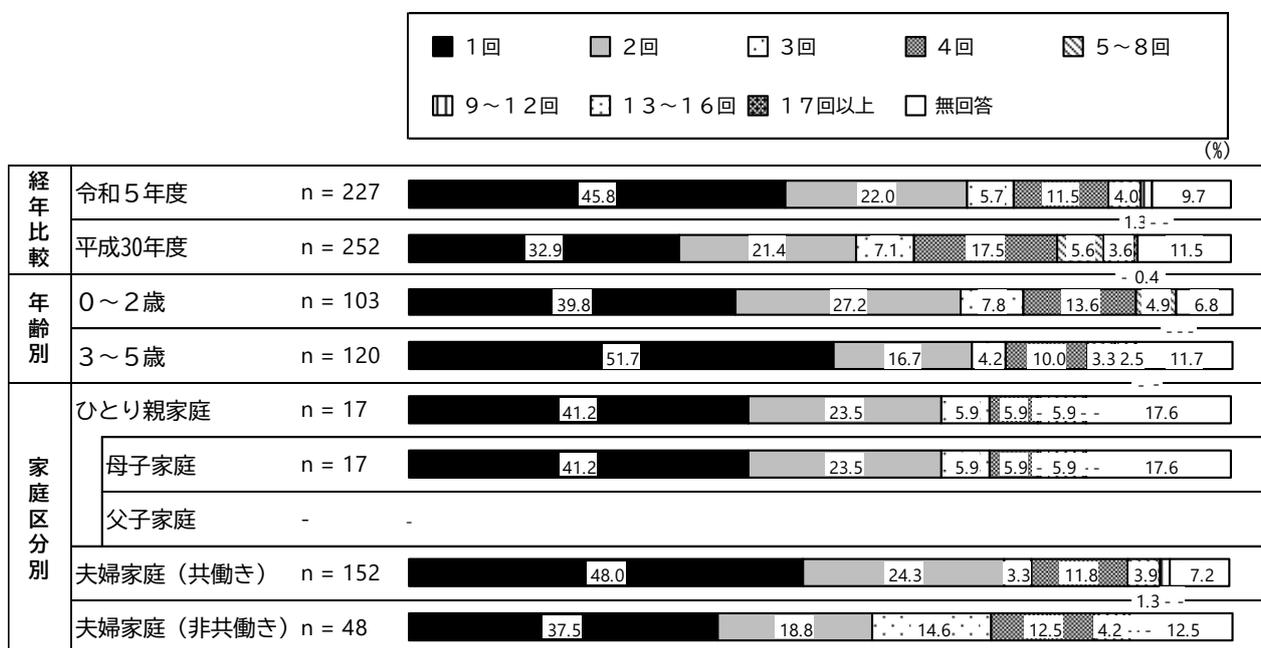
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。



- ▶ 地域の子育て支援事業未利用者が今後希望する1ヶ月当たりの利用回数については、「1回」(45.8%)が最も高く、次いで「2回」(22.0%)、「4回」(11.5%)となっていました。
- ▶ 「1回」と回答した方が前回調査時(32.9%)より12.9ポイント増加しました。

図表 52：地域の子育て支援事業の希望利用回数・増やしたい回数

【就学前児童】問15 地域の子育て支援事業未利用者が今後希望する1ヶ月当たりの利用回数  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)



- ▶ 地域の子育て支援事業をすでに利用している方が今後利用を増やしたい1ヶ月当たりの利用回数については、「2回」(21.2%)が最も高く、次いで「1回」(16.7%)となっていました。
- ▶ 「1回」と回答した方が前回調査時(5.0%)より11.7ポイント増加、「4回」と回答した方が前回調査時(27.5%)より13.9ポイント減少しました。

【就学前児童】問15 地域の子育て支援事業をすでに利用している方が今後利用を増やしたい1ヶ月当たりの利用回数(経年比較/年齢別/家庭区分別)



		(%)							
経年比較	令和5年度	n = 66	16.7	21.2	13.6	13.6	13.6	13.6	3.0 - 4.5
	平成30年度	n = 80	5.0	18.8	20.0	27.5	16.3	7.5	3.8
年齢別	0~2歳	n = 43	9.3	23.3	16.3	11.6	11.6	16.3	4.7 - 7.0
	3~5歳	n = 21	33.3	19.0	4.8	14.3	19.0	9.5	- - -
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 5	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	- - -
	母子家庭	n = 5	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	- - -
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	- - -
	夫婦家庭(共働き)	n = 33	21.2	30.3	12.1	12.1	15.2	9.1	- - -
	夫婦家庭(非共働き)	n = 28	10.7	10.7	14.3	14.3	14.3	17.9	7.1 - 10.7

### (3) 子育て支援事業の認知度・利用状況・今後の利用意向について

▶子育て支援に関する事業の認知度については、「はい」と回答した方は『ふれあいエスプ塩竈』(87.6%)が最も高く、次いで『母親(父親)、両親学級、育児学級等』(78.2%)、『塩竈市藤倉児童館』(77.7%)となっていました。

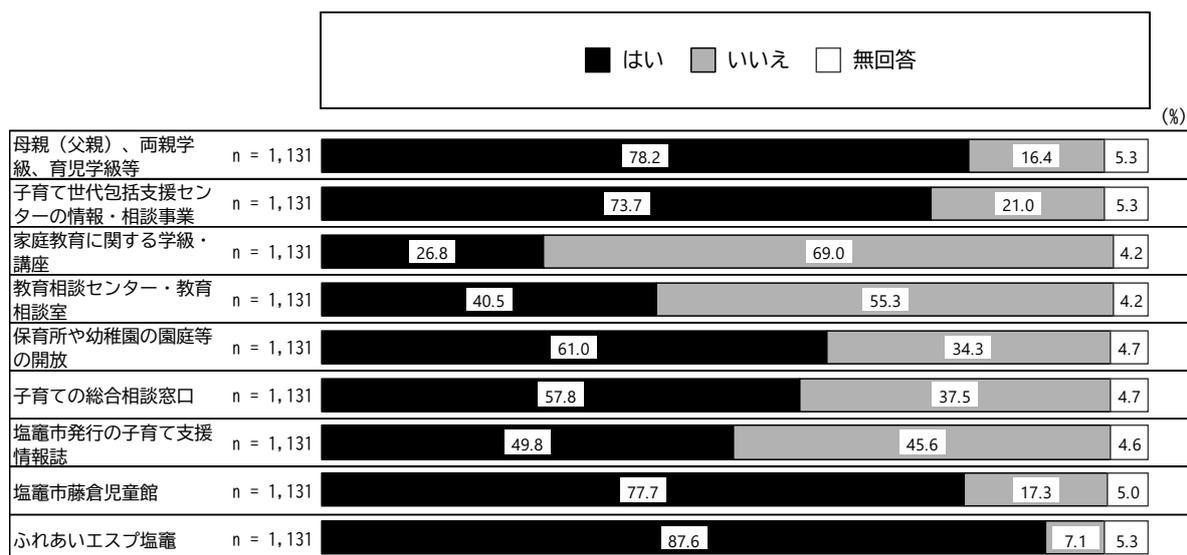
図表 53：子育て支援に関する事業の認知度・利用状況・利用意向

#### 【就学前児童】問16 子育て支援に関する事業の認知度（本年結果）

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

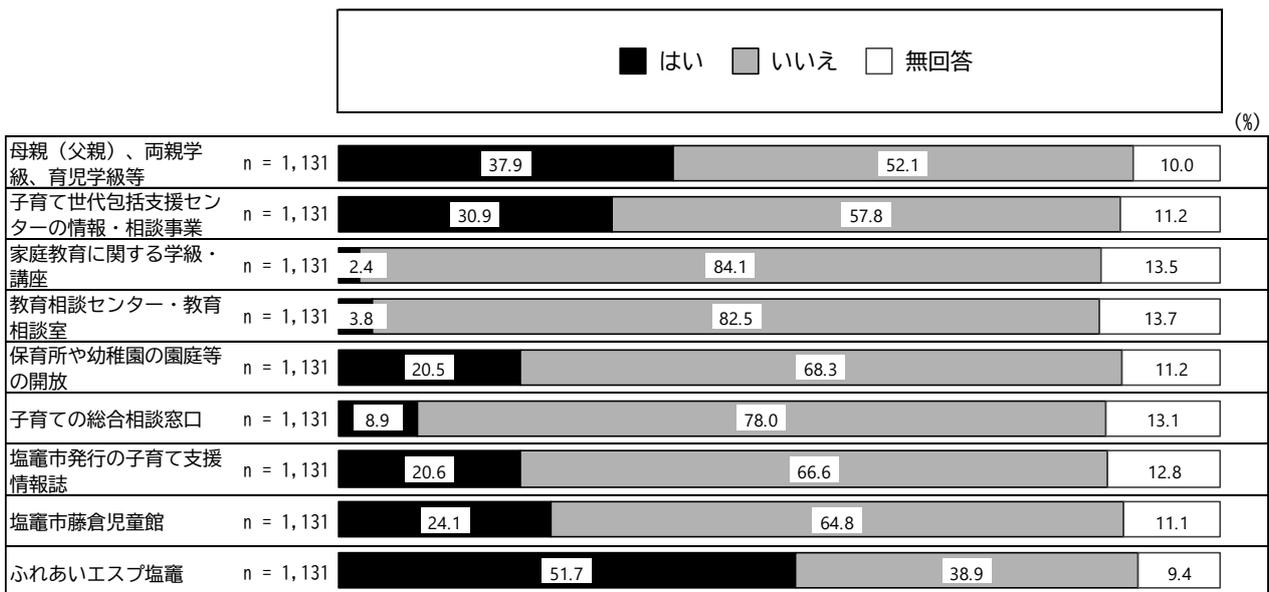
※事業ごと、認知度～利用意向のそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

※現在、塩竈市では実施していない事業も含まれています。



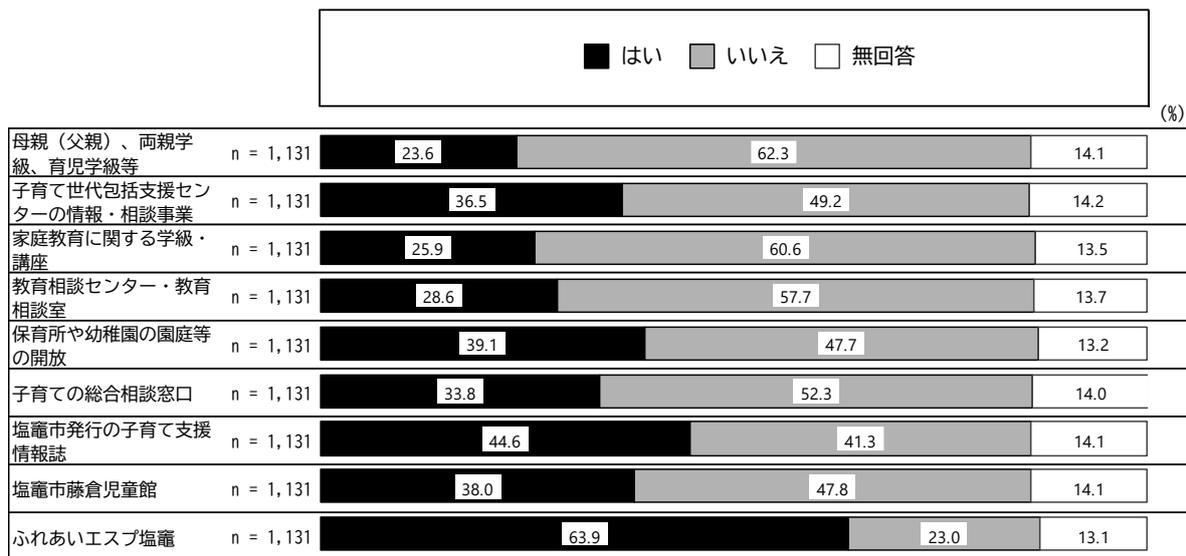
▶子育て支援に関する事業の利用状況については、「はい」と回答した方は『ふれあいエスプ塩竈』(51.7%)が最も高く、次いで『母親(父親)、両親学級、育児学級等』(37.9%)、『子育て世代包括支援センターの情報・相談事業』(30.9%)となっていました。

【就学前児童】問16 子育て支援に関する事業の利用状況(本年結果)



▶子育て支援に関する事業の利用意向については、「はい」と回答した方は『ふれあいエスプ塩竈』(63.9%)が最も高く、次いで『塩竈市発行の子育て支援情報誌』(44.6%)、『保育所や幼稚園の園庭等の開放』(39.1%)となっていました。

【就学前児童】問16 子育て支援に関する事業の利用意向（本年結果）



## 4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

### (1) 病児・病後児がいる場合の教育・保育事業の利用状況と対応について

▶この1年間に子どもの病気等で定期的な教育・保育事業を利用できなかったことがある方は84.9%でした。前回調査時から9.7ポイント増加しました。

図表 54：病気やケガで平日の定期的な教育・保育事業が利用できなかった経験

【就学前児童】問19 病気やケガで平日の定期的な教育・保育事業が利用できなかった経験  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問12で「利用している」を回答した方のみ

問19 この1年間に、お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。

(あてはまる番号1つに○)

■ あった    □ なかった    □ 無回答

		(%)		
経年比較	令和5年度	n = 982	84.9	12.6 2.4
	平成30年度	n = 727	75.2	18.6 6.2
年齢別	0～2歳	n = 216	94.0	6.0 -
	3～5歳	n = 748	82.1	14.8 3.1
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 103	88.3	9.7 1.9
	母子家庭	n = 96	90.6	7.3 2.1
	父子家庭	n = 7	57.1	42.9 -
	夫婦家庭（共働き）	n = 676	87.7	10.7 1.6
	夫婦家庭（非共働き）	n = 175	75.4	19.4 5.1

- ▶教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」(80.7%)が最も高くなっていました。
- ▶「父親が休んだ」と回答した方が前回調査時(24.5%)より13.4ポイント増加しました。

図表 55：教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法（複数回答）

【就学前児童】問19-1 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問19で「あった」を回答した方のみ

問19-1 お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。

(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれ、おおよその日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日と数えます)

		n	母親が休んだ	父親が休んだ	知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	みている親のうちの子どもを就労	父親・母親の子どもを働かせた	仕方なく子どもだけで留守番させた	用病した	病児・病後児の保育を利用した	たベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	その他	無回答
比較年	令和5年度	834	80.7	37.9	33.2	17.3	0.6	0.1	0.1	-	-	1.4	1.3	
	平成30年度	547	79.2	24.5	37.5	15.4	0.9	-	-	-	-	1.3	0.9	
年齢別	0～2歳	203	94.1	47.3	37.4	5.9	-	0.5	0.5	-	-	1.0	0.5	
	3～5歳	614	76.4	35.2	32.2	21.2	0.7	-	-	-	-	1.5	1.6	
家庭区分別	ひとり親家庭	91	86.8	7.7	41.8	4.4	-	-	-	-	-	-	2.2	
	母子家庭	87	89.7	3.4	42.5	4.6	-	-	-	-	-	-	2.3	
	父子家庭	4	25.0	100.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭(共働き)	593	94.1	47.9	38.3	5.6	0.8	0.2	0.2	-	-	1.5	0.7	
	夫婦家庭(非共働き)	132	16.7	14.4	6.1	78.8	-	-	-	-	-	2.3	3.0	

▶教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法別日数については、『母親が休んだ』では「10日」(22.7%)、『父親が休んだ』では「5日」(24.7%)、『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』では「5日」(22.4%)、『父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた』では「10日」(20.1%)が最も高くなっていました。

図表 56：教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法別日数

【就学前児童】問19-1 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法別日数  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

【母親が休んだ】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日以上	無回答
比較年	令和5年度	673	1.6	3.6	5.9	2.2	11.1	2.1	4.3	1.3	0.1	22.7	12.5	13.5	14.6	4.3		
	平成30年度	433	6.0	7.9	8.8	2.3	17.6	2.5	6.7	2.1	-	18.5	7.4	9.2	8.1	3.0		
年齢別	0～2歳	191	0.5	3.7	3.1	2.1	11.5	1.6	3.7	0.5	-	16.2	17.8	15.7	20.4	3.1		
	3～5歳	469	2.1	3.6	7.0	2.3	10.7	2.1	4.7	1.7	0.2	25.6	10.4	12.2	12.4	4.9		
家庭区分別	ひとり親家庭	79	-	7.6	3.8	1.3	16.5	1.3	2.5	1.3	-	21.5	5.1	12.7	20.3	6.3		
	母子家庭	78	-	7.7	3.8	1.3	16.7	1.3	2.6	1.3	-	20.5	5.1	12.8	20.5	6.4		
	父子家庭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-		
	夫婦家庭(共働き)	558	2.0	3.0	6.3	2.5	10.6	2.3	4.7	1.4	0.2	22.2	13.6	14.2	14.0	3.0		
	夫婦家庭(非共働き)	22	-	-	9.1	-	9.1	-	4.5	-	-	27.3	13.6	9.1	4.5	22.7		

第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

【父親が休んだ】

(%)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11   15日	16   20日	21日 以上	無回答
比 較 年	令和5年度	316	12.3	13.0	15.2	2.8	24.7	1.9	3.5	1.6	-	12.0	5.4	3.2	2.2	2.2
	平成30年度	134	17.2	18.7	18.7	5.2	17.2	0.7	3.7	1.5	-	10.4	-	1.5	1.5	3.7
年 齢 別	0～2歳	96	11.5	9.4	13.5	3.1	26.0	2.1	4.2	1.0	-	11.5	9.4	4.2	1.0	3.1
	3～5歳	216	12.5	14.8	16.2	2.8	24.5	1.9	3.2	1.4	-	12.0	3.7	2.8	2.3	1.9
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	7	14.3	-	14.3	14.3	28.6	-	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-
	母子家庭	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	4	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	284	12.0	14.1	15.1	2.8	24.3	2.1	3.5	1.8	-	12.0	4.9	3.2	1.8	2.5
	夫婦家庭（非共働き）	19	10.5	5.3	15.8	-	31.6	-	-	-	-	10.5	10.5	5.3	10.5	-

【（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった】

(%)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11   15日	16   20日	21日 以上	無回答
比 較 年	令和5年度	277	6.9	11.6	12.6	2.2	22.4	2.5	3.2	1.1	-	17.0	3.2	8.3	2.9	6.1
	平成30年度	205	4.9	14.6	15.1	3.9	19.0	1.5	5.9	2.0	-	19.5	3.4	3.9	2.9	3.4
年 齢 別	0～2歳	76	9.2	15.8	7.9	1.3	26.3	3.9	3.9	-	-	17.1	1.3	7.9	2.6	2.6
	3～5歳	198	6.1	10.1	14.6	2.5	20.7	2.0	3.0	1.5	-	17.2	4.0	7.6	3.0	7.6
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	38	5.3	7.9	10.5	-	26.3	2.6	2.6	-	-	13.2	7.9	10.5	7.9	5.3
	母子家庭	37	5.4	8.1	10.8	-	27.0	-	2.7	-	-	13.5	8.1	10.8	8.1	5.4
	父子家庭	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	227	7.5	11.5	13.2	2.6	22.0	2.2	3.5	1.3	-	17.6	2.2	7.9	2.2	6.2
	夫婦家庭（非共働き）	8	-	12.5	12.5	-	12.5	12.5	-	-	-	25.0	-	12.5	-	12.5

【父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた】

(%)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日以上	無回答
比較年	令和5年度	144	2.8	1.4	2.8	1.4	14.6	-	4.9	0.7	1.4	20.1	11.1	10.4	18.1	10.4								
	平成30年度	84	6.0	14.3	13.1	3.6	8.3	-	3.6	2.4	-	16.7	7.1	6.0	7.1	11.9								
年齢別	0～2歳	12	-	8.3	8.3	8.3	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-	25.0	-								
	3～5歳	130	2.3	0.8	2.3	0.8	14.6	-	5.4	0.8	1.5	20.8	10.8	10.8	17.7	11.5								
家庭区分別	ひとり親家庭	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	母子家庭	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	33	6.1	3.0	9.1	-	27.3	-	3.0	3.0	-	21.2	6.1	3.0	12.1	6.1								
	夫婦家庭（非共働き）	104	1.9	1.0	1.0	1.9	11.5	-	4.8	-	1.9	21.2	10.6	13.5	20.2	10.6								

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

(%)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日以上	無回答
比較年	令和5年度	5	-	40.0	-	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平成30年度	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	4	-	25.0	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	5	-	40.0	-	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【病児・病後児の保育を利用した】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上
比較年	令和5年度	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平成30年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	0～2歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【ベビーシッターを利用した】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上
比較年	令和5年度	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	平成30年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	0～2歳	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

塩竈市

【ファミリー・サポート・センターを利用した】

対象回答者なし

【その他】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	21日以上	無回答
比較年	令和5年度	12	-	-	-	8.3	8.3	-	16.7	-	-	25.0	8.3	-	8.3	25.0
	平成30年度	7	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	42.9	14.3	-	-	-
年齢別	0～2歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
	3～5歳	9	-	-	-	11.1	11.1	-	22.2	-	-	22.2	11.1	-	-	22.2
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	9	-	-	-	11.1	-	-	11.1	-	-	33.3	11.1	-	11.1	22.2
	夫婦家庭（非共働き）	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3

その他の回答内容（一部抜粋）
在宅勤務に切り替えた。
仕事場に連れて行った。
育休中のため自宅で。

## (2) 病児・病後児保育施設の利用希望

▶病児・病後児保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が39.1%でした。

図表 57：病児・病後児保育施設等の利用希望

【就学前児童】問19-2 病児・病後児保育施設等の利用希望

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

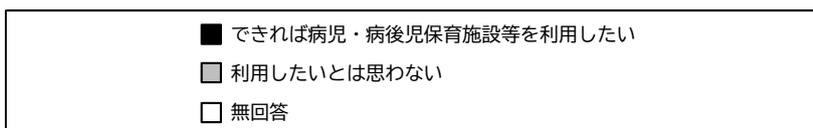
問19-1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を回答した方のみ

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

(あてはまる番号1つに○)

※日数についても□内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる場合があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



		(%)			
経年比較	令和5年度	n = 695	39.1	59.9	1.0
	平成30年度	n = 442	39.8	58.8	1.4
年齢別	0～2歳	n = 192	45.3	53.6	1.0
	3～5歳	n = 489	37.2	61.8	1.0
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 82	35.4	62.2	2.4
	母子家庭	n = 78	35.9	61.5	2.6
	父子家庭	n = 4	25.0	75.0	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 565	40.4	58.8	0.9
	夫婦家庭（非共働き）	n = 32	21.9	78.1	-

▶病児・病後児保育施設等の希望利用日数については、「5日」(22.8%)が最も高く、次いで「10日」(18.4%)、「3日」(9.6%)となっていました。

図 58：病児・病後児保育施設等の希望利用日数

【就学前児童】問19-2 病児・病後児保育施設等の希望利用日数

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	無回答	(%)
比 経 年 比較	令和5年度	272	2.9	8.5	9.6	0.4	22.8	-	5.9	0.4	0.4	18.4	5.5	8.5	5.1	11.8	
	平成30年度	176	4.5	6.3	13.6	1.7	21.6	1.7	4.5	0.6	-	22.7	3.4	5.1	3.4	10.8	
年 齢 別	0～2歳	87	4.6	10.3	6.9	-	27.6	-	3.4	-	-	18.4	6.9	9.2	5.7	6.9	
	3～5歳	182	2.2	7.7	11.0	0.5	20.3	-	7.1	0.5	0.5	17.6	4.9	8.2	4.9	14.3	
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	29	3.4	6.9	-	-	17.2	-	6.9	-	-	17.2	13.8	17.2	-	17.2	
	母子家庭	28	3.6	3.6	-	-	17.9	-	7.1	-	-	17.9	14.3	17.9	-	17.9	
	父子家庭	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	228	2.6	8.3	10.5	0.4	23.7	-	5.3	0.4	0.4	18.9	4.8	7.9	6.1	10.5	
	夫婦家庭（非共働き）	7	-	28.6	14.3	-	14.3	-	14.3	-	-	14.3	-	-	-	14.3	

▶病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が83.5%、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が57.7%でした。

図表 59：病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態（複数回答）

【就学前児童】問19-3 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問19-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を回答した方のみ  
 問19-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のどの事業形態が望ましいと思いますか。  
 （あてはまる番号すべてに○）

		n	（％）				
			子小 ども 科に 併設 した 施設 で 保育 する 事業	で他 子の 施設 を併 設し た事 業	る等 事の 業身 住近 民等 な場 所が 子育 て家 庭	そ の 他	無 回 答
比 経 較 年	令和5年度	272	83.5	57.7	16.9	1.5	0.4
	平成30年度	176	80.1	51.7	13.1	0.6	1.7
年 齢 別	0～2歳	87	80.5	65.5	10.3	1.1	-
	3～5歳	182	84.6	53.3	19.8	1.6	0.5
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	29	89.7	48.3	27.6	3.4	-
	母子家庭	28	92.9	46.4	28.6	3.6	-
	父子家庭	1	-	100.0	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	228	82.5	61.0	15.4	0.9	0.4
	夫婦家庭（非共働き）	7	71.4	14.3	14.3	-	-

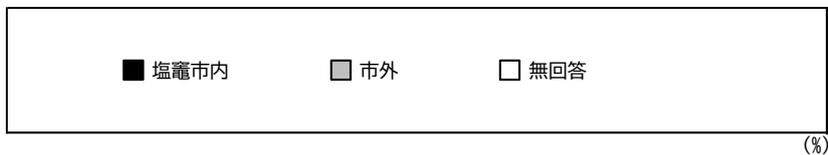
▶病児・病後児保育施設等を利用したい場所については、「塩竈市内」が93.4%、「市外」が3.7%となっていました。

図表 60：病児・病後児保育施設等を利用したい場所

【就学前児童】問19-4 病児・病後児保育施設等を利用したい場所

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問19-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を回答した方のみ  
 問19-4 病児・病後児保育施設等を利用したい場所はどこですか。  
 (あてはまる番号1つに○)



						(%)
経年比較	令和5年度	n = 272	93.4	3.7	2.9	
	平成30年度	n = 176	89.8	0.6	9.7	
年齢別	0～2歳	n = 87	95.4	2.3	2.3	
	3～5歳	n = 182	92.3	4.4	3.3	
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 29	96.6	3.4	-	
	母子家庭	n = 28	96.4	3.6	-	
	父子家庭	n = 1	100.0	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	n = 228	93.4	3.1	3.5	
	夫婦家庭（非共働き）	n = 7	100.0	-	-	

- ▶ 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由については、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安であるため」(63.7%)が最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応するため」(55.0%)、「利用料がかかる・高いため」(25.0%)となっていました。
- ▶ 「親が仕事を休んで対応するため」と回答した方が前回調査時(65.8%)より10.8ポイント減少しました。

図表 61：病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由（複数回答）

【就学前児童】問19-5 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問19-2で「利用したいと思わない」を回答した方のみ  
 問19-5 そう思う理由は何ですか。  
 (あてはまる番号すべてに○)

		n	理由									無回答
			たても病児・病後児は不安である	る親が仕事を休んで対応す	め利用料がかかる・高い	利用料がわからないため	ある地域の事業の質に不安が	く地域の事業の利便性がよ	その他			
比較年	令和5年度	416	63.7	55.0	25.0	21.4	7.5	7.2	14.2	1.0		
	平成30年度	260	56.9	65.8	25.0	19.2	9.2	6.5	12.7	4.2		
年齢別	0～2歳	103	69.9	47.6	28.2	22.3	7.8	7.8	14.6	-		
	3～5歳	302	61.3	57.0	24.2	21.5	7.3	7.3	13.9	1.3		
家庭区分別	ひとり親家庭	51	70.6	51.0	33.3	21.6	5.9	7.8	11.8	2.0		
	母子家庭	48	72.9	47.9	35.4	20.8	6.3	8.3	12.5	2.1		
	父子家庭	3	33.3	100.0	-	33.3	-	-	-	-		
	夫婦家庭（共働き）	332	63.0	56.0	25.0	21.1	7.2	7.2	13.9	0.6		
	夫婦家庭（非共働き）	25	60.0	52.0	8.0	20.0	12.0	8.0	20.0	4.0		

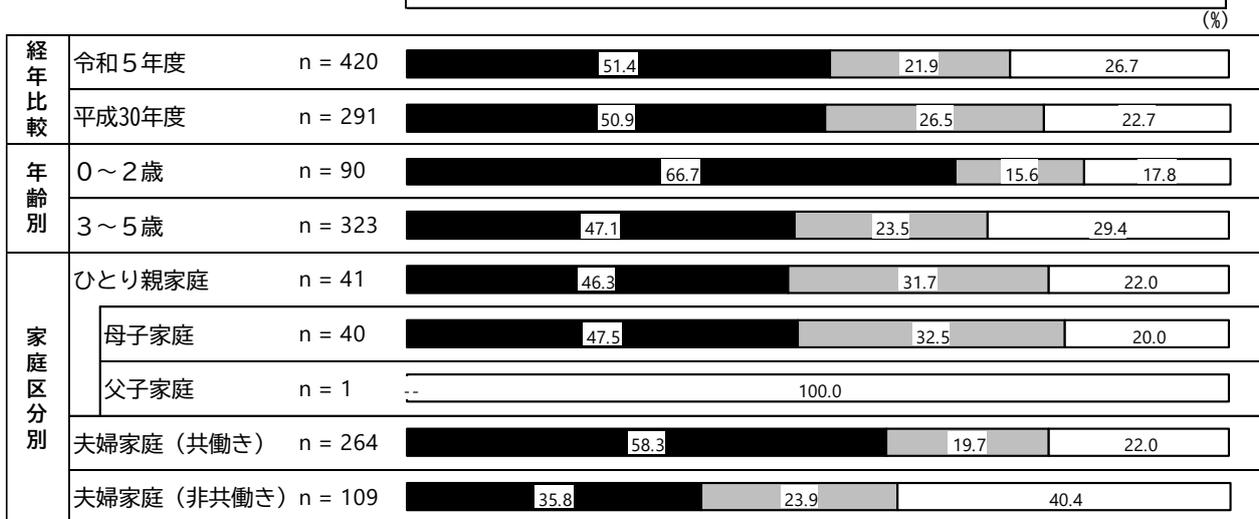
▶ できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が51.4%、「休んで看ることは非常に難しい」が21.9%となりました。

図表 62：できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

【就学前児童】問19-6 できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問19-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を回答した方のみ  
問19-6 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。  
(あてはまる番号1つに○)  
※仕事を休んで看たかった日数を口内に数字でご記入ください。

■ できれば仕事を休んで看たい □ 休んで看ることは非常に難しい □ 無回答



▶ できれば仕事を休んで看たいと思った日数については、「5日」(19.9%)が最も高く、次いで「10日」(13.9%)、「3日」(12.5%)となっていました。

図表 63：できれば仕事を休んで看たいと思った日数

【就学前児童】問19-6 できれば仕事を休んで看たいと思った日数

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	無回答
比較年	令和5年度	216	4.6	11.6	12.5	1.4	19.9	1.9	4.6	0.5	-	13.9	1.9	11.1	5.1	11.1
	平成30年度	148	4.1	12.2	16.2	2.7	16.2	0.7	6.1	-	0.7	17.6	6.1	2.7	1.4	13.5
年齢別	0～2歳	60	11.7	15.0	8.3	-	28.3	1.7	3.3	-	-	13.3	-	6.7	3.3	8.3
	3～5歳	152	2.0	9.9	14.5	2.0	16.4	2.0	5.3	0.7	-	14.5	2.6	12.5	5.3	12.5
家庭区分別	ひとり親家庭	19	10.5	10.5	5.3	-	15.8	5.3	-	-	-	15.8	-	15.8	10.5	10.5
	母子家庭	19	10.5	10.5	5.3	-	15.8	5.3	-	-	-	15.8	-	15.8	10.5	10.5
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	154	5.2	13.0	14.3	1.9	21.4	1.9	5.2	0.6	-	11.0	1.3	10.4	3.9	9.7
	夫婦家庭(非共働き)	39	-	2.6	10.3	-	17.9	-	5.1	-	-	23.1	2.6	12.8	7.7	17.9

- ▶ 仕事を休んで看することは非常に難しいと思う理由については、「子どもの看護を理由に休みがとれないため」「休暇日数が足りないため」(それぞれ30.4%)が最も高くなっていました。
- ▶ 「子どもの看護を理由に休みがとれないため」と回答した方が前回調査時(41.6%)より11.2ポイント減少、「休暇日数が足りないため」と回答した方が前回調査時(18.2%)より12.2ポイント増加しました。

図表 64：仕事を休んで看することは非常に難しいと思う理由（複数回答）

【就学前児童】問19-7 仕事を休んで看することは非常に難しいと思う理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問19-6で「休んで看することは非常に難しい」を回答した方のみ  
問19-7 そう思う理由は何ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

		n	み 子 が と も の 看 護 を 理 由 に 休 め	休 暇 日 数 が 足 り な い の で	自 営 業 な の で 休 め な い た	そ の 他	無 回 答
比 経 較 年	令和5年度	92	30.4	30.4	14.1	35.9	-
	平成30年度	77	41.6	18.2	6.5	49.4	2.6
年 齢 別	0～2歳	14	21.4	50.0	7.1	35.7	-
	3～5歳	76	32.9	27.6	15.8	34.2	-
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	13	-	61.5	-	46.2	-
	母子家庭	13	-	61.5	-	46.2	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	52	26.9	32.7	15.4	40.4	-
	夫婦家庭（非共働き）	26	53.8	7.7	19.2	23.1	-

## 5 不特定の教育・保育事業の利用について

### (1) 不定期的に利用している教育・保育事業の利用状況

▶病気等以外の私用や親の通院、不特定の就労等の目的で、現在、保護者が不定期的に利用している教育・保育事業は、「幼稚園の預かり保育」が10.5%、「一時預かり」が4.2%でした。

図表 65：不定期的に利用している教育・保育事業（複数回答）

【就学前児童】問20 不定期的に利用している教育・保育事業（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問20 お子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

※1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください。

		n	幼稚園の預かり保育	一時預かり	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業：トワイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
経年比較	令和5年度	1,131	10.5	4.2	0.4	0.1	0.1	0.5	83.4	1.5
	平成30年度	1,085	9.6	5.1	0.8	-	0.1	0.3	80.1	4.6
年齢別	0～2歳	355	2.0	7.9	1.1	0.3	0.3	0.8	88.2	0.6
	3～5歳	756	14.4	2.4	-	-	-	0.3	81.3	2.0
家庭区分別	ひとり親家庭	114	3.5	2.6	0.9	0.9	-	1.8	88.6	1.8
	母子家庭	106	3.8	2.8	0.9	0.9	-	1.9	87.7	1.9
	父子家庭	8	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	夫婦家庭（共働き）	742	9.7	3.8	0.1	-	0.1	0.4	85.3	0.9
	夫婦家庭（非共働き）	243	15.2	6.2	0.8	-	-	0.4	77.0	2.1

▶ 不特定の教育・保育事業を利用していない理由については、「特に利用する必要がないため」(74.4%)が最も高く、次いで「利用料がかかる・高いため」(15.9%)、「事業の利用方法がわからないため」(15.5%)となっていました。

図表 66：不特定の教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）

【就学前児童】問20-1 不特定の教育・保育事業を利用していない理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問20で「利用していない」を回答した方のみ  
 問20-1 現在利用していない理由は何ですか。  
 (あてはまる番号すべてに○)

		n	た 特 め に 利 用 す る 必 要 が な い	め 利 用 料 が か か る ・ 高 い た	な 事 業 の 利 用 方 法 が わ か ら	た る 自 分 か ど う か の 対 象 者 に な	利 用 料 が わ か ら な い た め	な 利 用 し た い 事 業 が 地 域 に	あ る 地 域 の 事 業 の 質 に 不 安 が	く 地 域 の 事 業 の 利 便 性 が よ	そ の 他	無 回 答
比 較 年	令和5年度	943	74.4	15.9	15.5	11.8	10.4	5.6	5.1	5.0	4.6	1.2
	平成30年度	869	78.4	12.5	14.3	7.8	8.9	4.5	4.4	5.2	5.9	0.7
年 齢 別	0～2歳	313	69.0	19.2	19.5	16.3	13.1	6.4	4.2	6.4	5.4	1.0
	3～5歳	615	77.4	14.0	13.2	9.4	8.8	5.2	5.4	3.9	4.2	1.3
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	101	67.3	16.8	20.8	9.9	13.9	7.9	7.9	5.0	4.0	-
	母子家庭	93	65.6	18.3	21.5	9.7	14.0	8.6	8.6	5.4	3.2	-
	父子家庭	8	87.5	-	12.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	-
	夫婦家庭（共働き）	633	75.2	14.8	15.2	11.5	9.0	5.8	4.6	5.1	4.6	1.1
	夫婦家庭（非共働き）	187	77.0	18.2	12.8	13.4	13.4	2.1	4.3	4.3	4.3	2.1

▶この1年間の不特定の教育・保育事業の事業別利用日数については、『幼稚園の預かり保育』では「10日」(15.1%)、『一時預かり』では「10日」(23.4%)が最も高くなっていました。

図表 67：この1年間の不特定の教育・保育事業の事業別利用日数

【就学前児童】問20 この1年間の不特定の教育・保育事業の事業別利用日数

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

【幼稚園の預かり保育】

(%)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11   15日	16   20日	21日 以上	無回答
比較年	令和5年度	119	3.4	8.4	11.8	1.7	13.4	1.7	3.4	1.7	-	15.1	5.0	8.4	14.3	11.8
	平成30年度	104	5.8	7.7	12.5	2.9	13.5	1.9	2.9	-	-	9.6	1.9	9.6	23.1	8.7
年齢別	0～2歳	7	-	28.6	-	-	-	-	-	-	-	28.6	28.6	-	-	14.3
	3～5歳	109	3.7	7.3	11.9	0.9	14.7	1.8	3.7	1.8	-	14.7	3.7	9.2	15.6	11.0
家庭区分別	ひとり親家庭	4	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	母子家庭	4	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	72	1.4	6.9	6.9	1.4	12.5	2.8	2.8	2.8	-	15.3	5.6	9.7	19.4	12.5
	夫婦家庭（非共働き）	37	8.1	10.8	18.9	2.7	16.2	-	2.7	-	-	18.9	5.4	5.4	5.4	5.4

【一時預かり】

(%)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11   15日	16   20日	21日 以上	無回答
比較年	令和5年度	47	12.8	10.6	17.0	4.3	4.3	4.3	2.1	-	-	23.4	2.1	2.1	12.8	4.3
	平成30年度	55	5.5	1.8	10.9	1.8	14.5	-	5.5	3.6	-	12.7	1.8	9.1	23.6	9.1
年齢別	0～2歳	28	14.3	7.1	17.9	3.6	3.6	3.6	-	-	-	21.4	-	3.6	21.4	3.6
	3～5歳	18	11.1	16.7	16.7	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-	27.8	-	-	-	5.6
家庭区分別	ひとり親家庭	3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-
	母子家庭	3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	28	7.1	10.7	10.7	3.6	7.1	3.6	3.6	-	-	28.6	3.6	-	14.3	7.1
	夫婦家庭（非共働き）	15	26.7	13.3	13.3	6.7	-	6.7	-	-	-	13.3	-	6.7	13.3	-

【ファミリー・サポート・センター】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11~15日	16~20日	21日以上	(%)
比較年	令和5年度	4	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	
	平成30年度	9	22.2	11.1	-	-	22.2	-	-	-	-	11.1	-	22.2	11.1	
年齢別	0~2歳	4	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	
	3~5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
家庭区分別	ひとり親家庭	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	母子家庭	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
	夫婦家庭（非共働き）	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	

【夜間養護等事業：トワイライトステイ】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11~15日	16~20日	21日以上	無回答	(%)
比較年	令和5年度	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	平成30年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年齢別	0~2歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	3~5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
家庭区分別	ひとり親家庭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	母子家庭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

【ベビーシッター】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	(%)
比較年	令和5年度	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	平成30年度	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
年齢別	0～2歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	3～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【その他】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	無回答	(%)
比較年	令和5年度	6	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	50.0
	平成30年度	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-
年齢別	0～2歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	33.3
	3～5歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
家庭区分別	ひとり親家庭	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	母子家庭	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7
	夫婦家庭（非共働き）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

その他の回答内容(一部抜粋)
通院時のみ保育所。
認定こども園の延長保育。
昨年は1月～9月頃まで。延長保育利用。

▶ 不特定の教育・保育事業の利用希望については、「利用したい」が47.7%で、前回調査時から10.2ポイント増加しました。

図表 68：不特定の教育・保育事業の利用希望

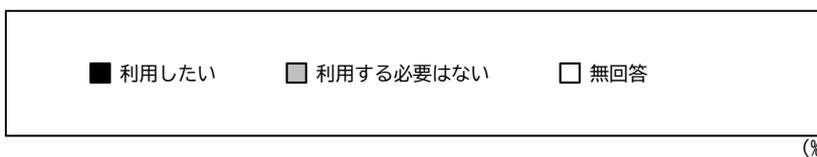
【就学前児童】問 2 1 不特定の教育・保育事業の利用希望（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問21 お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい問 20 の事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。

（あてはまる番号・丸数字すべてに○）

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。



		(%)			
経年比較	令和5年度	n = 1,131	47.7	46.7	5.7
	平成30年度	n = 1,085	37.5	52.4	10.1
年齢別	0～2歳	n = 355	54.6	40.0	5.4
	3～5歳	n = 756	44.3	49.7	6.0
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 114	43.9	50.9	5.3
	母子家庭	n = 106	47.2	47.2	5.7
	父子家庭	n = 8	-	100.0	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 742	46.5	47.8	5.7
	夫婦家庭（非共働き）	n = 243	51.0	44.4	4.5

▶ 不特定の教育・保育事業の利用目的については、「私用、リフレッシュ目的」(82.0%)が最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」(63.6%)、「不特定の就労」(16.9%)となっていました。

図表 69：不特定の教育・保育事業の利用目的（複数回答）

【就学前児童】問 2 1 不特定の教育・保育事業の利用目的（経年比較／年齢別／家庭区分別）

		n	私用、リフレッシュ目的	やども冠婚葬祭、親の通院兄弟姉妹を含む学校行事、子ども	不特定の就労	その他	無回答
比 経 較 年	令和5年度	539	82.0	63.6	16.9	3.2	4.3
	平成30年度	407	74.0	61.9	26.0	4.4	4.7
年 齢 別	0～2歳	194	85.1	56.7	18.0	4.1	2.6
	3～5歳	335	79.7	67.2	16.4	2.7	5.4
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	50	92.0	52.0	18.0	4.0	2.0
	母子家庭	50	92.0	52.0	18.0	4.0	2.0
	父子家庭	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	345	83.2	64.9	17.7	3.2	4.3
	夫婦家庭（非共働き）	124	77.4	69.4	15.3	3.2	1.6

▶ 不特定の教育・保育事業の利用希望日数については、「21日以上」(21.0%)が最も高く、次いで「10日」(18.9%)、「11-15日」(16.0%)となっていました。

図表 70：不特定の教育・保育事業の利用希望日数

【就学前児童】問21 不特定の教育・保育事業の利用希望日数

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	無回答
比 経 較 年	令和5年度	539	1.7	3.3	3.7	2.8	10.0	2.6	1.9	1.3	0.6	18.9	16.0	10.9	21.0	5.4
	平成30年度	407	0.5	3.2	4.9	2.2	6.4	1.2	2.2	1.5	0.7	10.1	13.8	10.8	23.1	19.4
年 齢 別	0～2歳	194	3.1	5.2	3.1	3.6	10.8	2.1	2.1	1.0	0.5	17.5	15.5	10.3	22.7	2.6
	3～5歳	335	0.9	2.4	4.2	2.4	9.9	2.7	1.8	1.5	0.6	19.7	16.4	11.0	19.7	6.9
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	50	-	4.0	4.0	-	18.0	4.0	4.0	6.0	-	22.0	20.0	6.0	10.0	2.0
	母子家庭	50	-	4.0	4.0	-	18.0	4.0	4.0	6.0	-	22.0	20.0	6.0	10.0	2.0
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	345	1.4	3.5	3.5	2.3	9.6	2.9	2.0	1.2	0.9	18.3	16.8	11.3	21.4	4.9
	夫婦家庭（非共働き）	124	3.2	2.4	4.0	4.8	7.3	1.6	0.8	-	-	21.0	12.9	12.9	23.4	5.6

▶ 不特定の教育・保育事業の目的別利用希望日数については、『私用、リフレッシュ目的』では「5日」(20.8%)、『冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等』では「5日」(32.1%)、『不特定の就労』では「10日」(24.2%)が最も高くなっていました。

【就学前児童】問21 不特定の教育・保育事業の目的別利用希望日数

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

【私用、リフレッシュ目的】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	無回答
比較年	令和5年度	442	4.5	5.4	9.0	2.0	20.8	3.6	1.8	0.5	0.2	20.6	16.1	4.1	9.5	1.8
	平成30年度	301	4.0	8.3	8.3	2.0	15.3	3.0	3.0	1.0	0.3	16.6	18.6	4.7	12.6	2.3
年齢別	0~2歳	165	7.9	3.0	9.1	2.4	17.6	5.5	2.4	-	-	20.6	15.8	2.4	11.5	1.8
	3~5歳	267	2.6	7.1	9.0	1.9	22.8	2.6	1.5	0.7	0.4	20.6	16.5	4.9	7.9	1.5
家庭区分別	ひとり親家庭	46	4.3	6.5	13.0	-	30.4	4.3	2.2	-	2.2	15.2	15.2	4.3	2.2	-
	母子家庭	46	4.3	6.5	13.0	-	30.4	4.3	2.2	-	2.2	15.2	15.2	4.3	2.2	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	287	4.9	5.2	8.7	1.7	20.6	3.1	1.7	0.3	-	20.2	18.5	3.8	9.4	1.7
	夫婦家庭(非共働き)	96	4.2	5.2	6.3	3.1	17.7	5.2	2.1	1.0	-	25.0	10.4	5.2	11.5	3.1

【冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	無回答
比較年	令和5年度	343	7.6	6.7	8.5	2.0	32.1	3.5	2.0	0.9	-	22.4	5.8	3.2	2.0	3.2
	平成30年度	252	4.4	10.3	12.7	4.8	23.4	3.2	4.8	1.2	-	17.9	8.3	4.8	2.8	1.6
年齢別	0~2歳	110	10.0	6.4	9.1	2.7	28.2	4.5	1.8	0.9	-	22.7	4.5	2.7	2.7	3.6
	3~5歳	225	6.7	7.1	8.0	1.8	34.2	3.1	2.2	0.9	-	22.7	6.2	3.1	1.3	2.7
家庭区分別	ひとり親家庭	26	11.5	7.7	11.5	-	34.6	7.7	-	-	-	19.2	3.8	3.8	-	-
	母子家庭	26	11.5	7.7	11.5	-	34.6	7.7	-	-	-	19.2	3.8	3.8	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	224	6.3	7.1	8.5	2.2	33.5	3.6	1.8	1.3	-	24.1	6.3	2.7	0.4	2.2
	夫婦家庭(非共働き)	86	10.5	4.7	7.0	2.3	25.6	2.3	2.3	-	-	20.9	5.8	4.7	7.0	7.0

【不定期の就労】

(%)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	無回答
比較年	令和5年度	91	3.3	4.4	8.8	4.4	15.4	3.3	1.1	1.1	-	24.2	6.6	2.2	18.7	6.6
	平成30年度	106	3.8	8.5	5.7	3.8	12.3	0.9	3.8	-	-	8.5	12.3	10.4	26.4	3.8
年齢別	0～2歳	35	5.7	2.9	11.4	2.9	17.1	5.7	2.9	2.9	-	22.9	5.7	-	14.3	5.7
	3～5歳	55	1.8	5.5	7.3	5.5	12.7	1.8	-	-	-	25.5	7.3	3.6	21.8	7.3
家庭区分別	ひとり親家庭	9	-	-	33.3	-	22.2	-	11.1	-	-	22.2	11.1	-	-	-
	母子家庭	9	-	-	33.3	-	22.2	-	11.1	-	-	22.2	11.1	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	61	1.6	4.9	3.3	6.6	19.7	3.3	-	1.6	-	27.9	8.2	1.6	16.4	4.9
	夫婦家庭（非共働き）	19	10.5	5.3	10.5	-	-	5.3	-	-	-	15.8	-	5.3	31.6	15.8

【その他】

(%)

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11-15日	16-20日	21日以上	無回答
比較年	令和5年度	17	5.9	11.8	-	5.9	11.8	5.9	-	-	-	17.6	5.9	11.8	17.6	5.9
	平成30年度	18	-	22.2	16.7	11.1	11.1	-	-	-	-	27.8	5.6	-	5.6	-
年齢別	0～2歳	8	12.5	-	-	12.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	12.5	12.5	12.5	-
	3～5歳	9	-	22.2	-	-	11.1	-	-	-	-	22.2	-	11.1	22.2	11.1
家庭区分別	ひとり親家庭	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	母子家庭	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	11	9.1	9.1	-	9.1	9.1	-	-	-	-	18.2	-	18.2	18.2	9.1
	夫婦家庭（非共働き）	4	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-

その他の回答内容（一部抜粋）
祖母や親族にあづけられないとき。
子どもがいるとできない大がかりな掃除など。
就活。

▶ 不特定の教育・保育事業の望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを預かる事業」(82.4%)が最も高く、次いで「小規模施設で子どもを預かる事業」(46.8%)、「地域住民等が子育て家庭等近くで預かる事業」(20.6%)となっていました。

図表 71：不特定の教育・保育事業の望ましい事業形態（複数回答）

【就学前児童】問21-1 不特定の教育・保育事業の望ましい事業形態

（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問21で「利用したい」を回答した方のみ

問21-1 私用、親の通院、不特定の就労等でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。

（あてはまる番号すべてに○）

		n	か 大 規 模 施 設 で 子 ど も を 預 か る 事 業	か 小 規 模 施 設 で 子 ど も を 預 か る 事 業	業 等 地 域 近 く の 民 居 の 場 所 が 子 ど も を 預 か る 事 業	そ の 他	無 回 答
比 経 較 年	令和5年度	539	82.4	46.8	20.6	1.3	1.3
	平成30年度	407	79.9	44.2	18.7	0.5	2.5
年 齢 別	0～2歳	194	76.8	56.2	24.2	0.5	1.5
	3～5歳	335	86.0	40.9	18.5	1.8	1.2
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	50	74.0	60.0	20.0	-	-
	母子家庭	50	74.0	60.0	20.0	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	345	82.3	47.2	19.7	0.9	1.7
	夫婦家庭（非共働き）	124	86.3	42.7	23.4	2.4	-

## (2) 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況と今後の利用希望について

▶この1年間に冠婚葬祭や保護者・家族の育児疲れ、育児不安、病気等の事情により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことがあった方は1割以上となっていました。

図表 72：この1年間に保護者の事情等で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことの有無

【就学前児童】問22 この1年間に保護者の事情等で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことの有無（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問22 この1年間に、保護者の事情(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。  
 (あてはまる番号・丸数字すべてに○)  
 ※それぞれの泊数も□内に数字でご記入ください。

■ あった      □ なかった      □ 無回答

(%)

経年比較	令和5年度	n = 1,131	15.1	81.6	3.3
	平成30年度	n = 1,085	13.5	81.5	5.1
年齢別	0～2歳	n = 355	17.7	79.7	2.5
	3～5歳	n = 756	13.8	82.5	3.7
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 114	20.2	76.3	3.5
	母子家庭	n = 106	21.7	74.5	3.8
	父子家庭	n = 8	-	100.0	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 742	14.8	83.0	2.2
	夫婦家庭（非共働き）	n = 243	13.6	81.9	4.5

▶子を泊りがけでみてもらわなければならなかった際の対処方法としては、親族・知人にみてもらった方が約9割となっていました。

図表 73：子を泊りがけでみてもらわなければならなかった際の対処方法（複数回答）

【就学前児童】問22 子を泊りがけでみてもらわなければならなかった際の対処方法

（経年比較／年齢別／家庭区分別）

		n	（%）						
			知人（同居者を含む） 親族・	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	短期入所生活援助事業を利用した	外短期入所生活援助事業を利用した	その他
比較年	令和5年度	171	91.8	7.6	1.2	-	-	1.2	1.2
	平成30年度	146	87.7	11.0	0.7	1.4	-	2.7	0.7
年齢別	0～2歳	63	88.9	11.1	1.6	-	-	-	-
	3～5歳	104	94.2	4.8	1.0	-	-	1.9	1.9
家庭区分別	ひとり親家庭	23	95.7	-	-	-	-	4.3	-
	母子家庭	23	95.7	-	-	-	-	4.3	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	110	90.9	8.2	0.9	-	-	0.9	1.8
	夫婦家庭（非共働き）	33	90.9	12.1	3.0	-	-	-	-

▶子どもを泊りがけでみてもらわなければならなかった場合の対処方法別宿泊数については、『(同居者を含む)親族・知人にみてもらった』では「1泊」が28.0%と最も高くなっていました。

図表 74：子どもを泊りがけでみてもらわなければならなかった場合の対処方法別宿泊数

【就学前児童】問22 子どもを泊りがけでみてもらわなければならなかった場合の対処方法別宿泊数（経年比較／年齢別／家庭区分別）

【(同居者を含む)親族・知人にみてもらった】

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11   15泊	16   20泊	21泊 以上	無回答
比 経 較 年	令和5年度	157	28.0	14.0	10.2	3.2	8.3	3.2	8.3	1.3	-	7.6	2.5	3.2	4.5	5.7
	平成30年度	128	37.5	19.5	10.9	3.1	7.0	4.7	4.7	-	1.6	5.5	3.1	0.8	0.8	0.8
年 齢 別	0～2歳	56	25.0	12.5	8.9	3.6	5.4	5.4	14.3	1.8	-	1.8	3.6	5.4	8.9	3.6
	3～5歳	98	30.6	15.3	9.2	3.1	10.2	2.0	5.1	1.0	-	11.2	2.0	1.0	2.0	7.1
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	22	18.2	13.6	4.5	9.1	13.6	-	4.5	-	-	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1
	母子家庭	22	18.2	13.6	4.5	9.1	13.6	-	4.5	-	-	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	100	30.0	13.0	14.0	3.0	6.0	2.0	10.0	2.0	-	9.0	1.0	3.0	3.0	4.0
	夫婦家庭（非共働き）	30	30.0	16.7	3.3	-	10.0	6.7	6.7	-	-	3.3	3.3	3.3	6.7	10.0

【仕方なく子どもを同行させた】

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11   15泊	16   20泊	21泊 以上	無回答
比 経 較 年	令和5年度	13	30.8	38.5	-	-	15.4	-	7.7	-	-	-	-	-	-	7.7
	平成30年度	16	37.5	18.8	31.3	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3
年 齢 別	0～2歳	7	14.3	57.1	-	-	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	5	60.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	9	44.4	33.3	-	-	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	4	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0

第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

(%)

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11~15泊	16~20泊	21泊以上	無回答	
比較年	令和5年度	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	平成30年度	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	0~2歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	3~5歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	夫婦家庭（非共働き）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

【短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した】

(%)

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11~15泊	16~20泊	21泊以上	
比較年	令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平成30年度	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
年齢別	0~2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3~5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した】

対象回答者なし

【その他】

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11   15泊	16   20泊	21泊以上	無回答
比較年	令和5年度	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
	平成30年度	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
家庭区分別	ひとり親家庭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	母子家庭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

その他の回答内容
泊まりでは来てくれないが子どもと出かけてもらったり一緒に留守番してもらった。
親が感染症になったが、預け先がなく、自分達で子ども達と過ごした。

▶親族・知人に泊りがけで子どもをみてもらうことが「非常に困難」「どちらかという困難」と感じている方が半数以上となっていました。

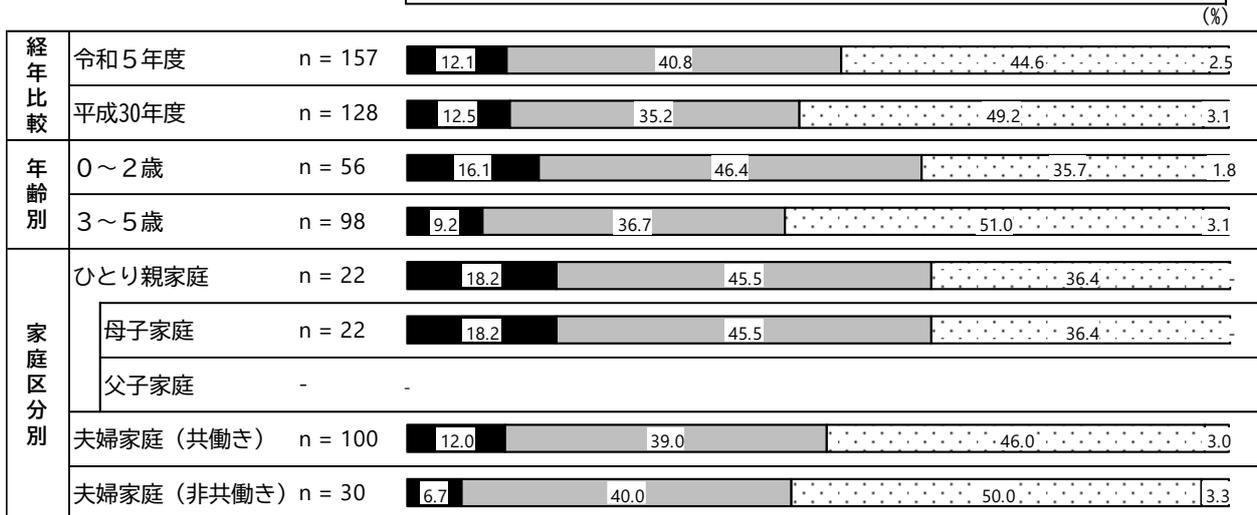
図表 75：親族・知人に泊りがけで子を見てもらう困難度

【就学前児童】問22-1 親族・知人に泊りがけで子を見てもらう困難度

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問22で「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」を回答した方のみ  
問22-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。  
(あてはまる番号1つに○)

■ 非常に困難 □ どちらかという困難 □ 特に困難ではない □ 無回答



▶子どもの預け先のひとつであるショートステイを今後利用したい方は1割以上となっていました。

図表 76：ショートステイの利用希望

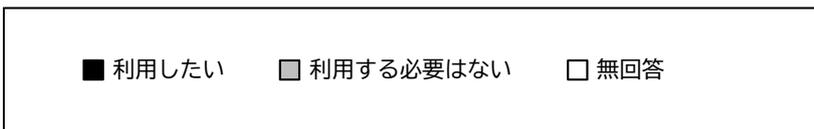
【就学前児童】問23 ショートステイの利用希望（本年結果／年齢別／家庭区分別）

問23 お子さんについて、保護者の事情(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無・泊数をお答えください。

(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※必要な泊数を口内に数字でご記入ください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。



		令和5年度	n = 1,131	14.9	81.2	4.0
年齢別	0～2歳	n = 355	17.5	79.2	3.4	
	3～5歳	n = 756	13.5	82.1	4.4	
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 114	21.9	72.8	5.3	
	母子家庭	n = 106	22.6	71.7	5.7	
	父子家庭	n = 8	12.5	87.5	-	
	夫婦家庭（共働き）	n = 742	13.7	83.2	3.1	
	夫婦家庭（非共働き）	n = 243	14.8	81.1	4.1	

- ▶ ショートステイの利用を希望する事情については、「保護者や家族の病気」(79.2%)が最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(57.7%)、「冠婚葬祭」(42.3%)となっていました。
- ▶ ほとんどの方が「保護者や家族の病気」の際に利用したいと回答しました。

図表 77：ショートステイの利用を希望する事情（複数回答）

【就学前児童】 問23 ショートステイの利用を希望する事情（本年結果／年齢別／家庭区分別）

		n	保護者や家族の病気	保護者や家族の育児疲れ・不安	冠婚葬祭	その他	無回答
令和5年度		168	79.2	57.7	42.3	6.0	0.6
年齢別	0～2歳	62	72.6	51.6	41.9	6.5	1.6
	3～5歳	102	83.3	60.8	43.1	5.9	-
家庭区分別	ひとり親家庭	25	72.0	72.0	40.0	12.0	-
	母子家庭	24	75.0	75.0	37.5	12.5	-
	父子家庭	1	-	-	100.0	-	-
	夫婦家庭（共働き）	102	79.4	49.0	43.1	4.9	1.0
	夫婦家庭（非共働き）	36	80.6	72.2	44.4	5.6	-

▶ショートステイを利用したい場合の保護者の事情別宿泊数については、『保護者や家族の病気』では「3泊」(24.1%)、『保護者や家族の育児疲れ・不安』では「1泊」(32.0%)、『冠婚葬祭』では「1泊」(42.3%)が最も高くなっていました。

図表 78：ショートステイを利用したい場合の保護者の事情別宿泊数

【就学前児童】問23 ショートステイを利用したい場合の保護者の事情別宿泊数

(本年結果／年齢別／家庭区分別)

【保護者や家族の病気】

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11   15泊	16   20泊	21泊 以上	無回答
令和5年度		133	14.3	20.3	24.1	0.8	13.5	2.3	6.0	-	-	11.3	3.0	1.5	2.3	0.8
年齢別	0～2歳	45	13.3	20.0	24.4	-	13.3	4.4	6.7	-	-	11.1	4.4	-	2.2	-
	3～5歳	85	15.3	20.0	24.7	1.2	12.9	1.2	5.9	-	-	10.6	2.4	2.4	2.4	1.2
家庭区分別	ひとり親家庭	18	33.3	22.2	5.6	-	16.7	-	5.6	-	-	11.1	-	-	5.6	-
	母子家庭	18	33.3	22.2	5.6	-	16.7	-	5.6	-	-	11.1	-	-	5.6	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	81	12.3	19.8	29.6	1.2	9.9	2.5	6.2	-	-	13.6	1.2	2.5	1.2	-
	夫婦家庭（非共働き）	29	6.9	20.7	20.7	-	24.1	3.4	3.4	-	-	6.9	10.3	-	-	3.4

【保護者や家族の育児疲れ・不安】

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11   15泊	16   20泊	21泊 以上
令和5年度		97	32.0	27.8	15.5	1.0	8.2	-	3.1	-	-	7.2	2.1	1.0	2.1
年齢別	0～2歳	32	34.4	28.1	15.6	-	3.1	-	-	-	-	12.5	6.3	-	-
	3～5歳	62	30.6	29.0	16.1	1.6	9.7	-	3.2	-	-	4.8	-	1.6	3.2
家庭区分別	ひとり親家庭	18	38.9	27.8	11.1	-	5.6	-	-	-	-	5.6	5.6	-	5.6
	母子家庭	18	38.9	27.8	11.1	-	5.6	-	-	-	-	5.6	5.6	-	5.6
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	50	30.0	28.0	20.0	2.0	8.0	-	2.0	-	-	6.0	-	2.0	2.0
	夫婦家庭（非共働き）	26	26.9	26.9	11.5	-	11.5	-	7.7	-	-	11.5	3.8	-	-

第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

【冠婚葬祭】

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11~15泊	16~20泊	21泊以上	(%)
令和5年度		71	42.3	29.6	15.5	1.4	7.0	1.4	-	-	-	1.4	-	1.4	-	
年齢別	0~2歳	26	34.6	42.3	15.4	3.8	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3~5歳	44	47.7	20.5	15.9	-	9.1	2.3	-	-	-	2.3	-	2.3	-	
家庭区分別	ひとり親家庭	10	60.0	30.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	
	母子家庭	9	66.7	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	
	父子家庭	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	44	40.9	29.5	20.5	-	4.5	2.3	-	-	-	2.3	-	-	-	
	夫婦家庭（非共働き）	16	31.3	31.3	12.5	6.3	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	

【その他】

		n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11~15泊	16~20泊	21泊以上	無回答	(%)
令和5年度		10	30.0	-	-	10.0	20.0	10.0	-	-	-	20.0	-	-	-	10.0	
年齢別	0~2歳	4	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	
	3~5歳	6	50.0	-	-	-	16.7	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	
家庭区分別	ひとり親家庭	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	
	母子家庭	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	5	20.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0	
	夫婦家庭（非共働き）	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

その他の回答内容（一部抜粋）
仕事のため。
仕事の出張時。
きょうだいの習い事、美容室、病院。

## 6 平日の放課後の過ごし方について

- ▶ 小学校1年生～3年生で希望する放課後の居場所については、就学前児童の保護者では「放課後児童クラブ」(53.3%)が最も高く、次いで「自宅」(51.7%)、「塾や習い事」(32.0%)となっていました。
- ▶ 自宅以外では「放課後児童クラブ」が多くなっていました。

図表 79：【小1～小3の期間】希望する放課後の居場所（複数回答）

【就学前児童】問24 小学校1～3年生で希望する放課後の居場所

(経年比較／年齢別／家庭区分別)

問24 お子さんが、小学校1～3年生になった時、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

(例)午後6時 →18 時のように 24 時間制で数字をご記入ください。

※現在お持ちのイメージでお答えください。

		n	放課後児童クラブ	自宅	塾や習い事	祖父母宅や友人・知人宅	放課後子供教室	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
比較年	令和5年度	259	53.3	51.7	32.0	17.8	14.7	7.7	1.2	7.3	3.9
	平成30年度	157	51.0	49.7	33.1	15.3	13.4	4.5	-	5.7	0.6
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	259	53.3	51.7	32.0	17.8	14.7	7.7	1.2	7.3	3.9
家庭区分別	ひとり親家庭	20	40.0	45.0	35.0	10.0	15.0	15.0	-	10.0	5.0
	母子家庭	20	40.0	45.0	35.0	10.0	15.0	15.0	-	10.0	5.0
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	185	64.9	45.9	28.1	20.0	15.1	7.0	1.1	3.8	2.2
	夫婦家庭(非共働き)	50	16.0	80.0	48.0	14.0	14.0	6.0	2.0	20.0	6.0

- ▶小学生の保護者では「自宅」(65.1%)が最も高く、次いで「放課後児童クラブ」(44.6%)、「塾や習い事」(34.0%)となっていました。
- ▶「放課後児童クラブ」と回答した方が前回調査時(30.6%)より14.0ポイント増加しました。

【小学生】問9 小学校1～3年生で希望する放課後の居場所（経年比較／学年別／家庭区分別）

お子さんが小学校1～3年生の方のみ

問9 放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

(例)午後6時 →18 時のように 24 時間制で数字をご記入ください。

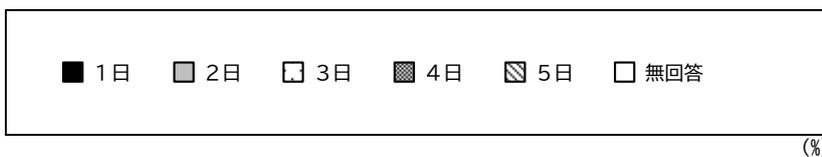
		n	自宅	放課後児童クラブ	塾や習い事	祖父母宅や友人・知人宅	放課後子供教室	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
比較年	令和5年度	435	65.1	44.6	34.0	12.9	11.7	3.0	0.7	8.7	1.8
	平成30年度	458	68.6	30.6	41.3	14.0	14.6	3.7	1.3	12.2	1.5
学年別	小学1～3年生	435	65.1	44.6	34.0	12.9	11.7	3.0	0.7	8.7	1.8
	小学4～6年生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	66	60.6	45.5	25.8	15.2	4.5	3.0	-	6.1	3.0
	母子家庭	65	60.0	46.2	26.2	15.4	4.6	3.1	-	6.2	3.1
	父子家庭	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	280	62.9	52.9	34.3	13.9	10.4	3.2	0.7	8.2	1.4
	夫婦家庭(非共働き)	63	85.7	11.1	42.9	7.9	25.4	1.6	1.6	12.7	3.2

▶就学前児童の保護者が小学校1年生～3年生で希望する放課後の居場所別希望日数については、『放課後児童クラブ』では「5日」(60.9%)、『自宅』では「5日」(37.3%)、『塾や習い事』では「2日」(43.4%)が最も高くなっていました。

図表 80：【小1～小3の期間】希望する放課後の居場所別希望日数

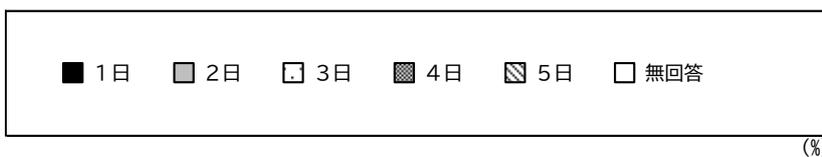
【就学前児童】問24 小学校1～3年生で希望する放課後の居場所別希望日数  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

【放課後児童クラブ】



経年比較	令和5年度	n = 138	2.9	7.2	13.8	13.8	60.9	1.4
		平成30年度	n = 80	5.0	7.5	12.5	68.8	6.3
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 138	2.9	7.2	13.8	13.8	60.9	1.4
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 8	12.5	87.5	-	-	-	-
	母子家庭	n = 8	12.5	87.5	-	-	-	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	n = 120	2.5	7.5	14.2	15.0	60.0	0.8
	夫婦家庭(非共働き)	n = 8	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	-

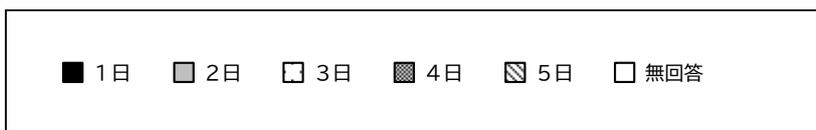
【自宅】



経年比較	令和5年度	n = 134	8.2	20.1	22.4	7.5	37.3	4.5
		平成30年度	n = 78	6.4	14.1	16.7	12.8	41.0
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 134	8.2	20.1	22.4	7.5	37.3	4.5
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 9	33.3	33.3	11.1	22.2	-	-
	母子家庭	n = 9	33.3	33.3	11.1	22.2	-	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	n = 85	9.4	23.5	21.2	4.7	36.5	4.7
	夫婦家庭(非共働き)	n = 40	7.5	10.0	22.5	12.5	42.5	5.0

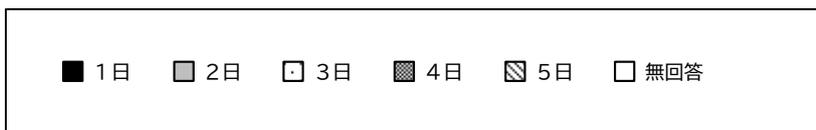
第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

【塾や習い事】



							(%)
経年比較	令和5年度	n = 83	42.2	43.4	10.8	2.4	-1.2
	平成30年度	n = 52	36.5	40.4	17.3	5.8	
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 83	42.2	43.4	10.8	2.4	-1.2
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 7	-	85.7	14.3	-	-
	母子家庭	n = 7	-	85.7	14.3	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 52	46.2	42.3	7.7	1.9	1.9
	夫婦家庭（非共働き）	n = 24	45.8	33.3	16.7	4.2	4.2

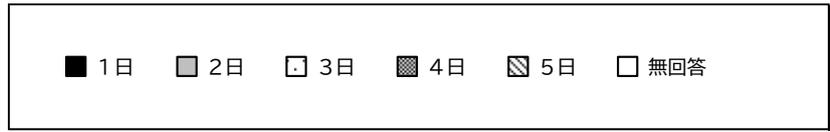
【祖父母宅や友人・知人宅】



							(%)	
経年比較	令和5年度	n = 46	23.9	32.6	8.7	8.7	21.7	4.3
	平成30年度	n = 24	37.5	25.0	8.3	4.2	20.9	4.2
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 46	23.9	32.6	8.7	8.7	21.7	4.3
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 2	-	50.0	-	-	50.0	-
	母子家庭	n = 2	-	50.0	-	-	50.0	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 37	18.9	35.1	8.1	10.8	24.3	2.7
	夫婦家庭（非共働き）	n = 7	57.1	28.6	-	-	14.3	-

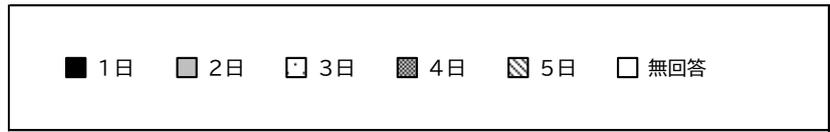
塩竈市

【放課後子供教室】



経年比較	令和5年度	n = 38	36.8	23.7	18.4	2.6	18.4
	平成30年度	n = 21	23.8	19.0	14.3	4.8	28.6
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 38	36.8	23.7	18.4	2.6	18.4
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 3	33.3	33.3	-	-	33.3
	母子家庭	n = 3	33.3	33.3	-	-	33.3
	父子家庭	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 28	32.1	21.4	21.4	3.6	21.4
	夫婦家庭（非共働き）	n = 7	57.1	28.6	14.3	-	-

【児童館】



経年比較	令和5年度	n = 20	20.0	20.0	5.0	20.0	20.0	15.0
	平成30年度	n = 7	42.9	14.3	-	-	42.9	-
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	
	3～5歳	n = 20	20.0	20.0	5.0	20.0	20.0	15.0
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 3	-	66.7	-	-	33.3	
	母子家庭	n = 3	-	66.7	-	-	33.3	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	n = 13	30.8	15.4	7.7	7.7	30.8	7.7
	夫婦家庭（非共働き）	n = 3	-	66.7	-	-	33.3	

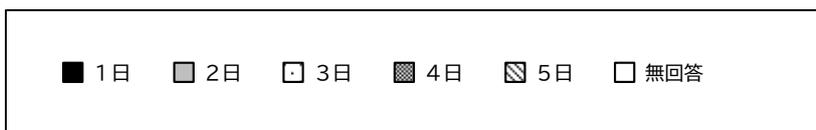
【ファミリー・サポート・センター】



(%)

経年比較	令和5年度	n = 3	33.3	33.3	--	33.3
	平成30年度	-	-	-	-	-
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 3	33.3	33.3	--	33.3
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 2	-	50.0	--	50.0
	夫婦家庭（非共働き）	n = 1	-	100.0	-	-

【その他(公民館・公園など)】



(%)

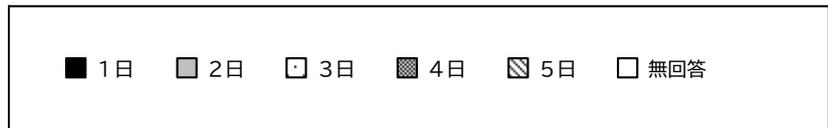
経年比較	令和5年度	n = 19	26.3	36.8	21.1	5.3	5.3	5.3
	平成30年度	n = 9	55.6	22.2	22.2	-	-	-
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 19	26.3	36.8	21.1	5.3	5.3	5.3
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 2	-	50.0	50.0	-	-	-
	母子家庭	n = 2	-	50.0	50.0	-	-	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 7	14.3	57.1	28.6	-	-	
	夫婦家庭（非共働き）	n = 10	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0

▶小学生の保護者が小学校1年生～3年生で希望する放課後の居場所別希望日数については、『自宅』では「5日」(41.0%)、『放課後児童クラブ』では「5日」(54.6%)、『塾や習い事』では「2日」(40.5%)が最も高くなっていました。

【小学生】問9 小学校1～3年生で希望する放課後の居場所別希望日数

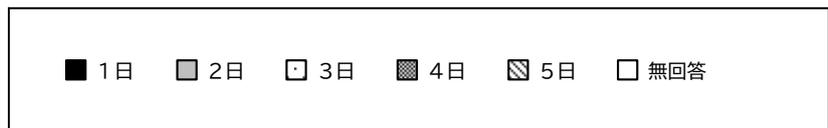
(経年比較/学年別/家庭区分別)

【自宅】



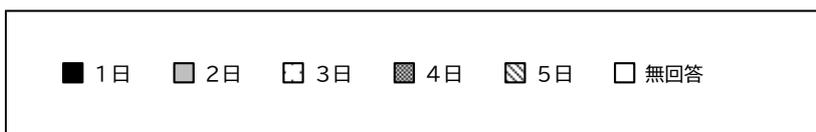
経年比較	令和5年度	n = 283	10.6	17.7	18.0	8.1	41.0	4.6
	平成30年度	n = 314	7.3	13.7	15.6	12.4	48.1	2.9
学年別	小学1～3年生	n = 283	10.6	17.7	18.0	8.1	41.0	4.6
	小学4～6年生	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 40	5.0	15.0	7.5	12.5	52.5	7.5
	母子家庭	n = 39	5.1	15.4	7.7	12.8	51.3	7.7
	父子家庭	n = 1	-	-	-	-	100.0	-
	夫婦家庭(共働き)	n = 176	14.2	19.9	20.5	5.7	36.9	2.8
	夫婦家庭(非共働き)	n = 54	5.6	13.0	20.4	9.3	44.4	7.4
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

【放課後児童クラブ】



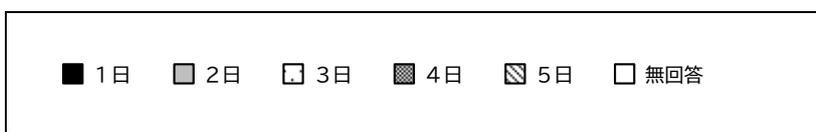
経年比較	令和5年度	n = 194	1.5	9.3	15.5	16.5	54.6	2.6
	平成30年度	n = 140	5.0	5.0	13.6	7.9	64.3	4.3
学年別	小学1～3年生	n = 194	1.5	9.3	15.5	16.5	54.6	2.6
	小学4～6年生	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 30	-	10.0	20.0	13.3	56.7	-
	母子家庭	n = 30	-	10.0	20.0	13.3	56.7	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	n = 148	2.0	8.1	13.5	18.2	54.7	3.4
	夫婦家庭(非共働き)	n = 7	-	28.6	-	42.9	-	28.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

【塾や習い事】



		(%)					
経年比較	令和5年度	n = 148	38.5	40.5	16.2	2.7	1.4
	平成30年度	n = 189	37.6	38.1	14.8	5.3	3.7
学年別	小学1～3年生	n = 148	38.5	40.5	16.2	2.7	1.4
	小学4～6年生	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 17	47.1	41.2	11.8	-	-
	母子家庭	n = 17	47.1	41.2	11.8	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 96	38.5	40.6	15.6	3.1	1.0
	夫婦家庭（非共働き）	n = 27	33.3	44.4	22.2	-	-

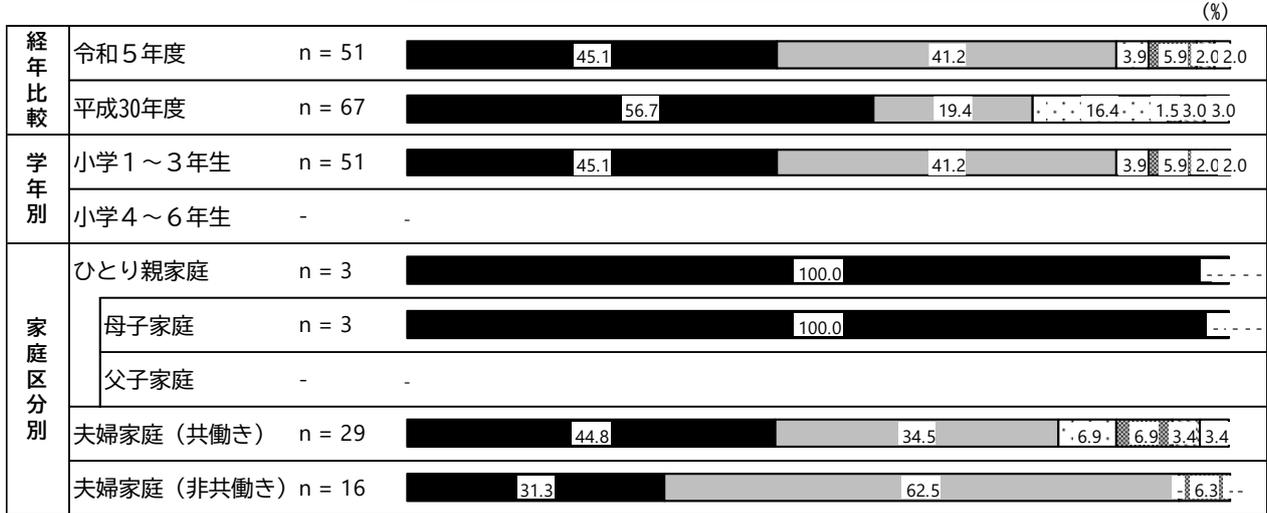
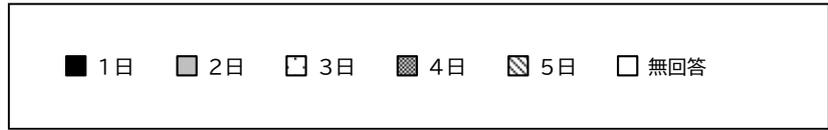
【祖父母宅や友人・知人宅】



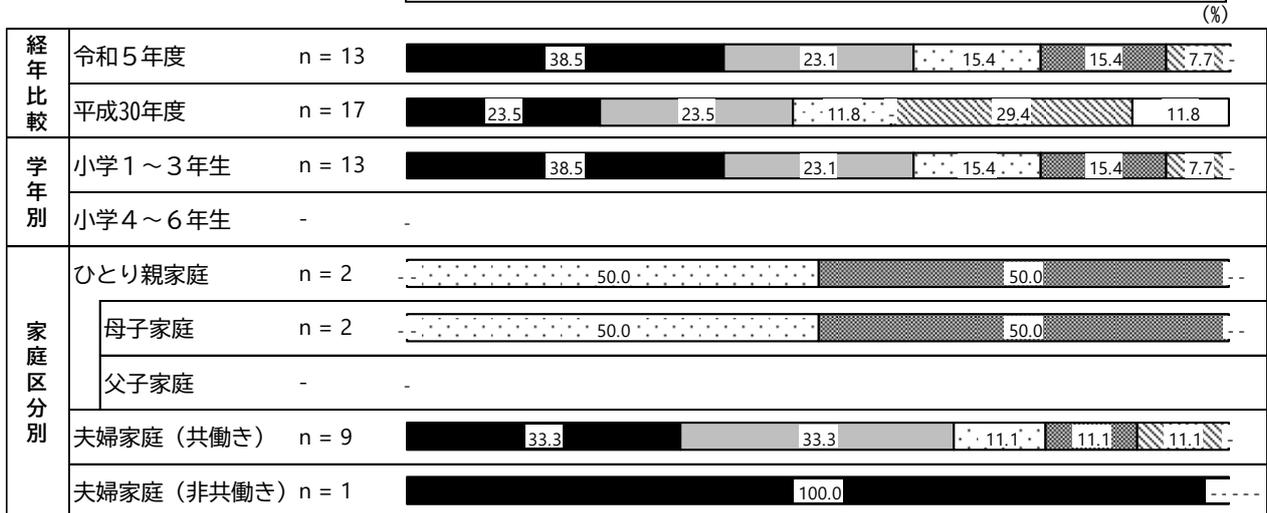
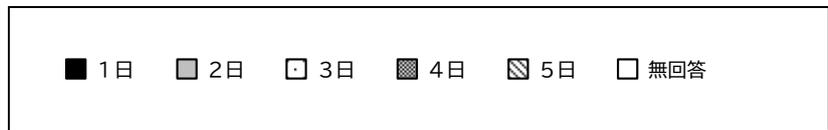
		(%)					
経年比較	令和5年度	n = 56	35.7	23.2	7.1	8.9	21.4
	平成30年度	n = 64	45.3	23.4	6.3	4.7	18.8
学年別	小学1～3年生	n = 56	35.7	23.2	7.1	8.9	21.4
	小学4～6年生	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 10	20.0	20.0	10.0	10.0	40.0
	母子家庭	n = 10	20.0	20.0	10.0	10.0	40.0
	父子家庭	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 39	38.5	23.1	5.1	10.3	17.9
	夫婦家庭（非共働き）	n = 5	60.0	20.0	20.0	-	-

塩竈市

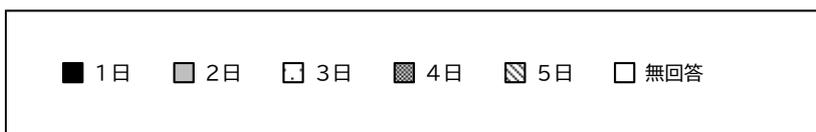
【放課後子供教室】



【児童館】



【ファミリー・サポート・センター】



				(%)				
経年比較	令和5年度	n = 3	66.7	33.3				
	平成30年度	n = 6	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	
学年別	小学1～3年生	n = 3	66.7	33.3				
	小学4～6年生	-	-					
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-					
	母子家庭	-	-					
	父子家庭	-	-					
	夫婦家庭（共働き）	n = 2	50.0	50.0				
	夫婦家庭（非共働き）	n = 1	100.0					

【その他(公民館・公園など)】

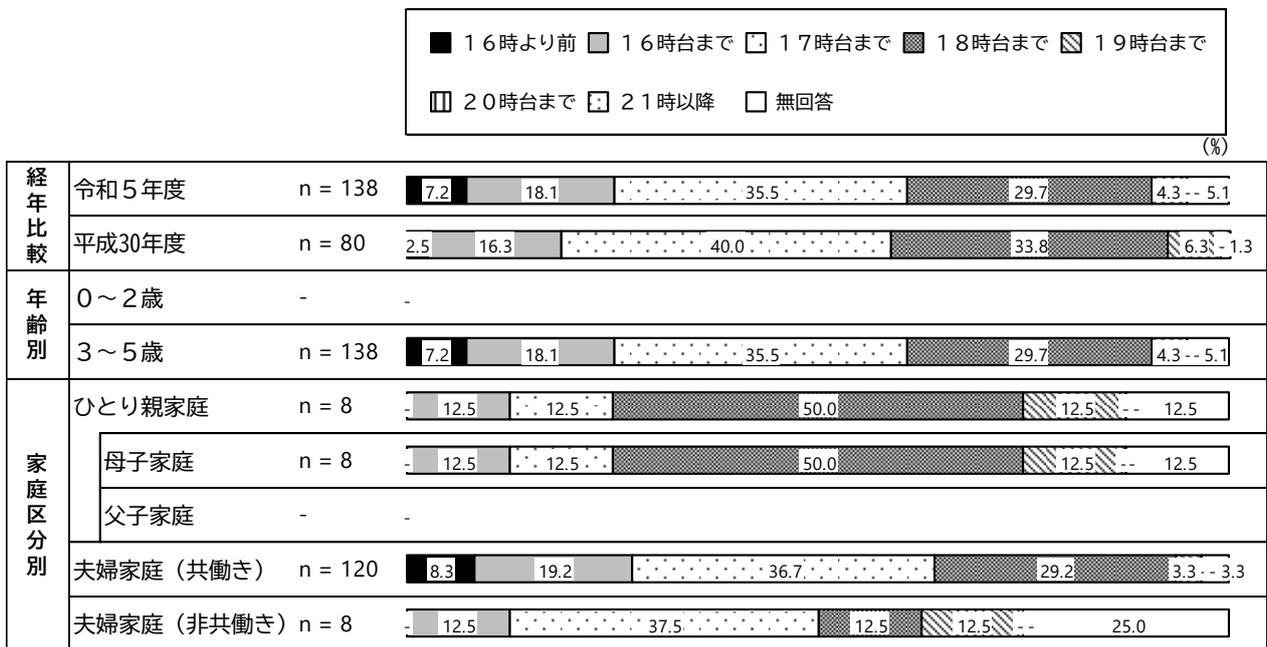


				(%)				
経年比較	令和5年度	n = 38	36.8	39.5	21.1	2.6		
	平成30年度	n = 56	39.3	30.4	16.1	1.8	8.9	3.6
学年別	小学1～3年生	n = 38	36.8	39.5	21.1	2.6		
	小学4～6年生	-	-					
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 4	25.0	50.0	25.0			
	母子家庭	n = 4	25.0	50.0	25.0			
	父子家庭	-	-					
	夫婦家庭（共働き）	n = 23	34.8	43.5	17.4	4.3		
	夫婦家庭（非共働き）	n = 8	37.5	37.5	25.0			

- ▶ 小学校1～3年生の放課後児童クラブの利用終了希望時間については、就学前児童の保護者では「17時台まで」(35.5%)が最も高く、次いで「18時台まで」(29.7%)、「16時台まで」(18.1%)となっていました。
- ▶ 概ね18時台までの利用を希望されている状況となっていました。

図表 81：【小1～小3の期間】放課後児童クラブの利用終了希望時間

【就学前児童】問24 小学校1～3年生の放課後児童クラブの利用終了希望時間  
(経年比較/年齢・学年別/家庭区分別)



- ▶ 小学校1～3年生の放課後児童クラブの利用終了希望時間については、小学生の保護者では「18時台まで」(32.0%)が最も高く、次いで「16時台まで」「17時台まで」(いずれも26.3%)、「16時より前」(4.6%)となっていました。
- ▶ 概ね18時台までの利用を希望されている状況となっていました。

【小学生】問9 小学校1～3年生の放課後児童クラブの利用終了希望時間

(経年比較/学年別/家庭区分別)



		(%)						
経年比較	令和5年度 n = 194	4.6	26.3	26.3	32.0	2.6	8.2	
	平成30年度 n = 140	5.7	25.7	27.9	32.1	5.0	2.9	0.7
学年別	小学1～3年生 n = 194	4.6	26.3	26.3	32.0	2.6	8.2	
	小学4～6年生 -	-	-	-	-	-	-	-
家庭区分別	ひとり親家庭 n = 30	6.7	16.7	30.0	26.7	6.7	13.3	
	母子家庭 n = 30	6.7	16.7	30.0	26.7	6.7	13.3	
	父子家庭 -	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き) n = 148	4.7	27.7	24.3	34.5	2.0	6.8	
	夫婦家庭(非共働き) n = 7	-	42.9	42.9	14.3	-	-	-

- ▶ 小学校4～6年生で希望する放課後の居場所については、就学前児童の保護者では「自宅」(74.5%)が最も高く、次いで「塾や習い事」(45.9%)、「放課後児童クラブ」(25.5%)となっていました。
- ▶ 自宅以外では「塾や習い事」が多くなっていました。一方、「放課後児童クラブ」も一定の利用希望がありました。

図表 82 : 【小4～小6の期間】 希望する放課後の居場所 (複数回答)

【就学前児童】 問25 小学校4～6年生で希望する放課後の居場所

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問25 お子さんが、小学校4～6年生になった時、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

(例)午後6時 →18 時のように 24 時間制で数字をご記入ください。

※現在お持ちのイメージでお答えください。

		n	自宅	塾や習い事	放課後児童クラブ	祖父母宅や友人・知人宅	放課後子供教室	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
比較年	令和5年度	259	74.5	45.9	25.5	19.3	10.8	5.8	1.5	9.7	4.6
	平成30年度	157	72.6	42.7	27.4	19.7	14.6	3.2	-	9.6	0.6
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	259	74.5	45.9	25.5	19.3	10.8	5.8	1.5	9.7	4.6
家庭区分別	ひとり親家庭	20	60.0	35.0	35.0	10.0	5.0	5.0	-	15.0	5.0
	母子家庭	20	60.0	35.0	35.0	10.0	5.0	5.0	-	15.0	5.0
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	185	75.7	44.9	27.6	22.7	11.9	5.9	1.1	6.5	2.7
	夫婦家庭(非共働き)	50	80.0	58.0	14.0	12.0	10.0	6.0	4.0	20.0	8.0

▶小学校4～6年生で希望する放課後の居場所については、小学生の保護者では「自宅」(75.8%)が最も高く、次いで「塾や習い事」(41.0%)、「放課後児童クラブ」(19.7%)となっていました。

【小学生】問10 小学校4～6年生で希望する放課後の居場所（経年比較／学年別／家庭区分）

問10 小学校4～6年生の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

(例)午後6時 →18 時のように 24 時間制で数字をご記入ください。

※現在お持ちのイメージでお答えください。

		n	自宅	塾や習い事	放課後児童クラブ	祖父母宅や友人・知人宅	放課後子供教室	児童館	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
比較年	令和5年度	947	75.8	41.0	19.7	13.5	8.3	2.4	0.8	13.9	7.2
	平成30年度	908	75.0	48.5	13.7	18.0	12.1	3.1	1.4	15.1	6.4
学年別	小学1～3年生	435	65.1	36.3	27.1	13.1	10.1	2.8	0.5	10.1	13.8
	小学4～6年生	474	86.7	46.0	12.7	13.9	6.5	2.3	1.1	17.1	1.3
家庭区分別	ひとり親家庭	133	69.2	32.3	22.6	19.5	6.8	2.3	1.5	8.3	12.8
	母子家庭	128	68.0	32.8	21.9	19.5	7.0	2.3	1.6	8.6	13.3
	父子家庭	5	100.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	628	75.5	41.9	22.5	12.9	6.8	2.7	0.6	13.9	6.1
	夫婦家庭（非共働き）	128	84.4	46.1	4.7	10.9	18.0	1.6	1.6	19.5	7.8

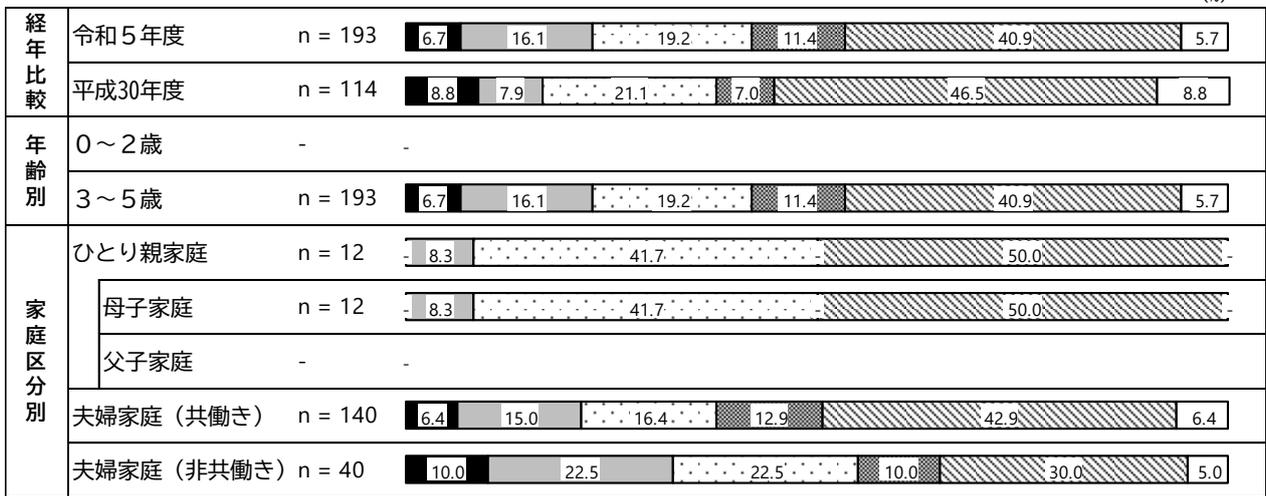
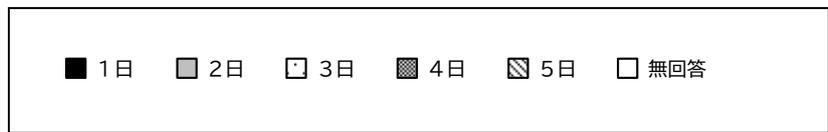
▶就学前児童の保護者が小学校4～6年生で希望する放課後の居場所別希望日数については、『自宅』では「5日」(40.9%)、『塾や習い事』では「2日」(37.8%)、『放課後児童クラブ』では「5日」(54.5%)が最も高くなっていました。

図表 83：【小4～小6の期間】希望する放課後の居場所別希望日数

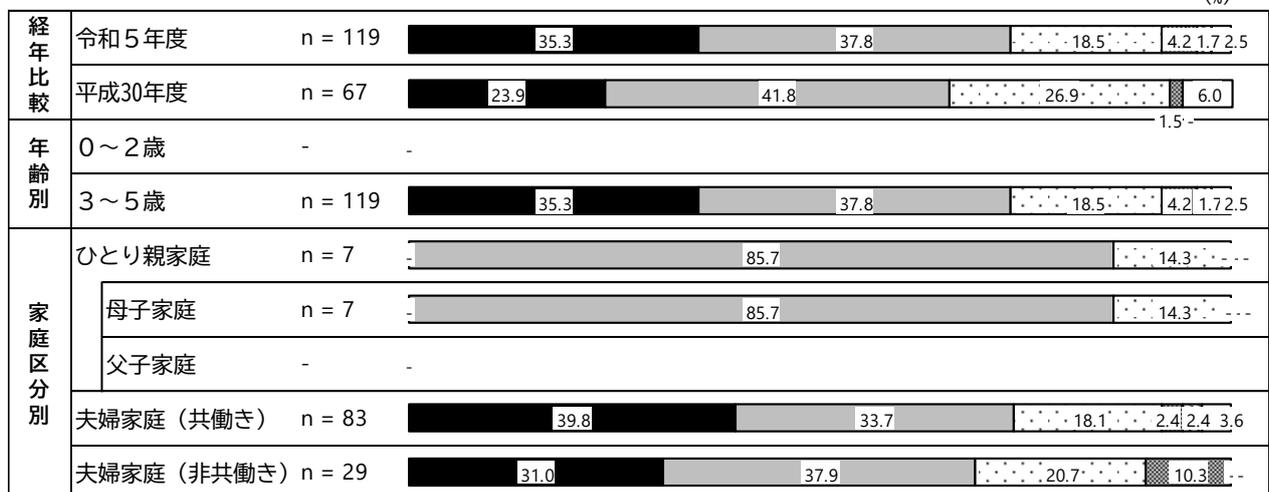
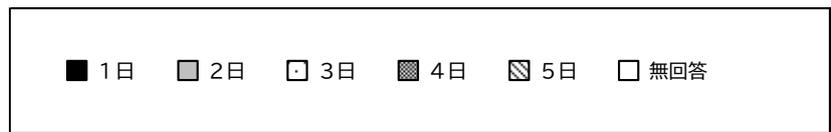
【就学前児童】問25 小学校4～6年生で希望する放課後の居場所別希望日数

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

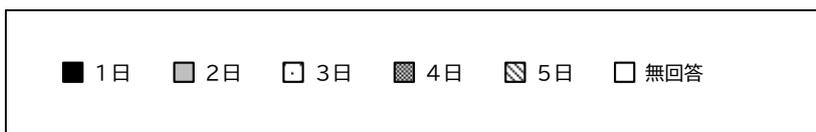
【自宅】



【塾や習い事】

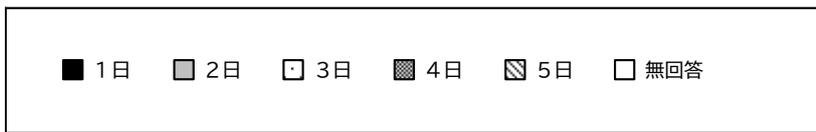


【放課後児童クラブ】



経年比較	令和5年度	n = 66	7.6	9.1	13.6	10.6	54.5	4.5
	平成30年度	n = 43	7.0	9.3	11.6	11.6	51.2	9.3
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 66	7.6	9.1	13.6	10.6	54.5	4.5
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 7	-	-	-	-	100.0	-
	母子家庭	n = 7	-	-	-	-	100.0	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 51	9.8	11.8	13.7	13.7	47.1	3.9
	夫婦家庭（非共働き）	n = 7	-	-	28.6	-	57.1	14.3

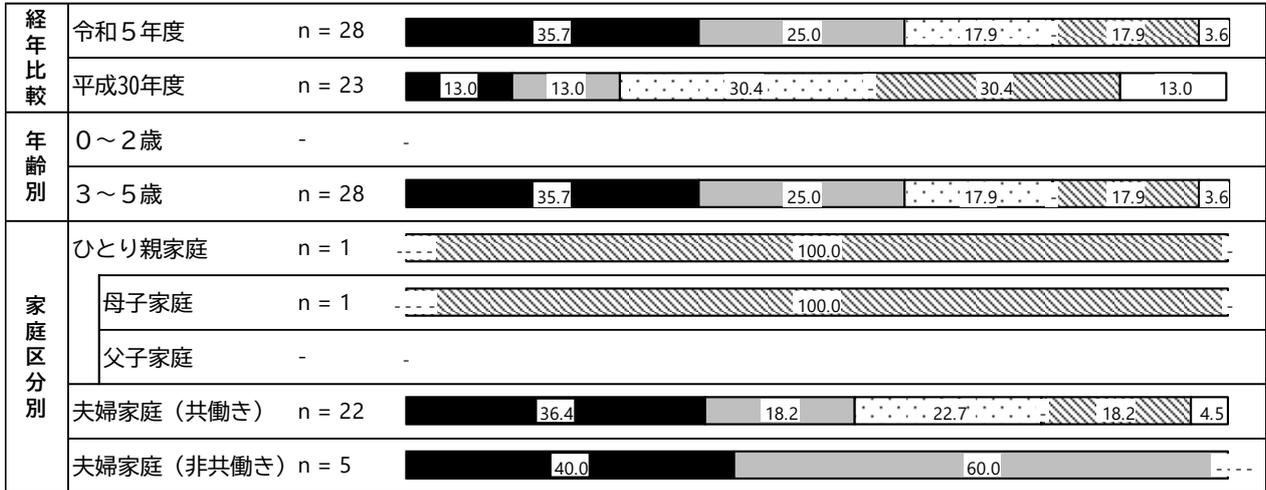
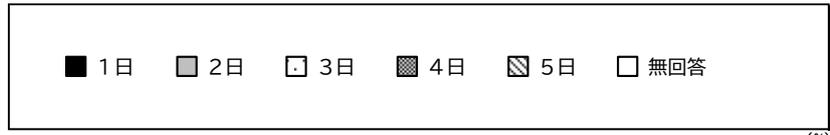
【祖父母宅や友人・知人宅】



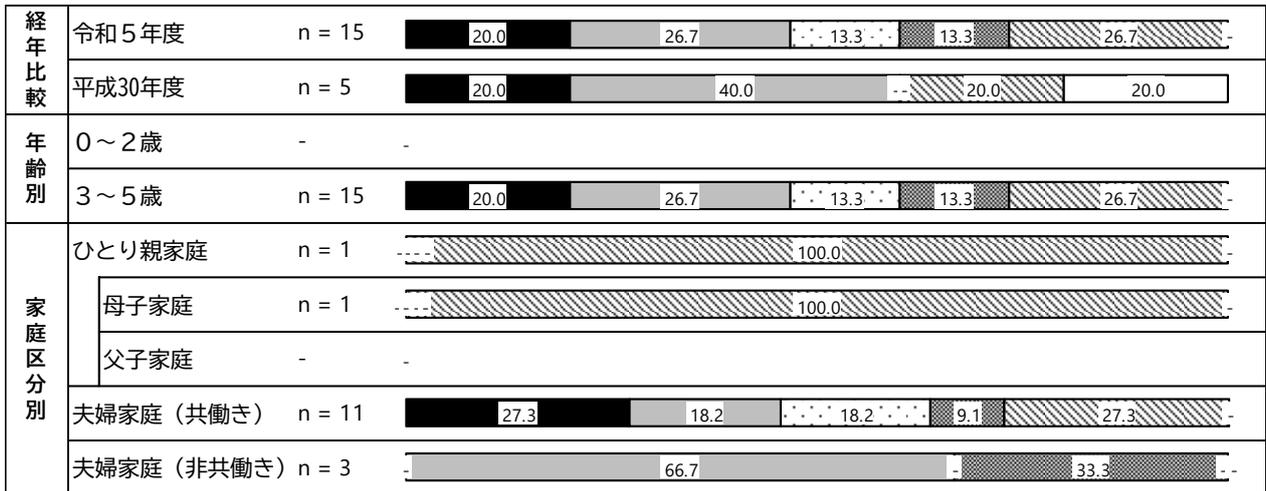
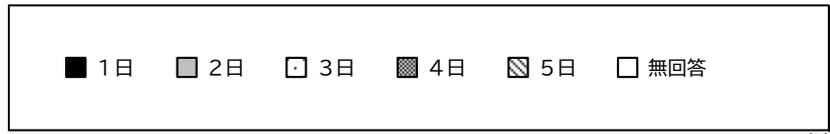
経年比較	令和5年度	n = 50	26.0	40.0	8.0	6.0	16.0	4.0
	平成30年度	n = 31	32.3	22.6	3.2	6.5	25.8	9.7
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 50	26.0	40.0	8.0	6.0	16.0	4.0
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 2	-	50.0	-	-	50.0	-
	母子家庭	n = 2	-	50.0	-	-	50.0	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 42	23.8	40.5	9.5	7.1	16.7	2.4
	夫婦家庭（非共働き）	n = 6	-	50.0	-	-	33.3	16.7

塩竈市

【放課後子供教室】

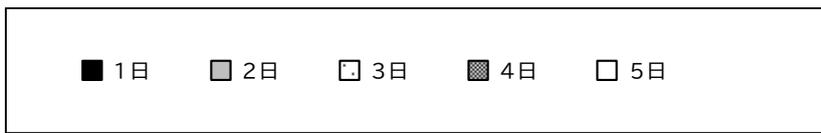


【児童館】



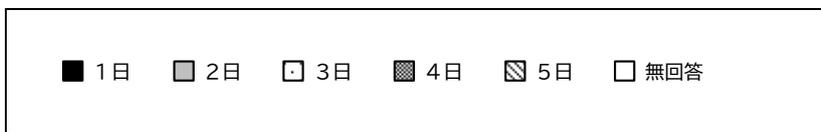
第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

【ファミリー・サポート・センター】



経年比較	令和5年度	n = 4	25.0	25.0	25.0	25.0
	平成30年度	-	-	-	-	-
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-
	3～5歳	n = 4	25.0	25.0	25.0	25.0
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 2	50.0	-	-	50.0
	夫婦家庭（非共働き）	n = 2	50.0	-	-	50.0

【その他(公民館・公園など)】



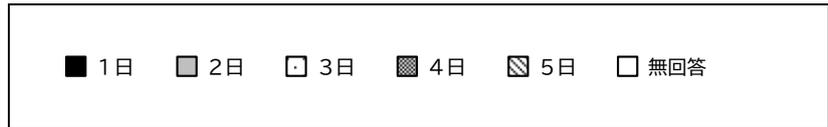
経年比較	令和5年度	n = 25	36.0	28.0	12.0	8.0	12.0	4.0
	平成30年度	n = 15	40.0	26.7	26.7	6.7	-	-
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	
	3～5歳	n = 25	36.0	28.0	12.0	8.0	12.0	4.0
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 3	66.7	-	33.3	-	-	
	母子家庭	n = 3	66.7	-	33.3	-	-	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	n = 12	50.0	16.7	16.7	16.7	-	
	夫婦家庭（非共働き）	n = 10	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0	

▶小学生の保護者が小学校4～6年生で希望する放課後の居場所別希望日数については、『自宅』では「5日」(45.4%)、『塾や習い事』では「2日」(46.1%)、『放課後児童クラブ』では「5日」(50.8%)が最も高くなっていました。

【小学生】問10 小学校4～6年生で希望する放課後の居場所別希望日数

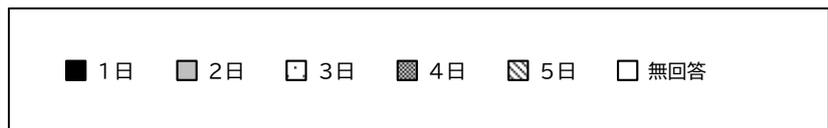
(経年比較/学年別/家庭区分別)

【自宅】



経年比較	令和5年度	n = 718	7.1	16.3	18.0	9.2	45.4	4.0
		平成30年度	n = 681	5.7	16.9	20.7	9.1	42.2
学年別	小学1～3年生	n = 283	8.8	20.8	17.3	7.4	40.6	4.9
	小学4～6年生	n = 411	6.3	13.1	19.0	10.5	47.7	3.4
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 92	5.4	14.1	16.3	9.8	48.9	5.4
	母子家庭	n = 87	5.7	13.8	17.2	8.0	49.4	5.7
	父子家庭	n = 5		20.0		40.0	40.0	
	夫婦家庭(共働き)	n = 474	8.6	16.7	16.7	9.1	46.2	2.7
	夫婦家庭(非共働き)	n = 108	2.8	18.5	20.4	11.1	38.9	8.3

【塾や習い事】



経年比較	令和5年度	n = 388	32.0	46.1	15.7	2.8	1.8
		平成30年度	n = 440	26.6	44.3	19.8	4.5
学年別	小学1～3年生	n = 158	32.9	43.0	17.7	2.5	1.3
	小学4～6年生	n = 218	30.3	50.5	13.3	2.8	1.8
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 43	39.5	39.5	16.3	2.3	2.3
	母子家庭	n = 42	40.5	40.5	14.3	2.4	2.4
	父子家庭	n = 1		100.0			
	夫婦家庭(共働き)	n = 263	30.8	49.0	14.4	2.7	1.1
	夫婦家庭(非共働き)	n = 59	35.6	33.9	25.4	1.7	1.7

【放課後児童クラブ】



経年比較	令和5年度	n = 187	5.3	9.6	14.4	13.4	50.8	6.4
		平成30年度	n = 124	7.3	8.1	21.8	3.2	51.6
学年別	小学1～3年生	n = 118	4.2	11.0	17.8	12.7	51.7	2.5
	小学4～6年生	n = 60	8.3	8.3	10.0	13.3	50.0	10.0
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 30	3.3	16.7	16.7	10.0	50.0	3.3
	母子家庭	n = 28		17.9	14.3	10.7	53.6	3.6
	父子家庭	n = 2			50.0		50.0	
	夫婦家庭（共働き）	n = 141	3.5	7.8	14.2	14.9	51.8	7.8
	夫婦家庭（非共働き）	n = 6		33.3		16.7	50.0	

【祖父母宅や友人・知人宅】



経年比較	令和5年度	n = 128	38.3	27.3	10.2	3.1	16.4	4.7
		平成30年度	n = 163	34.4	30.1	9.8	3.7	15.9
学年別	小学1～3年生	n = 57	40.4	17.5	15.8	3.5	17.5	5.3
	小学4～6年生	n = 66	34.8	36.4	6.1	3.0	15.2	4.5
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 26	26.9	42.3	15.4	3.8	11.5	
	母子家庭	n = 25	28.0	40.0	16.0	4.0	12.0	
	父子家庭	n = 1		100.0				
	夫婦家庭（共働き）	n = 81	40.7	19.8	9.9	3.7	19.8	6.2
	夫婦家庭（非共働き）	n = 14		64.3	14.3	7.1	7.1	7.1

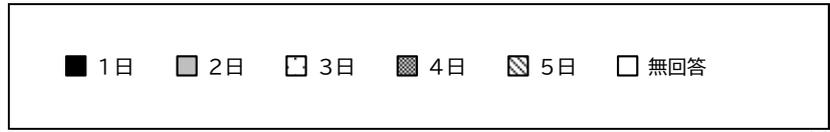
塩竈市

【放課後子供教室】



		(%)						
経年比較	令和5年度	n = 79	32.9	45.6	7.6	5.1	5.1	3.8
	平成30年度	n = 110	44.5	26.4	13.6	1.8	8.2	5.5
学年別	小学1～3年生	n = 44	36.4	40.9	6.8	6.8	4.5	4.5
	小学4～6年生	n = 31	29.0	58.1	6.5	3.2	3.2	
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 9	44.4	22.2	11.1	-	22.2	
	母子家庭	n = 9	44.4	22.2	11.1	-	22.2	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	n = 43	34.9	39.5	9.3	7.0	9.3	
	夫婦家庭（非共働き）	n = 23	21.7	65.2	4.3	4.3	4.3	

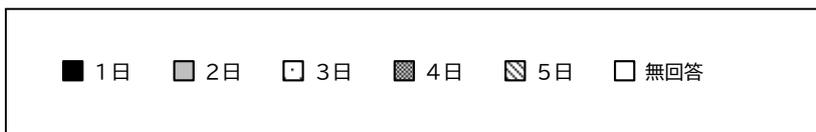
【児童館】



		(%)					
経年比較	令和5年度	n = 23	34.8	34.8	13.0	13.0	4.3
	平成30年度	n = 28	35.7	32.1	7.1	10.7	14.3
学年別	小学1～3年生	n = 12	50.0	25.0	16.7	8.3	
	小学4～6年生	n = 11	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 3	33.3	33.3	33.3		
	母子家庭	n = 3	33.3	33.3	33.3		
	父子家庭	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	n = 17	35.3	47.1	11.8	5.9	
	夫婦家庭（非共働き）	n = 2	50.0	50.0			

第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

【ファミリー・サポート・センター】



経年比較	令和5年度	n = 8	12.5	50.0	25.0	12.5
	平成30年度	n = 13	46.2	23.1	7.7	15.4
学年別	小学1～3年生	n = 2	50.0	50.0		
	小学4～6年生	n = 5	60.0	20.0	20.0	
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 2	50.0	50.0		
	母子家庭	n = 2	50.0	50.0		
	父子家庭	-	-			
	夫婦家庭（共働き）	n = 4	50.0	50.0		
	夫婦家庭（非共働き）	n = 2	50.0	50.0		

【その他(公民館・公園など)】



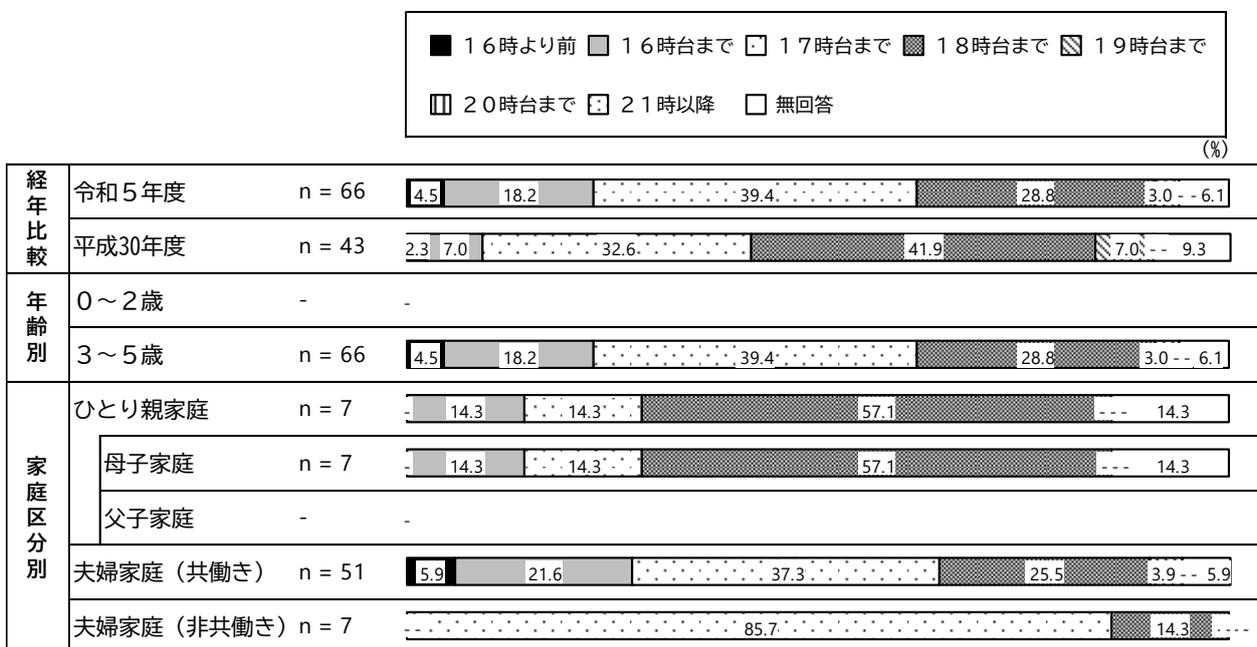
経年比較	令和5年度	n = 132	33.3	34.1	18.9	5.3	6.8	1.5
	平成30年度	n = 137	40.1	27.7	18.2	2.9	6.5	4.4
学年別	小学1～3年生	n = 44	27.3	45.5	22.7	2.3	2.3	
	小学4～6年生	n = 81	37.0	29.6	17.3	6.2	8.6	1.2
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 11	27.3	27.3	9.1	9.1	18.2	9.1
	母子家庭	n = 11	27.3	27.3	9.1	9.1	18.2	9.1
	父子家庭	-	-					
	夫婦家庭（共働き）	n = 87	34.5	31.0	21.8	5.7	5.7	1.1
	夫婦家庭（非共働き）	n = 25	28.0	44.0	16.0	4.0	8.0	

- ▶ 小学校4～6年生の放課後児童クラブの利用終了希望時間については、就学前児童の保護者では「17時台まで」(39.4%)が最も高く、次いで「18時台まで」(28.8%)、「16時台まで」(18.2%)となっていました。
- ▶ 「16時台まで」と回答した方が前回調査時(7.0%)より11.2ポイント増加、「18時台まで」と回答した方が前回調査時(41.9%)より13.1ポイント減少しました。

図表 84 : 【小4～小6の期間】 放課後児童クラブの利用終了希望時間

【就学前児童】 問25 小学校4～6年生の放課後児童クラブの利用終了希望時間

(経年比較/年齢・学年別/家庭区分別)



- ▶ 小学校4～6年生の放課後児童クラブの利用終了希望時間については、小学生の保護者では「18時台まで」(40.1%)が最も高く、次いで「17時台まで」(25.1%)、「16時台まで」(21.4%)となっていました。
- ▶ 概ね18時台までの利用を希望されている状況となっていました。

【小学生】問10 小学校4～6年生の放課後児童クラブの利用終了希望時間

(経年比較/年齢・学年別/家庭区分別)



経年比較	令和5年度	n = 187	2.7	21.4	25.1	40.1	5.9	4.3
		平成30年度	n = 124	4.0	21.0	29.8	32.3	7.3
学年別	小学1～3年生	n = 118	4.2	22.0	25.4	39.0	5.9	3.4
	小学4～6年生	n = 60	16.7	21.7	46.7	6.7	1.7	6.7
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 30	10.0	26.7	53.3	6.7	3.3	
	母子家庭	n = 28	10.7	28.6	50.0	7.1	3.6	
	父子家庭	n = 2			100.0			
	夫婦家庭(共働き)	n = 141	3.5	21.3	26.2	39.0	5.7	3.5
	夫婦家庭(非共働き)	n = 6		50.0	16.7	16.7	16.7	



# **第5章**

## **育児休業制度等の利用状況等**



## 第5章 育児休業制度等の利用状況等

### 1 育児と仕事の両立支援制度について

#### (1) 支援制度の周知度

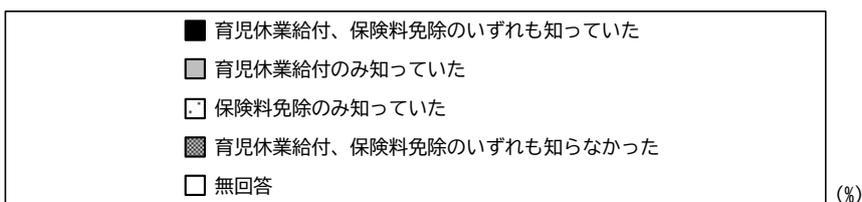
- ▶ 育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知状況については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(47.3%)が最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(22.8%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(21.8%)となっていました。
- ▶ 「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」と回答した方が前回調査時(37.1%)より10.2ポイント増加しました。

図表 85：育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知状況

【就学前児童】問26 育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知状況

(経年比較／年齢別／家庭区分別)

問26 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。この仕組みを知っていましたか。  
(あてはまる番号1つに○)



経年比較	令和5年度	n = 1,131	47.3	22.8	2.4	21.8	5.7
経年比較	平成30年度	n = 1,085	37.1	28.2	1.4	30.7	2.6
年齢別	0～2歳	n = 355	54.4	24.5	2.3	18.0	0.8
	3～5歳	n = 756	43.7	22.5	2.5	23.4	7.9
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 114	40.4	14.0	7.9	30.7	7.0
	母子家庭	n = 106	40.6	15.1	7.5	29.2	7.5
	父子家庭	n = 8	37.5	12.5	-	50.0	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 742	51.6	24.1	1.5	17.3	5.5
	夫婦家庭（非共働き）	n = 243	39.1	23.9	2.9	30.0	4.1

## (2) 母親の育児休業制度等の利用状況

▶ 母親の育児休業制度の取得状況については、育児休業を取得した（取得中である）方が48.9%と、前回調査時から11.5ポイント増加していました。

図表 86：母親の育児休業の取得状況

【就学前児童】問27(1) 母親の育児休業の取得状況（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問27(1) お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
 （育児休業の取得は、母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）  
 ※取得していない方は、その理由にあてはまる番号を下表からすべて選んでご記入ください。

■ 働いていなかった □ 取得した（取得中である） □ 取得していない □ 無回答

(%)

経年比較	令和5年度	n = 1,131	33.7	48.9	11.4	6.0
	平成30年度	n = 1,085	46.1	37.4	13.5	3.0
年齢別	0～2歳	n = 355	29.0	60.0	9.6	1.4
	3～5歳	n = 756	36.2	43.8	12.0	7.9
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 114	46.5	37.7	7.9	7.9
	母子家庭	n = 106	48.1	38.7	8.5	4.7
	父子家庭	n = 8	25.0	25.0	-	50.0
	夫婦家庭（共働き）	n = 742	19.8	63.7	11.1	5.4
	夫婦家庭（非共働き）	n = 243	71.2	9.9	14.0	4.9

▶ 母親の育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職したため」(30.2%)が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかったため」(11.6%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」(10.9%)となっていました。

図表 87：母親の育児休業を取得していない理由（複数回答）

【就学前児童】問27(1) 母親の育児休業を取得していない理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

(%)

		n	退職して子育てや家事に専念するため	職場に育児休業の制度がなかったため	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったため	収入減となり、経済的に苦しくなるため	制度を利用する必要がなかったため	仕事に戻るのが難しそうだったため	仕事に忙しかったため	(産後、)仕事に早く復帰したかったため	産前産後の休暇を取得できなかったため	保育所などに預けることができたため	昇給・昇格などが遅れそうだったため	育児休業を取得できることを知らなかったため	配偶者が育児休業制度を利用したため	その他	無回答
比較年	令和5年度	129	30.2	11.6	10.9	10.1	9.3	8.5	7.8	6.2	3.9	3.1	1.6	0.8	0.8	-	26.4	7.8
	平成30年度	146	24.7	16.4	17.8	-	17.1	8.2	8.2	11.0	8.9	2.1	3.4	1.4	3.4	-	17.8	17.1
年齢別	0～2歳	34	35.3	11.8	14.7	11.8	23.5	5.9	14.7	11.8	5.9	5.9	-	2.9	-	-	20.6	5.9
	3～5歳	91	29.7	11.0	9.9	8.8	4.4	8.8	5.5	4.4	3.3	2.2	2.2	-	1.1	-	29.7	7.7
家庭区分別	ひとり親家庭	9	33.3	22.2	55.6	-	22.2	-	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	22.2	-
	母子家庭	9	33.3	22.2	55.6	-	22.2	-	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	22.2	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	82	28.0	12.2	8.5	12.2	12.2	7.3	9.8	8.5	6.1	2.4	2.4	1.2	1.2	-	25.6	8.5
	夫婦家庭(非共働き)	34	38.2	5.9	5.9	8.8	-	11.8	2.9	2.9	-	2.9	-	-	-	-	23.5	8.8

▶ 母親の育児休業取得後の職場復帰の状況については、約7割の方が育児休業取得後に職場に復帰している状況となっていました。

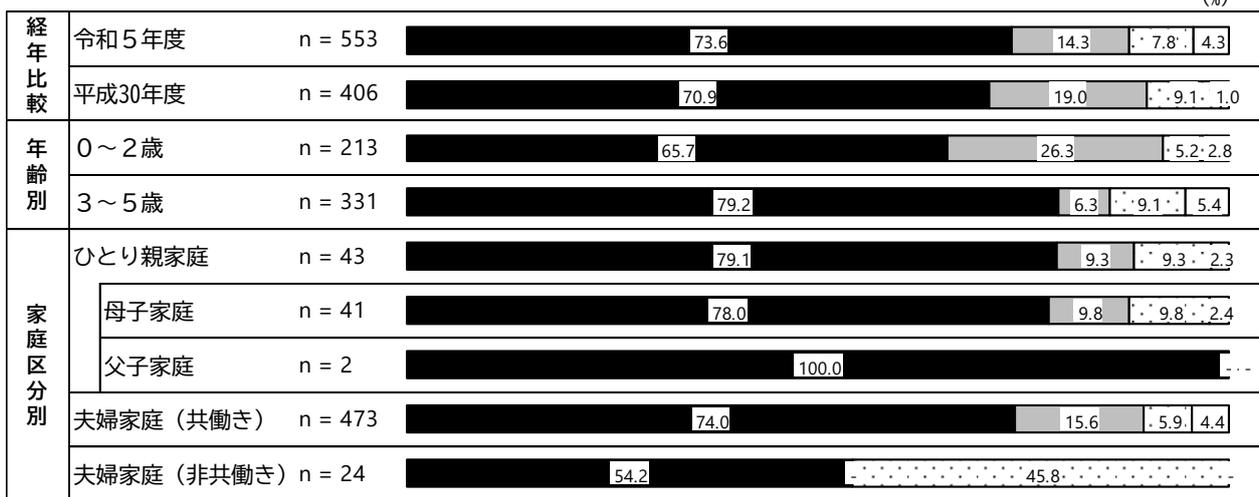
図表 88：母親の育児休業取得後の職場復帰の状況

【就学前児童】問28(1) 母親の育児休業取得後の職場復帰の状況

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問27(1)で「取得した(取得中である)」を回答した方のみ  
 問28(1) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。  
 (あてはまる番号1つに○)

■ 育児休業取得後、職場に復帰した      ■ 現在も育児休業中である  
 □ 育児休業中に離職した                      □ 無回答



▶ 母親が職場復帰した際の子どもの月齢については、「10～12ヶ月」(37.3%)が最も高く、次いで「13～15ヶ月」(15.0%)、「16～18ヶ月」(13.0%)となっていました。

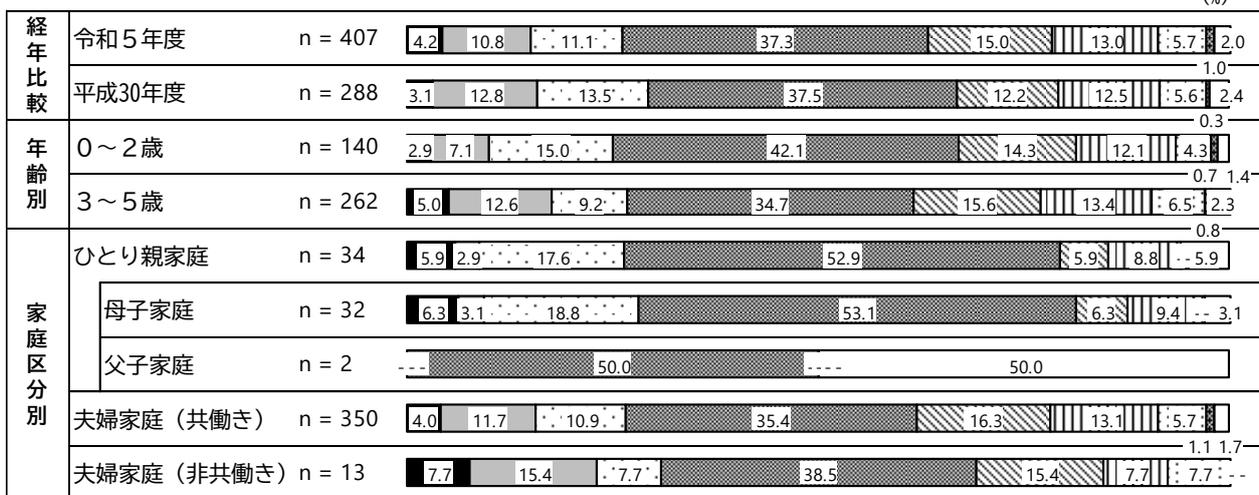
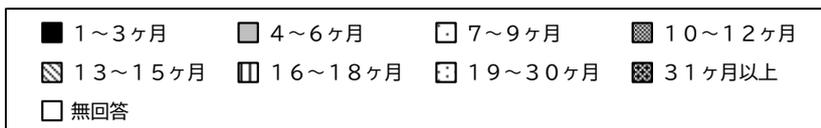
図表 89：母親が職場復帰した際の子どもの月齢

【就学前児童】問29-1(1) 母親が職場復帰した際の子どもの月齢

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問28(1)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を回答した方のみ

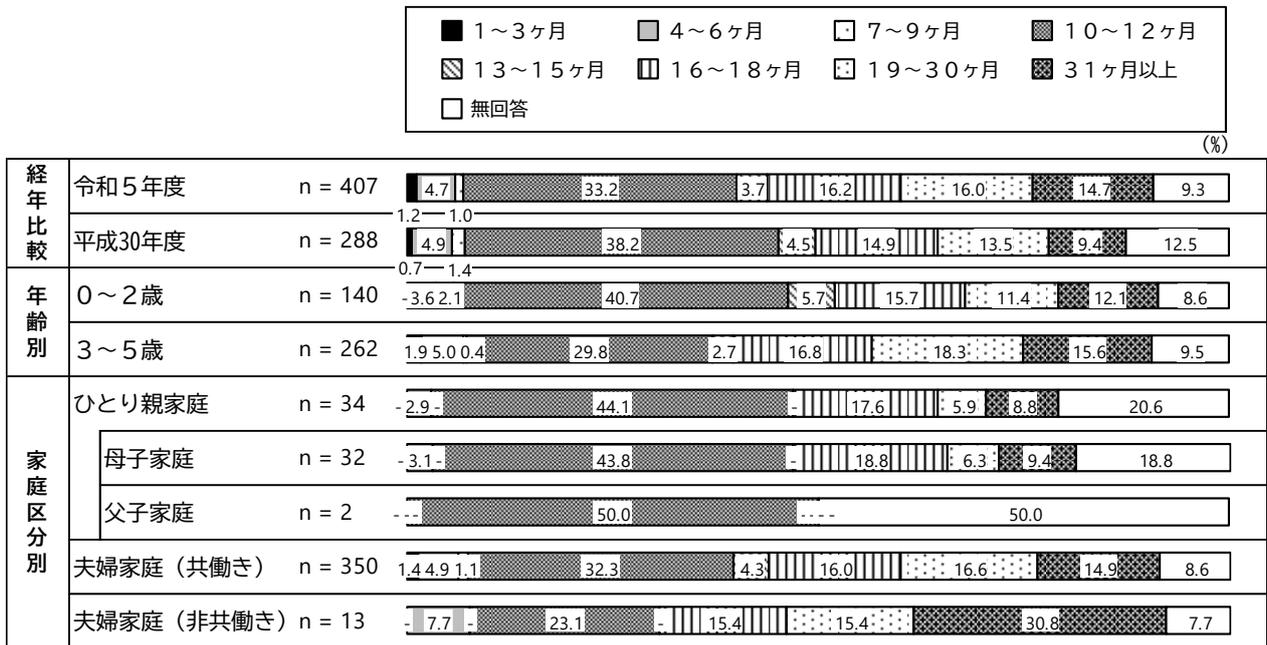
問29-1(1) 育児休業から、「実際」に職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、「希望」としては、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。



▶ 母親が希望として育児休業を取りたかった子どもの月齢については、「10～12ヶ月」（33.2%）が最も高く、次いで「16～18ヶ月」（16.2%）、「19～30ヶ月」（16.0%）となっていました。

図表 90：母親が希望として育児休業を取りたかった子どもの月齢

【就学前児童】問29-1(1) 母親が希望として育児休業を取りたかった子どもの月齢  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

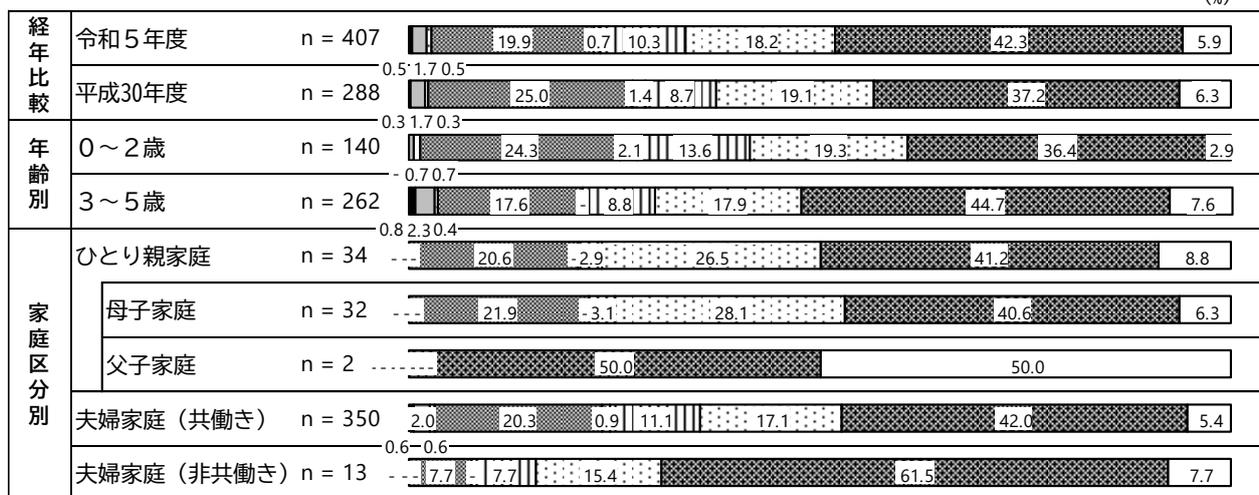
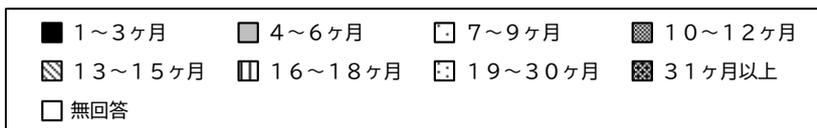


▶ 3歳まで育児休業が取得できる制度があった場合に母親が希望する取得期間については、「31ヶ月以上」(42.3%)が最も高く、次いで「10~12ヶ月」(19.9%)、「19~30ヶ月」(18.2%)となっていました。

図表 91：3歳まで育児休業が取得できる制度があった場合に母親が希望する取得期間

【就学前児童】問29-2(1) 3歳まで育児休業が取得できる制度があった場合に母親が希望する取得期間（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問28(1)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を回答した方のみ  
 問29-2(1) お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。  
 (口内に数字でご記入ください)



▶ 母親が「希望」より早く職場復帰した理由については、「希望する保育所に入るため」(52.4%)が最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(41.2%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(22.4%)となっています。

図表 92：母親が「希望」より早く職場復帰した理由と遅く職場復帰した理由（複数回答）

【就学前児童】問29-3(1)① 母親が「希望」より早く職場復帰した理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問29-1(1)で実際の取得期間と希望が異なる方のみ

問29-3(1) 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

		n	め希望する保育所に入ると	す経済的な理由で早く復帰	時人事に異動や業務の節目の	あ配ったや家族の希望が	その他	無回答
比較年	令和5年度	250	52.4	41.2	22.4	2.0	17.6	4.8
	平成30年度	174	43.1	37.9	24.1	2.3	17.2	8.0
年齢別	0～2歳	88	56.8	40.9	21.6	2.3	12.5	3.4
	3～5歳	160	50.0	40.6	22.5	1.9	20.6	5.6
家庭区分別	ひとり親家庭	20	20.0	50.0	20.0	5.0	25.0	-
	母子家庭	20	20.0	50.0	20.0	5.0	25.0	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	215	56.7	40.5	21.9	1.4	17.7	5.1
	夫婦家庭（非共働き）	9	33.3	11.1	33.3	11.1	11.1	-

▶母親が「希望」より遅く職場復帰した理由については、「希望する保育所に入れなかったため」(69.8%)が最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」(14.0%)、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」(4.7%)となっていました。

【就学前児童】問29-3(2)② 母親が「希望」より遅く職場復帰した理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

		n	か希望する保育所に入れなかったため	子どもをみてくれる人がいなかったため	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	配偶者や家族の希望があったため	その他	無回答
比較年	令和5年度	43	69.8	14.0	4.7	2.3	-	16.3	9.3
	平成30年度	31	74.2	9.7	3.2	3.2	-	3.2	16.1
年齢別	0～2歳	16	75.0	18.8	6.3	-	-	12.5	6.3
	3～5歳	27	66.7	11.1	3.7	3.7	-	18.5	11.1
家庭区分別	ひとり親家庭	3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3
	母子家庭	3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	38	71.1	13.2	5.3	2.6	-	18.4	7.9
	夫婦家庭(非共働き)	1	100.0	-	-	-	-	-	-

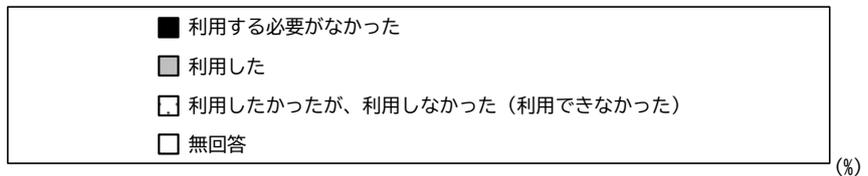
▶ 母親の育児休業取得後の短時間勤務制度の利用状況については、4割以上の方が利用していました。前回調査時からやや増加しているものの、約3割の方が「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答していました。

図表 93：母親の育児休業取得後の短時間勤務制度の利用状況

【就学前児童】問29-4(1) 母親の育児休業取得後の短時間勤務制度の利用状況

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問28(1)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を回答した方のみ  
 問29-4(1) 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。  
 (あてはまる番号1つに○)



経年比較	令和5年度	n = 407	30.0	41.3	25.8	2.9
		平成30年度	n = 288	28.1	36.8	32.3
年齢別	0～2歳	n = 140	33.6	40.0	22.9	3.6
	3～5歳	n = 262	28.2	42.4	26.7	2.7
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 34	38.2	47.1	8.8	5.9
	母子家庭	n = 32	37.5	46.9	9.4	6.3
	父子家庭	n = 2	50.0	50.0	-	-
	夫婦家庭 (共働き)	n = 350	30.0	40.0	27.1	2.9
	夫婦家庭 (非共働き)	n = 13	15.4	53.8	30.8	-



▶ 1歳の子どもを必ず預けられる事業があった際の母親の育児休業取得希望については「1歳になるまで育児休業を取得したい」が86.1%、「1歳になる前に復帰したい」が13.9%となっていました。

図表 95：1歳の子どもを必ず預けられる事業があった際の母親の育児休業取得希望

【就学前児童】問30(1) 1歳の子どもを必ず預けられる事業があった際の母親の育児休業取得希望（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問28(1)で「現在も育児休業中である」を回答した方のみ  
 問30(1) お子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。  
 (あてはまる番号1つに○)

■ 1歳になるまで育児休業を取得したい □ 1歳になる前に復帰したい □ 無回答

(%)

経年比較	令和5年度	n = 79	86.1	13.9	-
	平成30年度	n = 77	76.6	7.8	15.6
年齢別	0～2歳	n = 56	89.3	10.7	-
	3～5歳	n = 21	81.0	19.0	-
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 4	75.0	25.0	-
	母子家庭	n = 4	75.0	25.0	-
	父子家庭	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	n = 74	87.8	12.2	-
	夫婦家庭（非共働き）	-	-	-	-

### (3) 父親の育児休業制度等の利用状況

▶父親の育児休業制度の取得状況については、7割以上の方が育児休業を取得していない状況となっていました。

図表 96：父親の育児休業の取得状況

【就学前児童】問27(2) 父親の育児休業の取得状況（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問27(2) お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
 （育児休業の取得は、母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○）  
 ※取得していない方は、その理由にあてはまる番号を下表からすべて選んでご記入ください。

■ 働いていなかった □ 取得した（取得中である） □ 取得していない □ 無回答

		(%)				
経年比較	令和5年度	n = 1,131	0.9	8.5	74.7	15.9
	平成30年度	n = 1,085	1.4	0.6	82.9	15.2
年齢別	0～2歳	n = 355	2.0	13.2	73.5	11.3
	3～5歳	n = 756	0.4	6.1	75.4	18.1
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 114	0.9	5.3	31.6	62.3
	母子家庭	n = 106	4.7	28.3	67.0	
	父子家庭	n = 8	12.5	12.5	75.0	
	夫婦家庭（共働き）	n = 742	0.9	8.5	80.6	10.0
	夫婦家庭（非共働き）	n = 243	0.8	10.7	79.0	9.5

▶父親の育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかったため」が43.8%と前回調査時から17.1ポイント増となりました。また、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」が37.6%と14.5ポイント増となりました。

図表 97：父親の育児休業を取得していない理由（複数回答）

【就学前児童】問27（2） 父親の育児休業を取得していない理由

（経年比較／年齢別／家庭区分別）

		n	仕事が忙しかったため	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため	収入減となり、経済的に苦しくなるため	配偶者が育児休業制度を利用したため	制度を利用する必要がなかったため	職場に育児休業の制度がなかったため	昇給・昇格などが遅れそうだったため	仕事に戻るのが難しそうだったため	保育所などに預けることができたため	育児休業を取得できなかったため	仕事に早く復帰したかったため	退職したため	子育てや家事に専念するため	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったため	産前産後の休暇を取得できなかったため	その他	無回答
比 較 年	令和5年度	845	43.8	37.6	34.6	29.9	24.6	12.1	5.2	3.2	1.7	1.3	0.6	0.5	0.2	0.2	16.4	3.9	
	平成30年度	899	26.7	23.1	23.7	13.9	27.6	7.1	3.6	2.2	0.7	2.3	-	-	0.3	0.1	3.8	34.6	
年 齢 別	0～2歳	261	46.7	41.0	39.8	32.2	18.0	12.6	8.0	3.4	0.8	1.5	-	-	0.4	0.4	17.2	2.3	
	3～5歳	570	42.3	36.1	31.9	28.4	27.7	11.6	4.0	3.0	2.1	1.2	0.9	0.5	0.2	0.2	16.1	4.6	
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	36	44.4	33.3	25.0	22.2	19.4	-	2.8	5.6	-	2.8	-	-	2.8	-	30.6	5.6	
	母子家庭	30	43.3	30.0	26.7	26.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	3.3	-	33.3	6.7	
	父子家庭	6	50.0	50.0	16.7	-	33.3	-	16.7	33.3	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	
	夫婦家庭（共働き）	598	44.8	40.0	37.1	37.8	18.1	11.7	5.0	3.7	2.2	1.3	0.8	0.7	0.2	0.2	15.2	4.2	
	夫婦家庭（非共働き）	192	42.2	32.3	27.6	6.8	44.8	15.1	6.3	1.6	-	0.5	-	-	-	0.5	17.7	3.1	

▶ 父親の育児休業取得後の職場復帰の状況については、約9割の方が育児休業取得後に職場に復帰している状況となっていました。

図表 98：父親の育児休業取得後の職場復帰の状況

【就学前児童】問28(2) 父親の育児休業取得後の職場復帰の状況

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問27(2)で「取得した(取得中である)」を回答した方のみ  
問28(2) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。  
(あてはまる番号1つに○)

■ 育児休業取得後、職場に復帰した      □ 現在も育児休業中である  
□ 育児休業中に離職した                  □ 無回答

(%)

経年比較	令和5年度	n = 96	89.6	-1.0	9.4
	平成30年度	n = 15	100.0	-	-
年齢別	0～2歳	n = 47	95.7	-	4.3
	3～5歳	n = 46	84.8	-	15.2
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 6	83.3	-	16.7
	母子家庭	n = 5	80.0	-	20.0
	父子家庭	n = 1	100.0	-	-
	夫婦家庭(共働き)	n = 63	92.1	-	7.9
	夫婦家庭(非共働き)	n = 26	84.6	-3.8	11.5

▶父親が職場復帰した際の子どもの月齢については、「1～3ヶ月」（57.0％）が最も高くなっていました。

図表 99：父親が職場復帰した際の子どもの月齢

【就学前児童】問29-1(2) 父親が職場復帰した際の子どもの月齢

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問28(2)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を回答した方のみ

問29-1(2) 育児休業から、「実際」に職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、「希望」としては、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

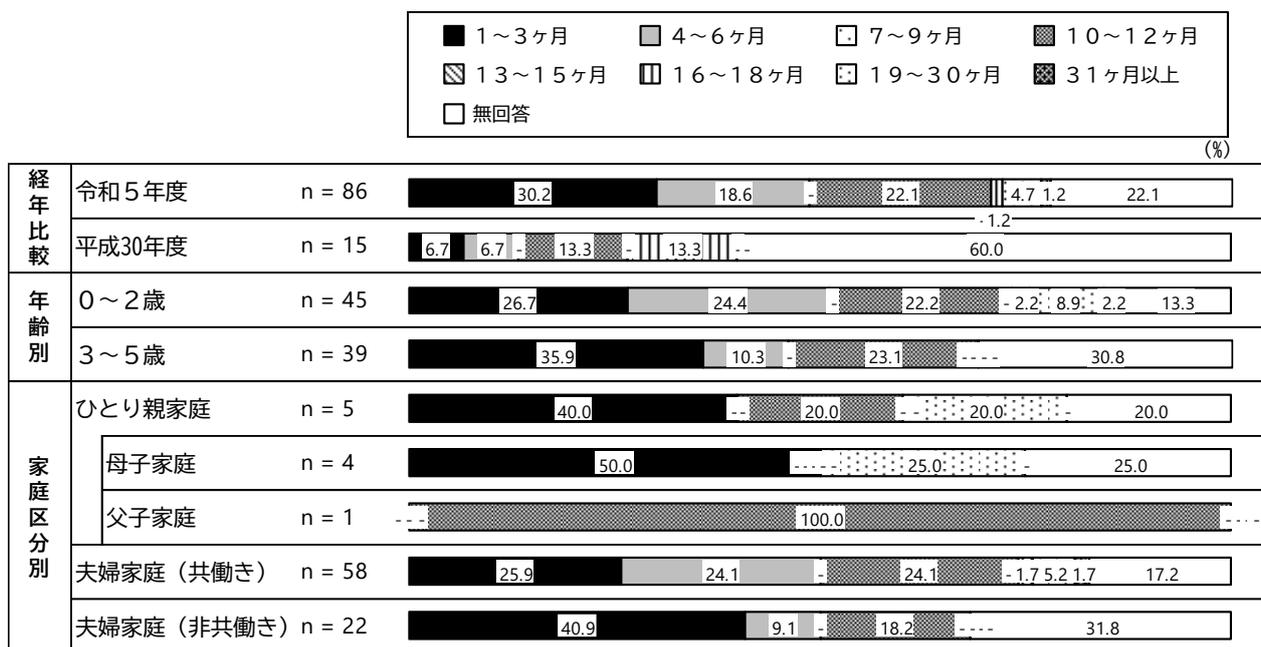


				(%)							
経年比較	令和5年度	n = 86		57.0	4.7	1.2	5.8				30.2
	平成30年度	n = 15		13.3	6.7	6.7	6.7	6.7			60.0
年齢別	0～2歳	n = 45		64.4	6.7	6.7					22.2
	3～5歳	n = 39		48.7	2.6	2.6	5.1				38.5
家庭区分別	ひとり親家庭	n = 5		40.0	20.0						40.0
	母子家庭	n = 4		50.0							50.0
	父子家庭	n = 1			100.0						
	夫婦家庭（共働き）	n = 58		65.5	5.2	1.7	6.9				20.7
	夫婦家庭（非共働き）	n = 22		40.9		4.5	4.5				50.0

▶ 父親が希望として育児休業を取りたかった子どもの月齢については、「1～3ヶ月」（30.2%）が最も高く、次いで「10～12ヶ月」（22.1%）、「4～6ヶ月」（18.6%）となっていました。

図表 100：父親が希望として育児休業を取りたかった子どもの月齢

【就学前児童】問29-1(2) 父親が希望として育児休業を取りたかった子どもの月齢  
(経年比較/年齢別/家庭区分別)

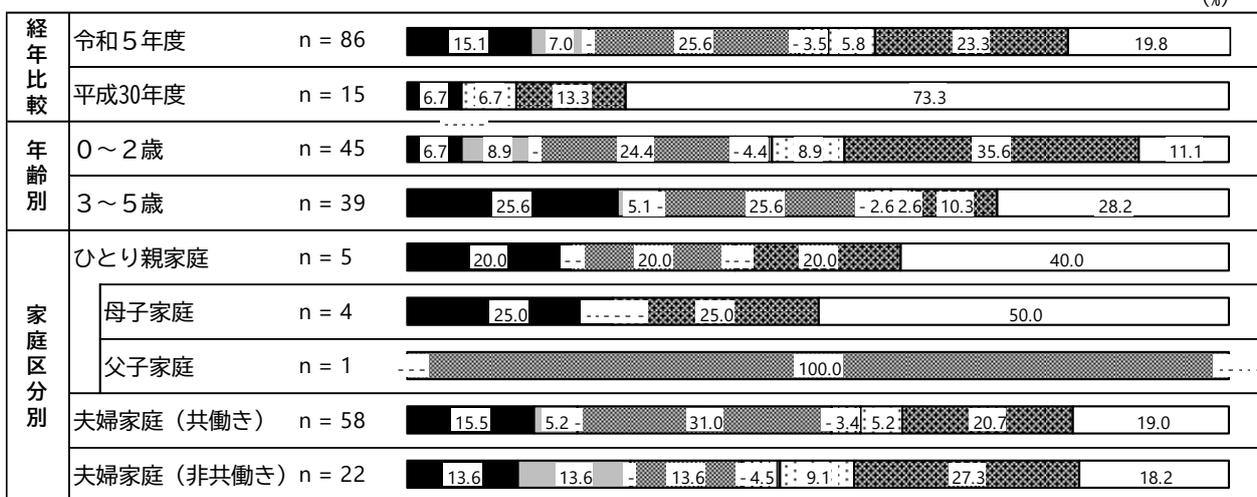
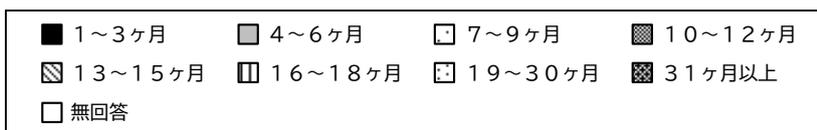


▶ 3歳まで育児休業が取得できる制度があった場合に父親が希望する取得期間については、「10～12ヶ月」(25.6%)が最も高く、次いで「31ヶ月以上」(23.3%)、「1～3ヶ月」(15.1%)となっていました。

図表 101：3歳まで育児休業が取得できる制度があった場合に父親が希望する取得期間

【就学前児童】問29-2(2) 3歳まで育児休業が取得できる制度があった場合に父親が希望する取得期間（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問28(2)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を回答した方のみ  
 問29-2(2) お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。  
 (口内に数字でご記入ください)



▶父親が「希望」より早く職場復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(41.0%)最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(23.1%)、「希望する保育所に入るため」「配偶者や家族の希望があったため」(いずれも7.7%)となっていました。

図表 102：父親が「希望」より早く職場復帰した理由と遅く職場復帰した理由（複数回答）

【就学前児童】問29-3(1)① 父親が「希望」より早く職場復帰した理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問29-1(2)で実際の取得期間と希望が異なる方のみ

問29-3(2) 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

		n	す 経 済 的 な 理 由 で 早 く 復 帰 す る 必 要 が あ っ た た め	時 人 事 異 動 や 業 務 の 節 目 の 時 期 に 合 わ せ る た め	め 希 望 す る 保 育 所 に 入 る た め	あ っ た た め 配 偶 者 や 家 族 の 希 望 が	そ の 他	無 回 答
比 経 年 較	令和5年度	39	41.0	23.1	7.7	7.7	25.6	10.3
	平成30年度	4	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0
年 齢 別	0～2歳	25	48.0	16.0	8.0	8.0	24.0	12.0
	3～5歳	13	23.1	30.8	7.7	7.7	30.8	7.7
家 庭 区 分 別	ひとり親家庭	2	-	50.0	-	-	-	50.0
	母子家庭	1	-	-	-	-	-	100.0
	父子家庭	1	-	100.0	-	-	-	-
	夫婦家庭（共働き）	34	44.1	20.6	8.8	5.9	29.4	8.8
	夫婦家庭（非共働き）	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-

▶父親が「希望」より遅く職場復帰した理由については、回答者数が少ないため参考値として掲載しています。

【就学前児童】問29-3(2)② 父親が「希望」より遅く職場復帰した理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

		n	か希望するため保育所に入れない	が自分や子どもなどのため体調	あつたため家族の希望が	整職場の受け入れ態勢が	いなどもみたくれる人が	その他	無回答
比経年比較	令和5年度	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0
	平成30年度	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	0～2歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5歳	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0
家庭区分別	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦家庭(共働き)	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
	夫婦家庭(非共働き)	1	-	-	-	-	-	-	100.0

▶ 父親の育児休業取得後の短時間勤務制度の利用状況については、約3割の方が「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答していました。

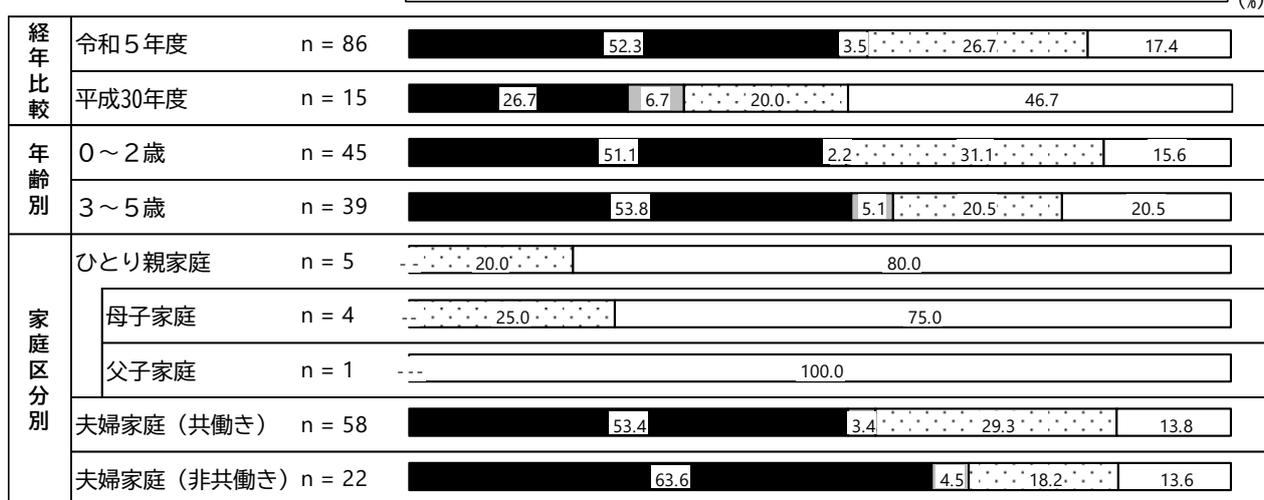
図表 103：父親の育児休業取得後の短時間勤務制度の利用状況

【就学前児童】問29-4(2) 父親の育児休業取得後の短時間勤務制度の利用状況

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問28(2)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を回答した方のみ  
 問29-4(2) 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。  
 (あてはまる番号1つに○)

- 利用する必要がなかった
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）
- 無回答



▶ 父親の短時間勤務制度を利用できなかった理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」「仕事が忙しかったため」「短時間勤務にすると給与が減額されるため」が多くなっていました。特に「短時間勤務にすると給与が減額されるため」は前回調査時から23.2ポイント増となりました。

図表 104：父親の短時間勤務制度を利用できなかった理由（複数回答）

【就学前児童】問29-5(2) 父親の短時間勤務制度を利用できなかった理由

(経年比較/年齢別/家庭区分別)

問29-4(2)で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を回答した方のみ  
問29-5(2) 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

		n	短時間勤務にすると給与が減額されるため	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため	仕事が忙しかったため	職場に短時間勤務制度がなかったため	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため	所申請の優先順位が下がるため	短時間勤務にすると保育所の入所が困難になるため	子どもをみてくれる人がいないため	短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため	退職したため	子育てや家事に専念するため	その他	無回答
比較年	令和5年度	23	56.5	39.1	39.1	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3	-	-	4.3	4.3	
	平成30年度	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	
年齢別	0～2歳	14	71.4	42.9	35.7	7.1	7.1	7.1	7.1	-	-	-	7.1	-	
	3～5歳	8	37.5	37.5	50.0	12.5	12.5	-	-	12.5	-	-	-	12.5	
家庭区分別	ひとり親家庭	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	母子家庭	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	父子家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦家庭（共働き）	17	64.7	29.4	35.3	11.8	11.8	5.9	-	5.9	-	-	5.9	-	
	夫婦家庭（非共働き）	4	50.0	75.0	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	

▶ 1歳の子どもを必ず預けられる事業があった際の父親の育児休業取得希望については、今回の調査での対象回答者はいませんでした。

図表 105：1歳の子どもを必ず預けられる事業があった際の父親の育児休業取得希望

【就学前児童】問30(2) 1歳の子どもを必ず預けられる事業があった際の  
父親の育児休業取得希望（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問28(2)で「現在も育児休業中である」を回答した方のみ  
問30(2) お子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。  
(あてはまる番号1つに○)

対象回答者なし

## 2 塩竈市における子育て環境や支援への満足度について

▶ 塩竈市の子育て環境や支援への満足度については、就学前児童の保護者では「満足」（3.6%）と「やや満足」（11.5%）を合わせた《満足》が15.1%、「ふつう」が46.1%、「やや不満」（22.7%）と「不満」（12.9%）を合わせた《不満》が35.6%となっています。

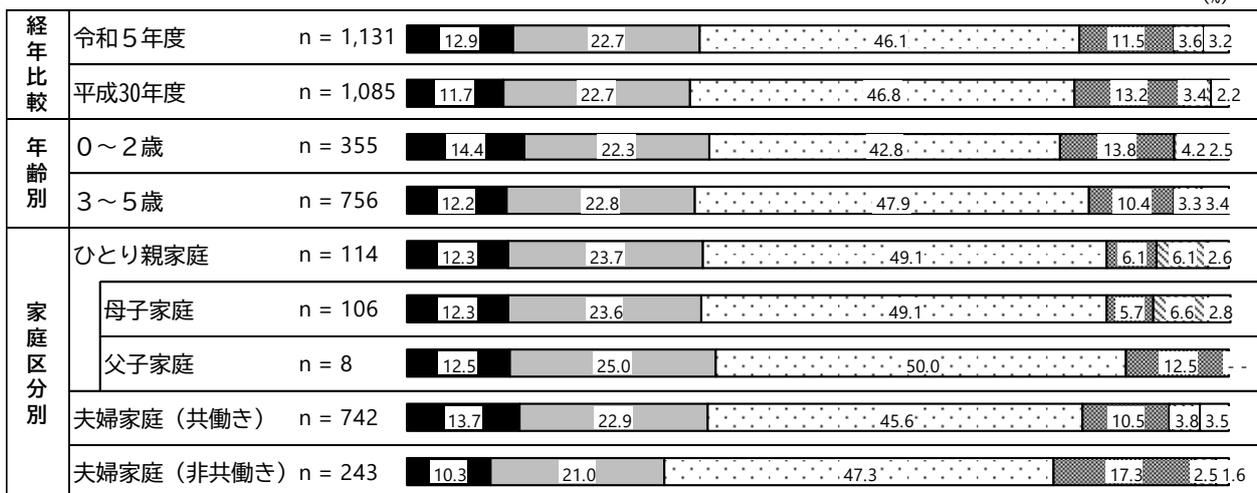
図表 106：市の子育て環境や支援の満足度

【就学前児童】問31 塩竈市の子育て環境や支援への満足度（経年比較／年齢別／家庭区分別）

問31 塩竈市における子育て環境や支援への満足度をお答えください。  
（あてはまる番号1つに○）

■ 不満 □ やや不満 □ ふつう ■ やや満足 ▨ 満足 □ 無回答

(%)

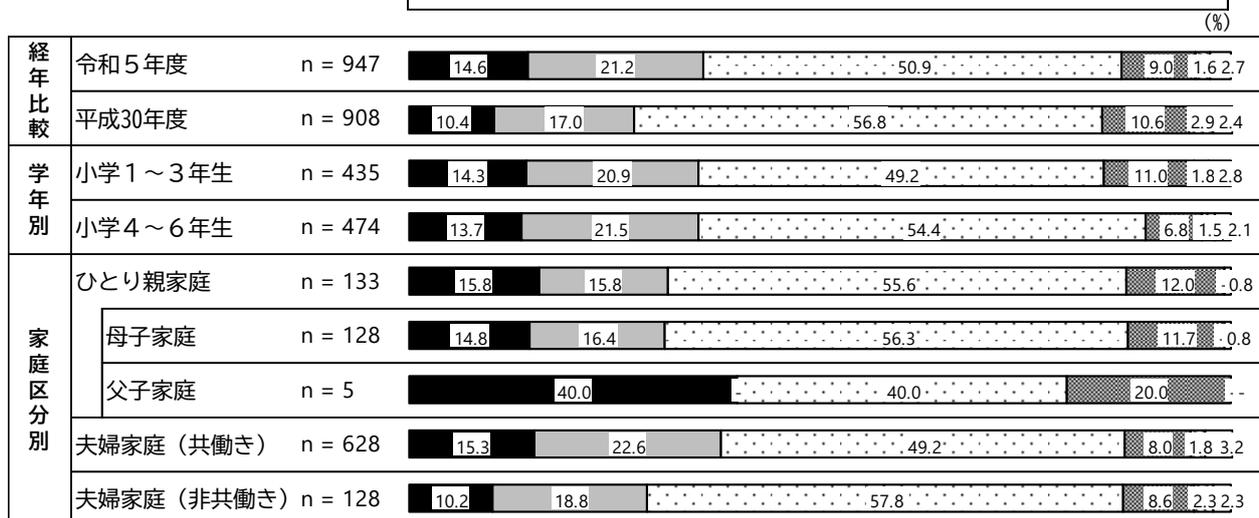


▶ 塩竈市の子育て環境や支援への満足度については、小学生の保護者では「満足」(1.6%)と「やや満足」(9.0%)を合わせた《満足》が10.6%、「ふつう」が50.9%、「やや不満」(21.2%)と「不満」(14.6%)を合わせた《不満》が35.8%となっていました。

【小学生】問11 塩竈市の子育て環境や支援への満足度（経年比較／学年別／家庭区分別）

問11 塩竈市における子育て環境や支援への満足度をお答えください。  
（あてはまる番号1つに○）

■ 不満 □ やや不満 □ ふつう ■ やや満足 ■ 満足 □ 無回答





## **第6章**

# **子育て環境・支援に関する自由意見**



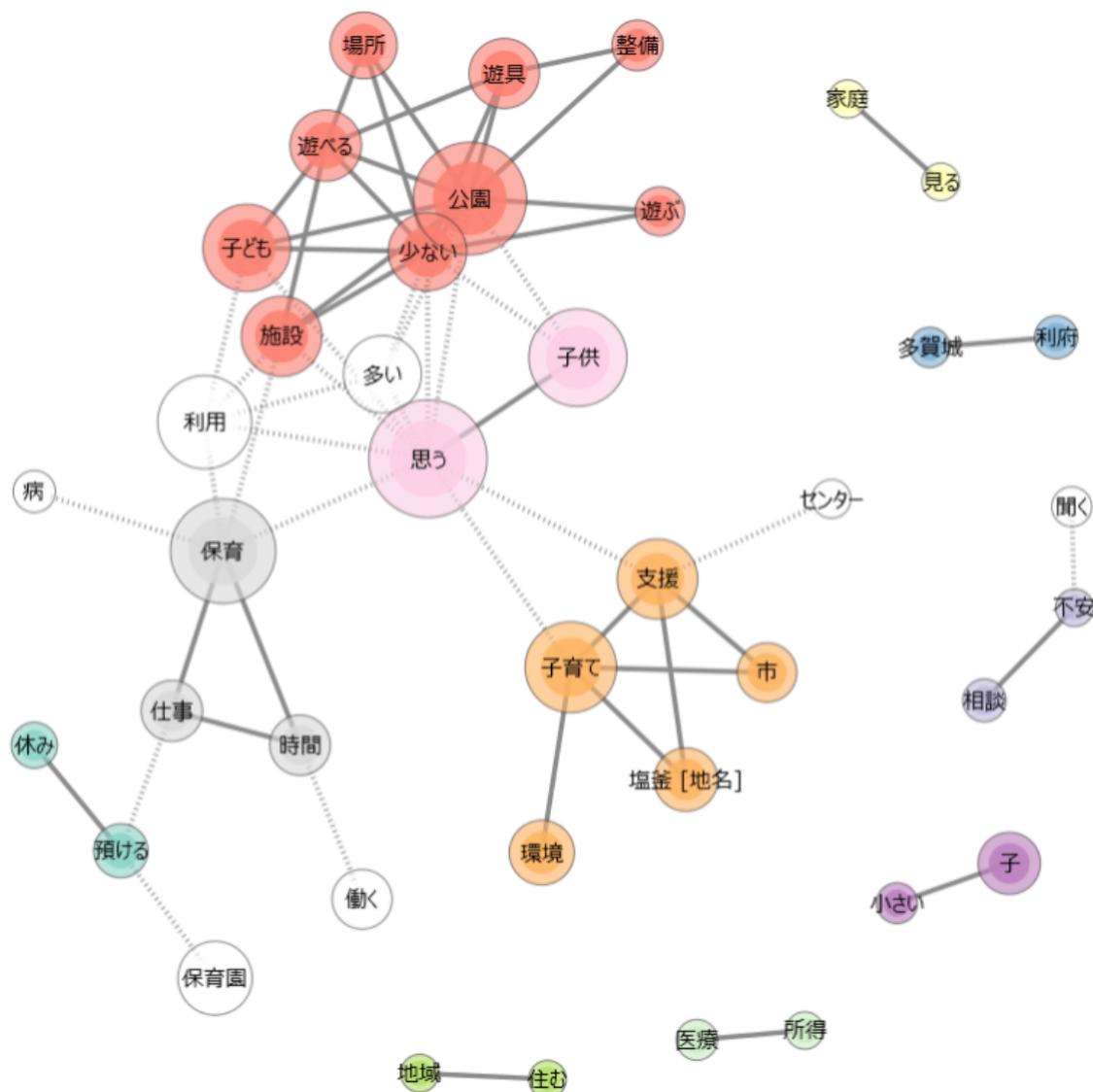
## 第6章 子育て環境・支援に関する自由意見

### 1 市の子育て環境や支援に関する意見

- ▶ 下図は自由意見において、「どんな言葉が多く出てきていて、どの言葉とどの言葉と一緒に使われていたか」を表した共起ネットワーク図となっています。「円のサイズ」は、その語の出現数に応じた大きさ、「線の太さ」は、太い方が語の関係性が強く、「色分け」は、語の使われ方を機械的な基準でグループ化したものとなっています。
- ▶ 共起ネットワーク図でみられた関心の高い単語を抽出し、自由意見としてまとめます。

図表 107：就学前児童の保護者に関する自由意見（共起ネットワーク）

【就学前児童】問32 子育て環境や支援についての意見



図表 108：就学前児童の保護者に関する自由意見（抜粋）

【就学前児童】問32 子育て環境や支援に関しての意見

抽出語	件数	自由意見(抜粋)
保育・保育園	382	保育園に入園する際の競争率が高いと思います。保育士さんが不足していると聞きましたが、保育士さんが働きやすい環境（給与面や働き方）を作る事が大切だと思います。私は子供が1人ですが、もし2人目を授かれたとしても、また運良く入所できるかが不安です。
		保育施設の空き状況などを気軽に知ることができるとありがたい。保育施設の立地や便がもう少し改善されると良い。
		保育園に関して、子供を送迎する事業等があれば、働き方を変えることができるため、送迎の事業等をしてもらえるとよいと思う。我が家庭では、送迎が非常に大変でした。
		教育、保育、子育てにおいて、もっと金銭的な助成があると助かる。
		塩竈市は病児保育をしている施設が無いので、今後そのようなサポートが増えると子育てしやすい、働きやすい環境になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。
公園	299	子どもが遊べる場所が少ない、公園はあるが魅力的な遊具が少なく、古く壊れているものも散見されるので整備してほしい。
		塩竈市内には子どもと遊べる施設や公園が少なすぎる。公園の整備に力を入れて欲しい。希望としてはキッズニアのような遊びながら学べる施設があると良いと思う。
		子どもが遊べる場所が欲しい。七ヶ浜の「ながすか多目的公園」や、利府町の「モリリン加瀬沼公園」や「いこいの広場」のような、大型遊具で遊べる場所が欲しい。塩竈市内で楽しんで遊べる。遊具が充実している場所が無いので、週末は、ほとんど利府町方面へ遊びに行きます。（商業施設ではなく、公園）子どもは外で遊ぶのが大好きです。公園をもっと充実させて欲しいです。
施設	149	塩竈市にも利府町のような平日に子どもが遊びに行けるような施設があるといいなと思います。
		こころ等の施設も、とても小さな子向けのように感じ、市内にもっと大きめの子ども達が安心して遊べる施設、公園、遊具があると良いと感じています。道がせまい割りに交通量があるなどの危険な場所も多く、もう少し整備が進むと安心して生活ができると思っております。
		室内で子どもが遊べる（体を動かして）施設が欲しい。平日だけでなく、休日にも利用できる所が欲しい。
		多賀城市のすくっぴーひろばのような、土日とも一時預かりできる施設や、塩竈市にも病児保育を作って頂きたいです。病児保育を利用する機会があった時、仙台市の方にしかないのもとても不便でした。
支援	148	子どもが幼稚園に入る前は、毎日のように子育て支援センターや、つどいに行っていました。情報交換に限らず、私たち母親の精神面でのサポートもたくさんしていただき、本当にありがたい場所でした、上の子どもが小学校に入学し、立ち入る事ができなくなったため、行く機会は激減しましたが、子育てをする母親・父親にとって大変ありがたい施設だと思います。
		こころなどの子育て支援施設やイベント等は、利用しやすいように市から発信されているので、子育てをしている身としてはありがたいです。ただ、住んでいる地域によっては少し通いづらいかなとも思います。また、保育士さんや保健師さんが常駐されているので、相談事がある場合はとても助かるし、安全面でも心強いところはありますが、逆にそれが窮屈に感じることも…。
		特別支援の質の向上を願います。「わかる人」が各学校や園に一人はいると安心。また、必要な相談機関や福祉支援に「つなぐ人」が不足しているように感じる。保護者の負担が大きい。



図表 110：小学生の保護者に関する自由意見（抜粋）

【小学生】問12 子育て環境や支援に関する意見

抽出語	件数	自由意見(抜粋)
公園	170	家の近くに公園があればと思います。少し歩くので低学年だけだと不安です。東北歴史博物館など近隣の施設にもっと行ければ良いと思います。
		子供達が放課後に遊ぶ公園の遊具がほぼ故障しており、遊具の数も少ないと思う。外で遊べる環境が整っていないから、ゲームや、動画を見たりしてしまうのではと思う。
		子供達が放課後に公園で遊んでいて「うるさい」と学校へ苦情が入り、子供達が注意されたことがあります。楽しく安心して遊べる場所、運動ができる場所を作ってほしいと思います。
		どこの公園も環境整備がされていないので、キレイにメンテナンスと常にキレイな状態を維持してほしい。夏は草がぼうぼうで、遊具はぼろぼろ、使用禁止の遊具もあって、とても遊べる環境ではない。ボール遊びも安全にできる広場があるといいです。
給食	99	給食費を無償にしてほしい。働いても食べざかりの子供達なので、すぐにお金がなくなってしまふ。
		給食の回数(日数)を充実させて、弁当の日を極力減らしてもらいたいです。他市町でもこれ程弁当の日が多い市は他にないです。母子家庭で月に何度も弁当がある(しかも上の子が中学になると弁当の日も小学校と別々)と、金銭面でも労力的にも負担が大きいです。
		オーガニック給食や無添加ハンドソープなどを積極的に取り入れて、他市町村からもモデルとされるような子育て環境を実現してほしい。
場所	97	放課後に遊べる場所の少なさを感じています。(唯一遊んでた)小学校の遊具が壊れているままなので直していただきたいです。
		放課後児童クラブ以外で、子どもたちが自由に遊んだり過ごせたりできる場所がほしい。家に帰っても自由に友だちと遊べないため、本人の希望で学童の利用を少し長くする時がある。
		小学4年生、中学一年の母です。子供の遊べる場所がなくいつも家にいます。お友達が来ても近くに遊べるような場所が公園しかありません。もっと子供達が自由に体を動かしたり、遊べたり、おやつを食べたり、楽しめる場所がほしいです。そして、中学生は友達と勉強したりできる場所がほしいです。今の所、図書館しかなく、せますぎてテスト前などは混んだら行けません。
学校	91	現在の学校生活において、親世代よりも何かと先生方も気を遣われ、対応して下さっているのが伝わります。一生懸命やって下さっていること、とても感謝しております。私自身は母子家庭ではありますが、祖父母宅が近いため、放課後も見てもらいながら働くことができます。現代社会において、今後母子家庭は増加傾向にあると感じています。放課後の学童保育の拡大、充実を視野にいれて頂けると、子供達の少しの安定につながるのではないかと思います。ご検討よろしくお願い致します。
		仲よしクラブの利用を長期休み(夏休み)(冬休み)のみ利用できるように塩竈市もしていただきたいです。平日は学校に合わせてできるけど、夏休み中ほとんど一人で留守番は難しいので長期休みのみの利用ができれば安心して仕事ができる。
		学校教育について、授業の内容や教員の支援などにもっと力を入れて欲しい。生徒の学ぶ意欲を育てて頂きたいです。

# 資料編



# 資料編

## 1 就学前児童の調査票

**就学前児童の保護者の方へ**

### 子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

調査ご協力をお願い

日頃より、塩城市的の行政に対してご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
塩城市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育、子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施して参ります。  
本調査は、令和7年度を初年度とする第3期子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり、確保を図るべき教育・保育、子育て支援の「量の見込み」を算出し、教育・保育、子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。  
ご多忙とは存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月  
塩城市長 佐藤光樹

**【ご記入にあたってのお願い】**

- アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。（無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。）
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- 数字は□内に一文字ずつご記入ください。なお、時間（時刻）を数字でご回答いただく場合は、24時間制（例：午後6時～18時）でご記入ください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが配布された封筒に入れて、**1月19日（金）**までにお子さんが入所・入居している保育所、幼稚園に提出してください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。  
**塩城市 福祉子ども未来部 子ども未来課**  
電話 022-355-7610

**いただいた回答は塩城市の子育て支援の充実に活かされます**

※ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望は変更していただいても構いません。  
※ここで回答していただいた内容は、これ以外の目的では一切使用しません。

**赤子さんご家族の状況について**

**問1** お子さんの生年月月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください）  
※**赤子さんとは、調査票が配布された赤子さんについてお聞きしています（以降も同様）**

（性別）  男  女 年  月  日生まれ

**問2** お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。（□内に数字でご記入ください）  
※**赤子さん以外のお子さんも含めた人数をご記入ください。**  
※**赤子さんが2人以上の場合は、赤子の生年月月をご記入ください。**

きょうだい数  人 末子の生年月月（西暦）  年  月  日生まれ

**問3** この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 母親      2. 父親      3. その他（      ）

**問4** この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 配偶者がいる      2. 配偶者がいない

**問5** お子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。  
※**赤子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号1つに○）**

1. 父と共同    2. 主に母親    3. 主に父親    4. 主に祖父    5. その他（      ）

**赤子さんの育ちをめぐる環境について**

**問6** お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。  
※**赤子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）**

1. 母親    2. 父親    3. 祖父    4. 祖母    5. 保育所  
6. 祖父母    7. その他（      ）

**問7** **目標**、**お子さんを育ててもらえる親類・知人**はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

<ol style="list-style-type: none"> <li>日常的に祖父祖母の親類にみてもらえる</li> <li>緊急時もしくは用事の類には祖父祖母の親類にみてもらえる</li> <li>日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる</li> <li>緊急時もしくは用事の類には子どもをみてもらえる友人・知人がいる</li> <li>いずれもない</li> </ol>	} → <b>問7-1</b> へ } → <b>問7-2</b> へ } → <b>問8</b> へ
--	---

**問7-1** 問7で「1」または「2」（**祖父祖母の親類にみてもらえる**）に○をつけた方にうかがいます。  
祖父祖母の親類にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- 祖父祖母の親類の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 祖父祖母の親類の身体的負担が大きくなりすぎる
- 祖父祖母の親類の精神的負担や時間的制約が大きくなりすぎる
- 自分たち親類の立場として、負担をかけていることが多い
- 子どもの教育や発達にとって不安な環境であるが、少し不安がある
- その他（      ）

**問7-2** 問7で「3」または「4」（**友人・知人にみてもらえる**）に○をつけた方にうかがいます。  
友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 友人・知人の身体的負担が大きくなりすぎる
- 友人・知人の精神的負担や時間的制約が大きくなりすぎる
- 自分たち親類の立場として、負担をかけていることが多い
- 子どもの教育や発達にとって不安な環境であるが、少し不安がある
- その他（      ）

**問8** **お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。**（あてはまる番号1つに○）

1. いる/ある ⇒ **問8-1**へ      2. いない/ない ⇒ **問9**へ

**問8-1** 問8で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。  
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる方は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

<ol style="list-style-type: none"> <li>祖父祖母の親類</li> <li>友人や知人</li> <li>近所の人</li> <li>子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等）、NPO</li> <li>公民館・児童館（子育てセンター、子育て世代包括支援センター等）</li> <li>保育士</li> <li>幼稚園教諭</li> <li>民生委員・児童委員</li> <li>かかりつけの医師</li> <li>市の子育て職員担当課（子ども未来課・保育課）</li> <li>その他      【例】ベビーカー</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 友人や知人</li> <li>3. 近所の人</li> <li>4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等）、NPO</li> <li>5. 公民館・児童館（子育てセンター、子育て世代包括支援センター等）</li> <li>6. 保育士</li> <li>7. 幼稚園教諭</li> <li>8. 民生委員・児童委員</li> <li>9. かかりつけの医師</li> <li>10. 市の子育て職員担当課（子ども未来課・保育課）</li> <li>11. その他      【例】ベビーカー</li> </ol>
--	---



**お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について**

13 すべての方にうかがいます。  
現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)  
※これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。認可保育所の謝金、非課税収入に応じた利用料が設定されています。  
※現在、放課後では実施していない事業も含まれています。

1. 幼稚園 (通常の幼児保育の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の幼児保育を延長して預かる事業のうち非定期の利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める基準基準に適合した施設で基準型保育の認可を受けた保育所20人以上のもの)	4. 認可こども園 (幼稚園と保育施設を併設する施設)
5. 小規模保育施設 (国が定める基準基準に適合した施設で山田町の認可を受けた保育所6~19人のもの)	6. 家庭内保育 (保育者の家庭等で4人以下の子どもの保育を行う事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員利用に運営する施設)	8. 自宅での預り・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が委託・認定した施設)
9. その他の認可外保育施設	10. 児童発達支援 (ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (住居仕様の子どもを預かる事業)	12. その他

13-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 塩浜町 2. 市外

13-2 図13で「1.幼稚園」または「2.幼稚園の預かり保育」に○をつけた方、「3」~「12」(幼稚園以外の事業)にも○をつけた方にうかがいます。  
特に「幼稚園(幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

1. はい 2. いいえ

14 14 15 16

14 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

1. 2週間以上で支援活動事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)  
1週当たり  回 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度  
2. その地域で実施していない種類の事業(具体的には)  
1週当たり  回 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度  
3. 利用していない

15 図14のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号すべてに○)  
※おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。  
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。

1. 利用していないが今後利用したい  
1週当たり  回 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度  
2. すでに利用しているが利用回数を増やしたい  
1週当たり 更に  回 もしくは 1ヶ月当たり 更に  回 程度  
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを考えください。  
※A~Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。  
※現在、塩浜町では実施していない事業も含まれています。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
ご当地(父親)学級、母親学級、育児学級	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
子育て世代包括支援センターの相談・相談事業	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
各家庭保育に資する学級・講座	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
各教育センター・教育相談室	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
各保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
子育て世代の総合相談窓口	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
ひなまつり発行の子育て支援特報誌	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
子育て支援センター	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
おしゃべりエクスプレス	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ

**お子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について**

17 お子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。  
(1)と(2)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)  
※希望がある場合は、利用したい期間等を口内に数字でご記入ください。  
(例)08時~18時のように24時間制でご記入ください。  
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。  
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含まれません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎日利用したい  
3. 月に1~2回は利用したい

⇒ 利用したい期間帯  時台から  時台まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎日利用したい  
3. 月に1~2回は利用したい

⇒ 利用したい期間帯  時台から  時台まで

18 「幼稚園」を利用している方(図12-1で「1.幼稚園」に○をつけた方)にうかがいます。  
⇒ 該当しない方は、図19へ  
お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)  
※希望がある場合は、利用したい期間等を口内に数字でご記入ください。  
(例)08時~18時のように24時間制でご記入ください。  
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。

1. 利用する必要はない  
2. 休みの途中で、ほぼ毎日利用したい  
3. 休みの途中で、週に1回利用したい

⇒ 利用したい期間帯  時台から  時台まで

**お子さんの病気の原の対応について (平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ)**

19 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると考えた保護者の方(図12で「1.利用している」に○をつけた方)にうかがいます。  
⇒ 利用されていない方は、図20へ  
この1年間に、お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. あった ⇒ 図19-1へ 2. なかった ⇒ 図20へ

19-1 お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合に、この1年間に利用した方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ、おおよその回数も口内に数字でご記入ください。(平日程度の場合は1日と数えます)

1年間の対応方法	回数
1. 父親が休んだ	<input type="checkbox"/> 回
2. 母親が休んだ	<input type="checkbox"/> 回
3. (お母さん含む) 祖父母・おじいちゃんに子どもを預かってもらった	<input type="checkbox"/> 回
4. 父親・母親のうち、就業していない方が子どもを預かった	<input type="checkbox"/> 回
5. 病児・病後児の保育室を利用した	<input type="checkbox"/> 回
6. ベビシッターを利用した	<input type="checkbox"/> 回
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="checkbox"/> 回
8. ほかの子どもと預かってもらった	<input type="checkbox"/> 回
9. その他	<input type="checkbox"/> 回

※1 「病児・病後児の保育室」とは、児童が病中又は病後の回復期において集団保育が困難な状態、保育所・児童発達支援センター等に預けられた専用スペース等において保育及び看護ケアを行うサービスです。  
※2 「ファミリー・サポート・センター」には、1時間・緊急対応型(事業)による利用も含まれます。

19-2 図18-1で「1」または「2」(父親か母親が休んだ)に○をつけた方にうかがいます。  
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いませんか。  
(あてはまる番号1つに○)  
※回数については口内に数字でご記入ください。  
※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒  回 ⇒ 図19-3~図19-4へ  
2. 利用したいとは思わない ⇒  回 ⇒ 図19-5へ

19-3 図18-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
上記の目的で子どもを預かる場合、下記のどの事業形態が望ましいと思いませんか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園の開放(例:幼稚園・次等保育)に併設した施設で子どもを預かる事業  
2. 小規模に併設した施設で子どもを預かる事業  
3. 祖父母等が子育て支援等の施設に近接して預かる事業(例:ファミリー・サポート・センター等)  
4. その他

19-4 図18-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
病児・病後児保育施設等を利用したい場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 塩浜町 2. 市外 ⇒ 図20へ

**お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について**

問 19-5 問 19-7 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病后・病後ケアに不安があるため
2. 地域の事業の質に不安があるため
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよいでないため
4. 利用料がかかる・高いため
5. 利用料がわからないため
6. 親が仕事を休んで預かるため
7. その他( )

⇒ 問 20へ

問 19-6 問 19-1 で「3」～「9」(父親か母親が休んだ以外)のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父親のいずれかが仕事を休んで着たい」と思いましたか。(あてはまる番号すべてに○)

※「1」～「9」のいずれのうちも仕事を休んで着たかった日数を□内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで着たい → □ □ □ 日 ⇒ 問 20へ
2. 休んで着ることは非常に難しい ⇒ 問 19-7へ

問 19-7 問 19-1 で「2. 休んで着ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの希望を理由に休められないため
2. 自身の都合で休めないため
3. 休む日数が足りないため
4. その他( )

問 20-1 問 20 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 利用する必要があるため
2. 利用したい事業が他にないため
3. 地域の事業の質に不安があるため
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよいでないため
5. 利用料がかかる・高いため
6. 利用料がわからないため
7. 自分が事業の対象者になるかどうか
8. 事業の利用方法(予約等)がわからないため
9. その他( )

問 21 問 21-1 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用希望の有無・日数をお答えください。(あてはまる番号・日数字すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。  
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

1. 利用したい	計	□	□	日
① 利用(育児、子ども(兄弟姉妹を保育)や親の育児等)、リフレッシュ目的		□	□	日
② 地域行事、学校行事、子ども(兄弟姉妹を保育)や親の補償：等		□	□	日
③ 不定額の給付		□	□	日
④ その他( )		□	□	日

2. 利用する必要はない ⇒ 問 22へ

**小学校就学後の放課後の過ごし方について(お子さんが5歳以上の方のみ)**

⇒ 5歳未満の方は、問 26へ

問 21-1 問 21 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。私用、親の通院、不定期の就労等でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業(例：幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを預かる事業(例：短期保育や児童発達支援事業等)
3. 地域住民等が子育て家庭等近隣の場所で開催する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他( )

問 22 この1年間に、保護者の事情(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、お子さんを泊りがけで事業以外に預けてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・日数字すべてに○)

※それぞれの日数を□内に数字でご記入ください。

1年間の対処方法		泊数	
1. あった	① (両親を含む)家族・知人にお任せした	□	□
	② 別居した家族(祖父母)に預けた(児童発達支援等で一泊短期、子どもを保護する事業)	□	泊
	③ 安心の保育施設、ベビーシッター等を利用した	□	泊
	④ 仕方なく子どもを泊らせた	□	泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番させた	□	泊
	⑥ その他( )	□	泊

2. なかった ⇒ 問 23へ

問 22-1 問 22 で「1」の①(両親を含む)家族・知人にお任せしたと答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

問 23 お子さんについて、保護者の事情(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい事業以外に預ける必要があると思えますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童発達支援等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無・泊数をお答えください。(あてはまる番号・日数字すべてに○)

※必要な泊数を□内に数字でご記入ください。  
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

利用希望	利用したい事情	泊数
1. 利用したい	① 冠婚葬祭	□ □ □ 泊
	② 保護者や家族の育児疲れ・不安	□ □ □ 泊
	③ 保護費や育児の負担	□ □ □ 泊
	④ その他( )	□ □ □ 泊

2. 利用する必要はない

問 24 問 24-1 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用希望の有無・日数をお答えください。(あてはまる番号・日数字すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。  
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

1. 利用したい	計	□	□	日
① 利用(育児、子ども(兄弟姉妹を保育)や親の育児等)、リフレッシュ目的		□	□	日
② 地域行事、学校行事、子ども(兄弟姉妹を保育)や親の補償：等		□	□	日
③ 不定額の給付		□	□	日
④ その他( )		□	□	日

2. 利用する必要はない ⇒ 問 25へ

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用希望の有無・日数をお答えください。(あてはまる番号・日数字すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。  
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

1. 利用したい	計	□	□	日
① 利用(育児、子ども(兄弟姉妹を保育)や親の育児等)、リフレッシュ目的		□	□	日
② 地域行事、学校行事、子ども(兄弟姉妹を保育)や親の補償：等		□	□	日
③ 不定額の給付		□	□	日
④ その他( )		□	□	日

2. 利用する必要はない ⇒ 問 25へ

問 25 お子さんについて、小学校4～6年生になった時、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのように過ごすかについて、お考えをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

※放課後児童クラブの紹介には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。  
(例)午後6時～18時のように24時間制で数字をご記入ください。  
※現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	□	□	日
2. 祖父母や友人・知人宅	週	□	□	日
3. 地域活動(ピアノ教室、サッカークラブ、習字塾など)	週	□	□	日
4. 児童館	週	□	□	日
5. 放課後児童館	週	□	□	日
6. 放課後児童クラブ(学童クラブ)等	週	□	□	日
	一下校時から	□	□	時
7. ファミリー・サポート・センター	週	□	□	日
8. その他(公民館、公園など)	週	□	□	日

**育児休業や短時間勤務制度や職場の両立支援制度について**

お子さんが5歳未満の方は、こちらをお答えください。専ら、お子さんが5歳以上の方も引き続きお答えください。

問 26 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み※1、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み※2があります。この仕組みを知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 育児休業給付、健康保険のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 健康保険のみ知っていた
4. 育児休業給付、健康保険のいずれも知らなかった

※1 発着前における世帯の世帯が何れか一定の要件を満たす場合は2歳に及ぶまで  
※2 発着の育児休業及び休業が法上1週間前倒しされた育児休業に準ずる期間も認められる

問 27 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(育児休業の取得は、母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)  
※取得していない方法、その理由にはあてはまる番号を下表からすべて記入してください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった ⇒ 問 21へ	1. 働いていなかった ⇒ 問 21へ
2. 取得した(取得中である) ⇒ 問 28へ	2. 取得した(取得中である) ⇒ 問 28へ
3. 取得していない	3. 取得していない
取得していない理由を下表からすべて記入	取得していない理由を下表からすべて記入
⇒ 問 31へ	⇒ 問 31へ

**【取得していない理由】**

1. 職場に育児休業を返りにくい雰囲気があったため
2. 仕事が増えたため
3. (産休後、)仕事に早く復帰したため
4. 仕事に戻るの難しさを覚えたため
5. 異業・異種などが短く終わったため
6. 収入減と伴い、経済的に難しくなるため
7. 保育園などに預けることができたため
8. 母親が育児休業制度を利用したため
9. 母親が有期、半日等の勤務にのみとらえるなど、制度を利用する必要がなかったため
10. 子育てや家事に専念するつもりだったため
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)ため
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったため
13. 育児休業を返付で返ることになったため
14. 産前産後の休暇(産前産後、産後休暇)を取得できることを知らず、退職したため
15. その他 ( )

16

問 28 問 27の(1)または(2)で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 29へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 29へ
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30へ	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31へ	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31へ

問 29 問 28-1～問 28-5は、問 28の(1)または(2)で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 29-1 育児休業から、「復帰」に職場復帰したのは、お子さんが何歳何月のときでしたか。また、「希望」としては、お勤め先の育児休業制度の期間内、何歳何月のときまで取りたいですか。(□内に数字をご記入ください)

(1) 母親	(2) 父親
実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月
希望 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月

問 29-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何月のときまで取りたいですか。(□内に数字をご記入ください)

(1) 母親	(2) 父親
□ 歳 □ □ ヶ月	□ 歳 □ □ ヶ月

問 29-3 問 28-1の(1)または(2)で「実際の取得期間と希望が異なる方」にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

(1) 「希望」より早く復帰した方	(2) 父親
① 母親	② 父親
1. 希望する保育園に入らなかったため	1. 希望する保育園に入らなかったため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人手不足や業務の都合が時期に合わなかったため	4. 人手不足や業務の都合が時期に合わなかったため
5. その他 ( )	5. その他 ( )
( )	( )
(2) 「希望」より遅く復帰した方	② 父親
① 母親	② 父親
1. 希望する保育園に入らなかったため	1. 希望する保育園に入らなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職責の受け入れが難しくなったため	4. 職責の受け入れが難しくなったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ( )	6. その他 ( )
( )	( )

17

問 29-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 利用する必要性があった(フルタイムで働けなかった、子どもも短時間勤務だった) ⇒ 問 31へ	1. 利用する必要性があった(フルタイムで働けなかった、子どもも短時間勤務だった) ⇒ 問 31へ
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった) ⇒ 問 29-5へ	3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった) ⇒ 問 29-5へ

問 29-5 問 29-4の(1)または(2)で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため
2. 仕事が増えたため	2. 仕事が増えたため
3. 短時間勤務にするのと給与が削減されるため	3. 短時間勤務にするのと給与が削減されるため
4. 短時間勤務にするのと保育所の入所申請の優先順位が下がるため	4. 短時間勤務にするのと保育所の入所申請の優先順位が下がるため
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため
6. 配偶者が無職、祖父母等の状態にのみとらえるなど、子どもをみてくれる人がいたため	6. 配偶者が無職、祖父母等の状態にのみとらえるなど、子どもをみてくれる人がいたため
7. 子育てや家事に専念するため退職したため	7. 子育てや家事に専念するため退職したため
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)ため	8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)ため
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため
10. その他 ( )	10. その他 ( )
⇒ 問 31へ	⇒ 問 31へ

18

問 30 問 28の(1)または(2)で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。お子さんが1歳になったとき必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になる前に復帰したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

**その他子育て環境や支援に関するご意見等について**

問 31 塩浜市における子育て環境や支援への満足度をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	満足が高い
←	→
1. 不満	2. やや不満
3. 不満	4. やや満足
5. 満足	

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
1月19日(金)までにご提出ください。

配布された封筒に入れて、  
お子さんが入所・入園している保育所・幼稚園に提出してください。

19

小学生の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する二一ス調査票

調査ご協力をお願い

日頃より、塩竈市の行政に対してご理解とご協力をいただきありがとうございます。塩竈市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育、子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施して参りました。

本調査は、令和7年度を初年度とする第3期子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり、確保を図るべき小学生の放課後の過ごし方に対する支援の「量の見込み」を市が算出し、小学生の放課後の過ごし方に対する支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために利用ものです。

ご多忙とは存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月 塩竈市長 佐藤光樹

【ご記入にあたってのお願い】

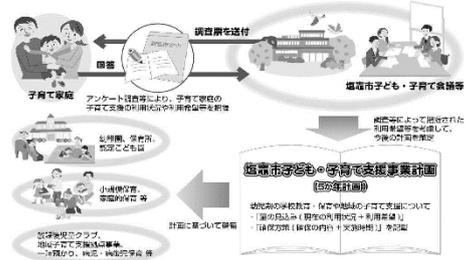
- 1 アンケートには、お父さんのお母さんの方が記入してください。
2 複数のご回答によって、次の段階に回答していただく必要がなくなる場合があります。
3 数字は口内に一文字ずつご記入ください。
4 ご記入が済みしたら、お手数ですが配布された封筒に入れて、1月19日（金）までにお子さんが就学している小学校に提出してください。

ご質問いただく上でご不明な点、理由に関するお問い合わせは、下記までお問い合わせいただけます。

塩竈市 福祉子ども未来部 子ども未来課 電話 022-355-7610



いただいた回答は塩竈市の子育て支援の充実に活かされます



※ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を決定するものではありません。
※ここで回答していただいた内容は、これ以外の目的では一切使用しません。

お父さんご家族の状況について

問1 お父さんの生年月日をご記入ください。
問2 お母さんの生年月日をご記入ください。
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
問5 お母さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

お父さんの保護者の就業状況について

問6 お父さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従業員含む）をうかがいます。
(1) 母親
1. フルタイム
2. フルタイム
3. パート・アルバイト等
4. パート・アルバイト等
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(1)-1 (1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方へ
(1)-2 (1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方へ
(2) 父親
1. フルタイム
2. フルタイム
3. パート・アルバイト等
4. パート・アルバイト等
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問7 問6の(1)または(2)で「3」～「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。  
フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

- (1) 母親
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
  - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
  - パート・アルバイト等(フルタイム以外)での就労を続けることを希望
  - パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 問9へ

- (2) 父親
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
  - フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
  - パート・アルバイト等(フルタイム以外)での就労を続けることを希望
  - パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 問9へ

問8 問6の(1)または(2)で「5」～「6」(現在は就労していない・就労したことがない)に○をつけた方にかがいます。⇒**該当しければ、問9へ**  
就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字をそれぞれ1つに○)  
※就労する□内には数字をご記入ください。

- (1) 母親
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
  - 1年ぶり先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
  - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- |    |                          |
|----|--------------------------|
| ①  | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) |
| ②  | パートタイム・アルバイト等(フルタイム以外)   |
| →1 | 週当たり□日 1日当たり□□時間程度       |

- (2) 父親
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
  - 1年ぶり先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
  - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- |    |                          |
|----|--------------------------|
| ①  | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) |
| ②  | パートタイム・アルバイト等(フルタイム以外)   |
| →1 | 週当たり□日 1日当たり□□時間程度       |

4

お子さんの放課後の過ごし方について

問9 お子さんが小学校1～3年生の方にかがいます。⇒**小学校4～6年生の方は、問10へ**  
放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと希望ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ該当する適当な日数を□内に数字でご記入ください。  
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。  
(例)午後6時～18時のように24時間前まで数字をご記入ください。

- 自宅 週□日□回
- 祖父祖母や友人・知人宅 週□日□回
- 送迎いっしょ(ピアノ教室、サッカークラブ、習字塾など) 週□日□回
- 児童館 週□日□回
- 放課後子供教室 週□日□回
- 放課後児童クラブ(学習広場)等 週□日□回 一下校時から□□時台まで
- ファミリー・リポート・センター 週□日□回
- その他(公民館、公園など) 週□日□回

※1 「放課後子供教室」…地域のみなさんの力を借りて、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを実施する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」…地域によって運営形態などが異なっていますが、保護者が就労等により自宅家庭にいない場合などに、指導員の下、講師等によって子どもの生活を支援するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかることがあります。

問10 すべての方(お子さんが小学校1～3年生の方も含む)にかがいます。  
小学校4～6年生の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと希望ですか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ該当する適当な日数を□内に数字でご記入ください。  
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。  
(例)午後6時～18時のように24時間前まで数字をご記入ください。  
※現在お持ちのイメージでお答えください。

- 自宅 週□日□回
- 祖父祖母や友人・知人宅 週□日□回
- 送迎いっしょ(ピアノ教室、サッカークラブ、習字塾など) 週□日□回
- 児童館 週□日□回
- 放課後子供教室 週□日□回
- 放課後児童クラブ(学習広場)等 週□日□回 一下校時から□□時台まで
- ファミリー・サポート・センター 週□日□回
- その他(公民館、公園など) 週□日□回

5

その他子育て環境や支援に関するご意見等について

問11 塩田市における子育て環境や支援への満足度をお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)



問12 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
1月19日(金)までにご提出ください。

配布された封筒に入れて、  
お子さんが就学している小学校に提出してください。

6

塩竈市  
子ども・子育て支援事業に関する  
ニーズ調査 調査結果報告書

---

発行日 令和6（2024）年3月

発行元 塩竈市役所 福祉子ども未来部 子ども未来課 子ども企画係

住 所 〒985-0052

宮城県塩竈市本町1番1号

TEL 022-355-7610 FAX 022-366-7167

URL <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/>